

平成29年度

年 報



平成30年9月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	• • • • •	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	• • • • •	5
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	• • • • •	9
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	• • • • •	13
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	• • • • •	16
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	• • • • •	77
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	• • • • •	121
4. 教員組織および委員会一覧	• • • • •	145

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 8月25日	共創学部の設置に伴う学部入学定員の変更	平成30年4月に新設される共創学部（入学定員105名）へ拠出するため、同年4月より保健学科の入学定員を看護学専攻68名、放射線技術科学専攻33名、検査技術科学専攻33名の計134名へと変更した。ただし、21世紀プログラムでの入学枠（3名）を拠出するため、実質的な減少とはなっていない。 なお、この入学定員変更はカリキュラム変更と合わせて文部科学省に申請し、平成30年2月1日付けで承認を得た。	九州大学将来計画委員会議事録
平成30年 2月	保健学科看護学専攻助産師コースの廃止	助産師コースの学生が平成30年3月をもって全員卒業し在校生がいなくなることから、助産師学校指定取り消し申請を文部科学省に行った。	保健学部門会議議事録
平成30年 2月 7日	次期部門長の選出	次期部門長として樗木晶子教授を選出した。任期は平成30年4月1日から平成32年3月31日まで。	保健学部門会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 4月 7日	学部入学式	新入生142名（看護：71、放射：35、検査：36）が入学した。	学生係 資料
平成29年 4月 7日	大学院入学式	修士30名（看護：3、助産学：7、医用量子：12、検査技術：8）、博士7名（看護：3、医療技術：4）が入学した。	学生係 資料
平成29年 4月22日	新入生研修	新入生、2年生のリーダーと教員が福岡県立社会教育総合研修センター（糟屋郡篠栗町）にて研修を行った。	学生委員会 議事録
平成29年 8月24日	修士課程入学試験	41名（看護：9、助産学：9、医用量子：13、検査技術：10）が志願した。	学生係 資料
平成29年 9月 6日	平成30年度入学生の入学定員の変更及びカリキュラム改正	共創学部設置に伴う平成30年度入学生の入学定員の変更及びカリキュラム改正について検討、実施した。	教務委員会資料 保健学科会議資料
平成29年 9月14日	博士後期課程入学試験	10名（看護：8、医療技術：2）が志願した。	学生係 資料
平成29年 9月25日	秋期学位記授与式	修士2名（看護：1、検査：1） 博士7名（看護：5、医用量子〔保健学国際コース〕：2）	保健学専攻 学年暦
平成29年10月 2日	保健学国際コース学生10月入学	修士1名（医用量子〔保健学国際コース〕：1） 博士1名（医用量子〔保健学国際コース〕：1）	保健学専攻 学年暦
平成29年10月18日	就職セミナー（マイナビ）看護	参加：3年生38名 会場：5番講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成29年11月10日	就職セミナー（マイナビ）放射・検査	参加：3年生44名（放射23名、検査21名） 会場：総合研究棟102講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要な選考対策を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録

平成29年11月17日	就職セミナー（マイナビ）放射・検査	参加：3年生48名（放射19名、検査29名） 会場：総合研究棟102講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要な自己分析を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成29年11月24日	就職セミナー（マイナビ）放射・検査	参加：3年生50名（放射24名、検査26名） 会場：総合研究棟102講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年 1月13, 14日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦
平成30年1月19日	就職セミナー（インターナショナル・エアアカデミー）放射・検査	参加：3年生60名（放射32名、検査28名） 会場：6番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナー講習を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年1月26日	就職セミナー（インターナショナル・エアアカデミー）放射・検査	参加：3年生35名（放射12+6名、検査17名） 会場：4番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要な模擬面接を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年 1月27日	入学者選抜：A0入試Ⅱ〔第2次選抜〕	57名（看護：27、放射：12、検査：18）が志願した。	学生係 資料
平成30年 2月 1日	平成30年度入学生の入学定員の変更及びカリキュラム改正の承認	共創学部設置に伴う平成30年度入学生の入学定員の変更（看護：68名、放射：33名、検査：33名の計134名）及びカリキュラム改正について、文部科学省の承認を得た。	教務委員会資料 保健学科会議資料
平成30年 2月	保健学科看護学専攻助産師コースの廃止	助産師コースの学生が平成30年3月をもって全員卒業し在校生がいなくなることから、助産師学校指定取り消し申請を文部科学省に行った。	保健学部門会議議事録
平成30年 2月 2日	就職セミナー（インターナショナル・エアアカデミー）検査	参加：3年生17名（検査17名） 会場：4番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要な模擬面接を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年 2月8, 14日	修士論文発表会	修士2年35名（看護：12、医用量子：12、検査：13）が発表を行った。	保健学専攻 学年暦
平成30年 2月25, 26日	入学者選抜：個別学力検査（前期日程）	350名（看護：187、放射：72、検査：91）が志願した。	学生係 資料
平成30年 3月22日	就職セミナー（インターナショナル・エアアカデミー）看護	参加：3年生54名 会場：3・4・5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナー講習及び模擬面接を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年 3月20日	卒業式・学位記授与式	学士130名（看護：65、放射：29、検査：36） 修士37名（看護：6、助産：6、医用量子：12、検査：13） 博士7名（看護：2、医療技術：5）	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年10月 6日	第12回九州大学保健学国際フォーラム	会場：保健学科本館5番講義室 講演会：Understanding yourself in Our Times: Towards a Global Healthcare Expert 九州大学留学生センター教授 肥後裕輝先生 Student Meetingに招聘 看護分野：Dr. Ya-Ping Yang (Kaohsiung Medical University) Dr. Yun Hamsun (Kyungsung University) 医用量子線：Dr. Chai-Hong Yeong (University of Malaya)	第12回九州大学保健学国際フォーラム報告書、2017
平成29年4月1日～平成30年3月31日	留学生受入	修士1名（医用量子〔保健学国際コース〕：1）私費留学 博士1名（医用量子〔保健学国際コース〕：1）文科省国費留学	
平成29年4月1日～平成30年3月31日	学生派遣	看護：タイのマヒドン大学へ2名、台湾の高雄医学大学へ3名、香港大学へ3名を其々約2週間派遣 量子：韓国の高麗大学校へ3名約1ヶ月、台湾国立清華大学1名約1か月、タイのマヒドン大学に1名約2週間、チュラロンコン大学1名約2週間、派遣	平成29年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）事業報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年6月10, 17日	大学院入試説明会	保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会を開催した。 参加者：修士課程希望者36名 博士後期課程希望者6名 会場：保健学科講義棟・本館	保健学部門会議議事録 入試実施委員会議事録
平成29年 7月 6日 平成29年 7月21日 平成29年11月 9日	高校への出前講義	明善高校（前野准教授）（豪雨のため中止） 明治学園（河窪助教） 福岡中央高校（杉島教授）	
平成29年 8月 7日	オープンキャンパス	保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象にオープンキャンパスを開催した。 参加者：857名 全体説明会：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館で展示	学生委員会議事録
平成29年 9月 9日	保健学公開講座第15回	会場：医学部保健学科棟 3階 第5番講義室 テーマ：「自分を守る、家族を守る、医療と保健の知識」 講演-1「寒い季節は要注意！入浴中のヒートショック」橋口 暢子 教授、 講演-2「切らずに治す、人に優しい放射線治療」佐々木 智成 准教授、 講演-3「血液のひみつ」兵田 朋子 助教 受講者 72名（一般参加者 38名、本学教員 24名）	保健学公開講座プログラム アンケート資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 3月31日	加来 恒壽（看護・教授）	定年退職(国際医療福祉大学・教授へ)	
平成30年 3月31日	杉島 節夫（検査・教授）	定年退職	

7. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料
平成29年6月	医用量子線	核医学検査用胴体ファントム	「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」実施報告書
平成29年7月	医用量子線	半導体式X線測定器	
平成29年9月	医用量子線	一般X線撮影 間接変換FPD装置	
平成29年10月	検査技術科学	生理機能検査用実習機器一式	検査技術科学分野会議録
平成30年2月	共通	授業支援ボックス（印刷室）	教育改革推進本部運営委員会議事録

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 4月26日 平成29年 5月24日 平成29年 6月28日 平成29年 7月26日 平成29年 9月13日 平成29年10月18日 平成29年11月15日 平成29年12月20日 平成30年 1月17日 平成30年 2月27日 平成30年 3月20日	看護学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 4月	学部生(第15期)の入学	担任：中尾久子教授、青本さとみ講師、松尾和枝講師、酒井久美子助教	分野会議議事録
平成30年 2月22日	看護学分野FD	テーマ：「大学院教育の充実・活性化に向けて」参加者30名。①講演「大学院入学者の現状と課題」(藤田君支教授)、②情報提供「大学院リクルートワーキング」(大学院リクルートワーキング委員)、③グループワーク「大学院教育の充実・活性化に向けての方策」、以上の内容で参加教員による討議、発表を行った。	平成29年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 4月24日 平成29年 5月22日 平成29年 6月26日 平成29年 7月24日 平成29年 9月25日 平成29年10月23日 平成29年11月27日 平成30年 1月22日 平成30年 2月19日 平成30年 3月19日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。	実習委員会議事録
平成29年 5月26日 平成29年11月29日 平成30年 3月 2日	看護教育運営委員会	九州大学病院で行われる看護学実習に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。実習に関する教育、研究に関する検討を行った。	看護教育運営委員会議事録
平成29年度 通年	臨地実習に関する説明会(九大病院以外)	老年、精神、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成29年度 4月～7月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った	実習要項
平成29年 6月 8日	九州大学病院実習連絡会	九州大学病院における臨地実習を円滑かつ適正に実施するため、看護学分野の全実習科目担当者が看護部および実習に関連する全部署の看護管理者および実習指導者に実習の目的、目標、予定等の説明を行った。	実習連絡会議議事録

平成29年 9月 5日	3校合同九州大学病院臨地実習打ち合わせ会議	九州大学病院で実習予定の他校（福岡女学院、福岡看護大学）と九州大学病院看護部とで、平成30年以降の実習予定について相互に確認、検討を行った。	3校合同会議議事録
平成29年 8月1日	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会議事録
平成29年11月30日	在宅看護学実習指導者連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護学実習に関して、実習施設（訪問看護ステーション）の実習指導者に説明を行った。	実習指導者連絡会議資料

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 2月20-21日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年9月19日	博士後期課程 特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成29年10月～11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成29年11月28日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成30年2月14日	修士課程 看護学特別研究の最終試験	修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。	分野会議議事録
平成30年2月15日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年度	国家試験学内模擬試験(看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。詳細は、以下のとおり。看護師国家試験模試計6回、保健師国家試験模試 計2回	分野会議議事録
平成30年2月	第107回看護師国家試験、第104回保健師国家試験、第101回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験98.5%(既卒除く)、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率であった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 8月27日～9月9日	タイ・マヒドン大学看護学部との国際交流	マヒドン大学へ看護学専攻3年生、2名を派遣し、2週間のExchange Programに参加した	Exchange Program資料
平成29年 9月24日～10月7日	タイ・マヒドン大学看護学部との国際交流	マヒドン大学から学部生3年生2名を招致し、2週間のExchange Programを展開した。	Exchange Program資料

平成29年10月 5日	台湾・高雄医学大学看護学部との国際交流	高雄医学大学看護学部からDr. Yangを招致し、「Different Research Designs for Dementia Field」をテーマに特別講義をお願いし、大学院生、教育との意見交換を行った。	看護学分野国際WG委員会議事録
平成29年10月 6日	第12回九州大学保健学国際フォーラム	国際フォーラムでは、高雄医学大学看護学部Dr. Yangを招致し、「Alternative Therapies for people with dementia」をテーマに特別講義をお願いした。また釜山の慶星大学より2名の教員が参加され、大学紹介のプレゼンテーションをお願いした。留学中のマヒドン大学の学生および本学学生のプレゼンテーションも企画し、活発な意見交換が行われた	国際フォーラム資料
平成30年 3月11日～3月24日	香港大学看護学分との国際交流	香港大学へ看護学専攻2年生、3名を派遣し2週間のExchange Programに参加した。	Exchange Program資料
平成30年 3月10日～3月17日	高雄医学大学看護学分との国際交流	高雄医学大学へ看護学専攻2年生、3名を派遣し、8日間のExchange Programに参加した。	Exchange Program資料

4. 社会連携 1) 人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年度	九州大学病院看護キャリアセンター	看護キャリアセンターでの活動および人事交流に関する検討を行い、人事交流の受入れを行った。	九州大学病院看護キャリアセンター議事録
平成29年度	九州大学病院の看護研究コース指導	平成28年度の【基礎編】に引き続き、平成29年度は【実践編】として、看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施し、学会発表を目指し活動を行っている。	看護研究コース資料
平成29年5月30日 平成29年7月26日 平成29年8月24日 平成29年9月8日	九州大学病院 実習指導者研修会	九州大学病院看護部の臨地実習指導者を対象に、看護教育における実習の意義および実習指導者としての知識についてシリーズで講義を行った。(中尾久子教授、藤田君支教授、橋口暢子教授、青本さとみ講師)	研修会資料

4. 社会連携 2) 看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 8月20日～8月21日	全国保健師教育機関協議会スキルアップ研修会・教員研修会	東京で開催された当該研修会に参加し、保健師教育のあり方に関する検討を行った。	全国保健師教育機関協議会平成28年度スキルアップ研修会・教員研修会資料
平成29年 8月24日～8月25日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック協議会総会およびブロック夏季研修会	福岡女学院大学で開催された当該研修会において、モデルコアカリについて報告や意見交換をはじめ、保健師教育に関わる情報交換を行った。	全国保健師教育機関協議会平成29年度九州ブロック総会・夏季研修会資料
平成29年 10月26～10月27日	平成29年度看護学教育ワークショップ	千葉大学で開催された当該ワークショップに参加し、看護学教育の継続的質改善(CQI)を推進するための戦略について、看護系大学教員間で討議・共有を行った。	平成29年度看護学教育ワークショップ報告書
平成29年12月8日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック秋季研修会	福岡女学院大学で開催された当該研修会において、モデルコアカリについて報告や意見交換をはじめ、保健師教育に関わる情報交換を行った。	全国保健師教育機関協議会平成29年度九州ブロック秋季研修会資料

平成30年1月23日	福岡県公衆衛生看護 実習指導者合同研修 会	保健師課程を置く県内大学及び県内自治体 (県・市町村)保健師等が参加する当該研修会 において、公衆衛生看護学実習に関する報告や 意見交換、質の高い実習に向けた討議を行っ た。	福岡県公衆衛生 看護実習連絡協 議会議事録
------------	-----------------------------	---	-----------------------------

4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年9月9日	第15回九州大学医学 部保健学科公開講座 講演	地域住民の方を対象にテーマ「寒い季節は要注 意！入浴中のヒートショック」の講演を実施し た。講師：橋口暢子教授	公開講座資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 4月12日 平成29年 5月11日 平成29年 6月 7日 平成29年 7月 5日 平成29年 9月 6日 平成29年10月12日 平成29年11月 1日 平成29年12月 6日 平成30年 1月10日 平成30年 2月 7日 平成30年 3月 7日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年4月5日	学部生(第16期)の 入学	主担任:河窪 副担任:高橋 オリエンテーションは4月7日	分野会議議事録 学生便覧
平成29年4月6日	大学院生(第12期)の 入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録
平成29年4月19日 平成29年7月25日 平成29年9月27日 平成29年12月8日 平成30年1月15日 平成30年2月5日	国家試験学内模擬試 験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	
平成29年5月22日	修士課程 中間発表		
平成29年8月28日	学生ソフトボール大 会	教員・学生65名が参加した。	
平成29年9月21日	博士後期課程 中間発表会		
平成29年9月28日 ～29日	九重研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と分野内教員が参加して、研究倫理と臨地実習に関する研修会を開催した。 会場:九重研修所・九大山の家	
平成29年10月7日	2017年度医学物理士 認定試験	大学院生7名中3名合格	http://www.jbmp.org/certification/passers/
平成29年11月18日 ～19日	第12回 九州放射線 医療技術学術大会	学部4年生が参加して講演の聴講を行ない、学部生29名が筆頭発表者として学術研究発表を行った。	第12回 九州放射線医療技術学術大会プログラム
平成29年11月30日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生29名が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム

平成30年2月1日～2日	先端技術紹介セミナーの開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナープログラム
平成30年2月14日	修士研究発表会	医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年生12名が修士研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 修士研究発表会プログラム
平成30年2月22日	第70回診療放射線技師国家試験	29名が受験し26名が合格した。	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年8～9月	大学院生の海外派遣	経済産業省補助事業である、飛び出せ留学Japanへ修士大学院生1名が採用され、タイ国マヒドン大学に1ヵ月派遣した。	大学への海外渡航届け
平成29年9月	大学院生の海外派遣	JASSO(協定派遣)により、韓国高麗大学校に修士大学院生3名を3週間派遣した。	大学への海外渡航届け
平成29年11月	大学院生の海外派遣	JASSO(協定派遣)により、台湾国立清華大学に修士大学院生1名を約1ヵ月間派遣した。	大学への海外渡航届け
平成30年1月	大学院生の海外派遣	JASSO(協定派遣)により、タイ国チュラロンコン大学に、修士大学院生2名を約2週間派遣した。	大学への海外渡航届け
平成30年1月	大学院生の海外派遣	JASSO(協定派遣)により、タイ国マヒドン大学に、修士大学院生1名を約10日間派遣した。	大学への海外渡航届け
平成30年2月26-3月2日	留学生のリクルート活動	スーパーグローバル大学創成支援事業により、インドネシアのディポネグロ大学、サチャ・ワカナ・キリスト大学、バンドン工科大学に留学生のリクルート活動を実施した(有村秀孝教授、藤淵俊王准教授)	スーパーグローバル大学創成支援事業による海外出張報告書
平成30年3月11-15日	留学生のリクルート活動	スーパーグローバル大学創成支援事業により、タイのチュラロンコン大学、マヒドン大学に交換留学および留学生のリクルート活動および共同研究に関する意見交換を実施した。(藪内英剛教授、佐々木智成准教授、藤淵俊王准教授)	スーパーグローバル大学創成支援事業による海外出張報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年6月29日	第18回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	京都にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(藪内英剛教授、田中延和助教)	分野会議議事録 会議報告書
平成29年6月30日	第62回全国診療放射線技師教育施設協議会	京都にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(藪内英剛教授、田中延和助教)	開催プログラム

平成29年7月21日	明治学園高等学校における出前講義	明治学園高等学校において、高校生および教員を対象に診療放射線技師の業務内容と九州大学医学部保健学科の広報を行った。(河窪正照助教)	
------------	------------------	---	--

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年	九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの広報	「実践能力強化型チーム医療教育連絡会議」の年6回開催。医療系統合教育科目の合同講義、放射線医学技術学概論の実施した。また、2017年度版の臨地実習指導要領を作成し運用方法の改善も図った。	文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」ならびに「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」WEBページおよび平成29年度報告書
平成29年	九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの広報	3年生を対象に、超音波検査、CT画像検査、CR・FPD、乳房撮影、画像解剖・解析、下部消化管造影検査、一次救命処置、医療安全管理、ペイシェントケア、患者移乗介助、放射線被ばく・環境放射線測定、放射線被ばく線量の評価、放射線関連機器の安全管理および品質管理、放射線治療関連、LCDモニタ精度管理、バイオリスク管理および実習(検査技術科学専攻)、血液検査学実習(検査技術科学専攻)、などのトレーニングの講義と実習を実施した。	
平成29年	九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの広報	臨地実習前に習得しておくべき内容を含む「実践画像技術学」の講義を九州大学病院、九州医療センター、福岡労働衛生研究所の実習指導教員が実施した(放射線治療①②、核医学、CT、超音波、MR①②、血管造影、一般撮影①②、検診①②、造影透視骨塩、医療安全、マンモグラフィ、心臓カテーテル検査放射線管理、歯科)	
平成29年	九州大学で始めた新しい学部教育と人材育成プログラムの広報	九州大学の教員4名(藤淵、田中、河窪(以上、放射線技術科学分野)、杉島(検査技術科学分野)が、九州大学病院で臨床業務を行う人材交流を実施した。9月に岡山大学、徳島大学、30年2月に弘前大学において業務拡大に関する新しい学部教育プログラムの広報を実施した。	
平成29年9月	第5回臨地実習講習会	第5回臨地実習指導者講習会を平成29年9月29日(参加人数50名)を開催した。この講習会は、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラムを兼ねる。	
平成30年1月	第6回臨地実習講習会	第6回臨地実習指導者講習会を平成30年1月21日(参加人数79名)、臨地実習指導者講習会(検査技術科学分野、参加人数28名)を開催した。この講習会は、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラムを兼ねる。	
平成29年8月	放射線取扱主任者試験第1種国家試験	合格者 2年生1名合格、3年生14名合格、4年生1名合格	官報
平成29年4月22、23日	PHITS講習会	モンテカルロコードPHITSの講習会を日本原子力研究開発機構と共催して実施した。(世話人：有村秀孝教授、納富昭弘准教授、藤淵俊王准教授)	

平成29年10月14日	九州大学病院放射線部同門会	九州大学病院放射線部同門会において、保健学科放射線技術科学専攻の近況を報告した。 (藤淵俊王准教授)	
平成30年3月	分野ホームページ開設	新ニーズに対応する九州がんプロ養成プランの支援を受け、 医用量子線科学分野、先端医用量子線技術科学コース、医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースのホームページを開設した	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/
平成30年3月	平成29年度 第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会	卒後教育として医学物理に関する講演で、「これからの医療放射線防護のあり方」渡邊浩先生（横浜労災病院）、「次世代のがん放射線治療：BNCTの確立に向けた研究開発～筑波大の取り組みを中心として～」熊田博明先生（筑波大学）「がんと闘うための機械学習とレディオミクスのはなし」古徳純一先生（帝京大学）が講演し、50名程度が参加した。	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 4月18日 平成29年 5月24日 平成29年 6月28日 平成29年 7月26日 平成29年 8月23日 平成29年 9月27日 平成29年10月25日 平成29年11月22日 平成29年12月27日 平成30年 1月24日 平成30年 2月28日 平成30年 3月28日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成30年 3月	病理・細胞診担当、 杉島教授が退任		保健学部門会議資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 4月22日	新入生合宿研修	福岡県立社会教育総合研修センター (糟屋郡篠栗町)	分野会議議事録
平成29年 9月13日	検査技術科学分野FD	学部教育における臨地実習の改善、高年次 基幹教育、基幹教育科目、検査専攻専門科 目、三専攻共通科目について討議した。	検査FD議事録
平成29年 9月25日	九大病院検査部との 臨地実習反省会	九州大学病院検査部部長、技師長をはじめ 臨地実習担当の臨床検査技師の先生方と、 保健学部門検査技術科学分野教員間で、平 成29年度臨地実習の実施状況報告と平成30 年度の実施計画について討議した。	分野会議議事録
平成29年 9月19日 平成29年10月25日 (1名)	大学院博士課程・ 修士課程中間発表会	修士課程・博士課程大学院生の研究の進捗 状況について、中間発表を行った。	分野会議議事録
平成29年12月18日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年制が卒 業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
平成29年4月～平成 30年1月	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師 国家試験対策として、1)春から夏にかけて校 内模試を3回行い、自分の実力を確認させ、 さらにその成績を各学生に自己分析させ、 国家試験に向けての学習計画を立てさせ た。2)9月16日、11月11日、平成30年1月13 日の3回国試模試を実施した。1)の校内模 試と合わせ、成績不振者には面接指導を 行った。3)全教員による国家試験対策特別 講義の時間を2日間にわたり設け実施し た。	分野会議議事録
平成30年 2月14日	修士課程論文審査会	修士課程大学院生の修士論文審査会が行わ れた。	分野会議議事録

平成30年 2月21日	臨床検査技師国家試験		分野会議議事録
平成30年 3月14日	検査技術科学分野FD	検査技術科学分野の国際交流、研究、FDの活用法について討議した。	検査FD議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 7月 1日	藤本教授, International Union of Microbiological Societies 2017 発表	Studies of Photocatalytic Microbicidal Effect of Titaninm Dioxide(TiO2) Nanoparticles on Pathogenic Microorganisms., International Union of Microbiological Societies 2017, 2017年07月01日, Singapore.	学会抄録
平成29年 7月 1日	小島講師, International Union of Microbiological Societies 2017 発表	Genomic identification of Anisakis simplex larvae by PCR-RAPD., International Union of Microbiological Societies 2017, 2017年07月01日, Singapore.	学会抄録
平成29年 8月 2日	外園講師, American Association for Clinical Chemistry 発表	Eisaku Hokazono, Susumu Osawa, Eri Ohta, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Masanori Seimiya, Yuzo Kayamori : Preliminary study on a high-sensitivity hydrogen peroxide detection method using the metal chelating reagent, Chromazurol B (CAB), American Association for Clinical Chemistry, 2017年08月02日, United States of America.	学会抄録
平成30年 1月11日	安田助教, The 3rd International Symposium on Stem Cell Trairs and Developmental Systems 発表	Yoko Yasuda, Kazuaki Tokunaga, Chiyomi Sakamoto, Ilya G Goldberg, Tomoaki Koga, Noriko Saitoh, Mitsuyoshi Nakao : Computational image analysis of tissue morphologies using machine learning algorithms, wndchrn, KEY Forum: The 3rd International Symposium on Stem Cell Trairs and Developmental Systems, 2018年01月11日, Kumamoto City International Center, Japan.	学会抄録

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成29年 8月 2日	小島講師：福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査・細菌検査勉強会	福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査・細菌検査勉強会の講師として講演 テーマ：寄生虫標本観察ー原虫を中心にー	

平成29年 8月 7日	オープンキャンパス実施	高校生、その保護者、高校教員へ対して検査技術科学で行っている実習の一部や研究についての展示や体験を実施した。具体的には、手指採血した血液を利用した血糖検査のサービス、手洗い効果の判定、寄生虫のホルマリン標本観察、がん細胞の顕微鏡で観察、遺伝子検査で使用する器具の展示、心電図、肺機能検査、超音波検査のデモを実施、その他に臨床検査技師の業務内容についてのDVDの上映、といったものである。さらには、現役学部学生や教員を交えた進学相談コーナーを設置し、受験生や保護者からの様々な問い合わせに応じた。	学生委員会
平成29年 9月 9日	兵田助教：九州大学医学部保健学科公開講座講演	第15回九州大学医学部保健学科公開講座”自分を守る、家族を守る、医療と保健の知識”の中で、検査の講師として兵田教員がテーマ「血液のひみつ」について講演を行った。	公開講座資料
平成29年 9月28日	小島講師：シー・アール・シーの企業内勉強会	シー・アール・シーの企業内勉強会の講師として教育講演 テーマ：糞便中に検出される寄生虫卵一形態と検出方法一	

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

統合基礎看護

教授	加来	恒壽
教授	樗木	晶子
教授	中尾	久子
教授	藤田	君支
教授	橋口	暢子
准教授	濱田	裕子
講師	青本	さとみ
講師	木下	由美子
講師	能登	裕子
講師	松尾	和枝
講師	松浦	俊治
講師	丸山	マサ美
助教	潮	みゆき
助教	北尾	真梨
助教	木原	深雪
助教	酒井	久美子
助教	道面	千恵子
助教	藤田	紋佳
助教	前野	里子
助教	山口	優

1. 教育活動

1. 大学院講義

先端医療論 (分担)	加来	前期
Women's health (分担)	加来	前期
周産期の薬理学 (分担)	加来	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ (分担)	加来	前期
病態情報解析学Ⅰ (分担)	加来	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ (分担)	加来	前期
生体情報解析学Ⅰ (分担)	加来	前期
発達看護学特論Ⅰ (分担)	加来	前期
発達看護学特論Ⅱ (分担)	加来	後期

リプロサイエンスⅡ（婦人科・不妊・遺伝・メンタル） （分担）	加来	後期
看護学特別研究	加来	通年
保健学特別研究	加来	通年
国際医療システム論（分担）	樗木	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ（分担）	樗木	前期
生体情報解析学Ⅰ（分担）	樗木	前期
看護学特別研究	樗木	通年
保健学特別研究	樗木	通年
臨床看護学特論Ⅱ（分担）	樗木	通年
臨床看護学特論Ⅰ（分担）	樗木	通年
ヘルスサイエンス論（分担）	中尾	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ（分担）	中尾	前期
看護学研究方法論Ⅰ（分担）	中尾	前期
医療と生命倫理（分担）	中尾	後期
がん看護援助論（分担）	中尾	後期
生命倫理・遺伝相談カウンセリング論（分担）	中尾	後期
看護組織・マネジメント論（分担）	中尾	後期
臨床看護学特論Ⅱ（分担）	中尾	通年
臨床看護学特論Ⅰ（分担）	中尾	通年
看護学特別研究	中尾	通年
保健学特別研究	中尾	通年
保健学研究論（分担）	藤田 （君）	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ	藤田 （君）	前期
臨床看護学特論Ⅰ（分担）	藤田 （君）	通年
臨床看護学特論Ⅱ（分担）	藤田 （君）	通年
看護学特別研究	藤田 （君）	通年
保健学特別研究	藤田 （君）	通年
看護教育方法開発学Ⅰ	橋口	前期
看護教育論（分担）	橋口	前期
基礎看護学特論Ⅱ（分担）	橋口	後期
基礎看護学特論Ⅰ（分担）	橋口	後期
看護組織・マネジメント論（分担）	橋口	後期
看護学特別研究	橋口	通年

保健学特別研究	橋口	通年
看護研究方法論Ⅱ（分担）	濱田	前期
感性コミュニケーション概論（分担）	濱田	前期
看護学研究方法論Ⅱ（分担）	濱田	前期
発達看護学特論Ⅰ	濱田	前期
特別研究（1）	濱田	前期
小児家族看護学	濱田	後期
生命倫理・遺伝相談カウンセリング論（分担）	濱田	後期
特別研究（2）	濱田	後期
看護学特別研究	濱田	通年
看護研究方法論Ⅰ（分担）	木下	前期
看護教育論（分担）	能登	前期
基礎看護学特論Ⅰ（分担）	能登	後期
基礎看護学特論Ⅱ（分担）	能登	後期
看護組織・マネジメント論（分担）	能登	後期
看護教育論（分担）	松尾	前期
医療と生命倫理（分担）	松尾	後期
看護組織・マネジメント論（分担）	松尾	後期
生命倫理学	丸山	前期
医療と生命倫理（分担）	丸山	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

生体情報解析学Ⅱ	加来	後期
生体情報解析学Ⅱ	樗木	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	樗木	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ（分担）	中尾	前期
がん看護演習Ⅰ（分担）	中尾	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ（分担）	藤田(君)	後期
課題研究	橋口	前期
看護教育方法開発学Ⅱ	橋口	後期
小児・家族コミュニケーション演習	濱田	前期
ユーザー感性学PTL（Ⅱ）	濱田	前期
ユーザー感性学PTL（Ⅳ）	濱田	後期

4. 大学院修士課程修了者

新原 亮司 フアロー四徴症患者の生活習慣・精神的問題と看護支援の可能性について

嘉永 光代	緩和ケア病棟で働く緩和ケア認定看護師のアセスメントに関する質的研究
大城 吉野	子どもを亡くした親のグリーフに寄り添う支援
富安 彩香	職場復帰予定の初産婦の思いと行動
内山 真理子	小児医療における障がいや病気を抱える子どもとその家族のトータルケアと MSW の役割
山下 智美	看護専門学校での看護教員における臨床経験の意味
諫山 由紀枝	続発性下肢リンパ浮腫発症の関連因子
田中 るみ	強度表示型活動量計の携帯による糖尿病患者の身体活動量への効果
田中 さとみ	肝移植後患者の日常生活における身体活動量と QOL に関する横断研究

5. 大学院博士課程修了者

小野 淳二	The effects of water bath temperature on physiological parameters and subjective sensation in older people (入浴時の湯温が高齢者の生理的指標や主観的感覚に及ぼす影響)
黒田 裕美	A Nationwide, Cross-sectional Survey on Unusual Sleep Postures and Sleep-disordered Breathing-related Symptoms in People with Down Syndrome (ダウン症者における特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害に関する全国調査)
松清 由美子	Structuring the Process of Disaster Relief Nurses' Cognitive Evaluation of Stress (災害看護職者のストレスの認知的評価から活動後の適応・不適応にいたるプロセスの構造化)
関屋 伸子	Development of a New Cervical Dilatation Curve for Spontaneous Vaginal Delivery in Japanese Primigravid Women.

6. 学部講義

泌尿器・生殖器 (分担)	加来	前期
母性疾病論 (分担)	加来	前期
臨床医学論 I (分担)	加来	後期
臨床病態学 (分担)	加来	後期
国際保健と医療 (分担)	加来	後期
人体の構造と機能 IA	樗木	前期
人体の構造と機能 IB	樗木	前期
臨床病態学	樗木	後期
医学総論 I (分担)	樗木	後期
老年看護学概論 (分担)	中尾	前期
医療倫理・終末期医療論 (分担)	中尾	前期

老年看護学各論Ⅱ (分担)	中尾	前期
看護倫理・ターミナルケア論 (分担)	中尾	後期
老年看護学各論Ⅰ (分担)	中尾	後期
老年保健疾病論 (分担)	中尾	後期
成人看護学各論Ⅰ (分担)	藤田(君)	前期
成人看護学各論Ⅱ (分担)	藤田(君)	前期
成人看護学概論 (分担)	藤田(君)	秋学期
国際保健と医療 (分担)	藤田(君)	後期
基礎看護技術学Ⅰ (分担)	橋口	前期
基礎看護技術学Ⅱ (分担)	橋口	前期
看護研究入門 (分担)	橋口	前期
看護学概論 (分担)	橋口	春学期
看護理論 (分担)	橋口	夏学期
看護教育論	橋口	秋学期
看護過程論 (分担)	橋口	後期
小児看護学各論Ⅱ (分担)	濱田	前期
看護研究入門 (分担)	濱田	前期
小児看護学概論 (分担)	濱田	後期
小児看護学各論Ⅰ	濱田	後期
精神保健・疾病論 (分担)	青本	前期
精神看護学各論 (分担)	青本	前期
精神看護学概論 (分担)	青本	秋学期
成人看護学各論Ⅰ (分担)	木下	前期
成人看護学各論Ⅱ (分担)	木下	前期
成人看護学各論Ⅲ (分担)	木下	前期
救急蘇生学 (分担)	木下	秋学期
がん看護論 (分担)	木下	後期
看護倫理・ターミナルケア論 (分担)	木下	後期
老年看護学各論Ⅰ (分担)	木下	後期
基礎看護技術学Ⅰ (分担)	能登	前期
看護理論 (分担)	能登	夏学期
看護過程論 (分担)	能登	後期
基礎看護技術学Ⅱ (分担)	能登	後期
小児疾病論	松浦	前期
基礎看護技術学Ⅰ (分担)	松尾	前期
看護管理	松尾	前期
災害とチーム医療論 (分担)	松尾	秋学期

基礎看護技術学Ⅱ（分担）	松尾	後期
インフォームド・コンセント	丸山	前期
薬害	丸山	前期
基幹教育セミナー	丸山	夏学期
医療倫理学Ⅰ	丸山	秋学期
医療倫理学Ⅱ	丸山	冬学期
コミュニケーション論	丸山	冬学期
課題提示科目 Life	丸山	後期
成人看護学各論Ⅲ（分担）	潮	前期
成人看護学各論Ⅳ（分担）	潮	前期
看護倫理・ターミナルケア論（分担）	潮	後期
小児看護学各論Ⅱ（分担）	北尾	前期
精神看護学各論（分担）	木原	前期
精神保健・疾病論（分担）	木原	前期
精神看護学概論（分担）	木原	秋学期
老年看護学各論Ⅱ（分担）	酒井	前期
老年看護学概論（分担）	酒井	夏学期
老年保健・疾病論（分担）	酒井	秋学期
老年看護学各論Ⅰ（分担）	酒井	冬学期
基礎看護技術学Ⅰ（分担）	道面	前期
看護学概論（分担）	道面	春学期
看護理論（分担）	道面	夏学期
基礎看護技術学Ⅱ（分担）	道面	後期
看護過程論（分担）	道面	後期
小児看護学各論Ⅱ（分担）	藤田(紋)	前期
小児看護学概論（分担）	藤田(紋)	秋学期
成人看護学各論Ⅰ（分担）	前野(里)	前期
成人看護学各論Ⅱ（分担）	前野(里)	前期
がん看護論（分担）	前野(里)	前期
成人看護学各論Ⅲ（分担）	山口	前期
成人看護学各論Ⅳ（分担）	山口	前期
救急蘇生学（分担）	山口	秋学期
災害とチーム医療論（分担）	山口	秋学期

7. 学部の実験・実習・演習

卒業研究（分担）	加来	通年
卒業研究（分担）	樗木	通年
総合実習（分担）	中尾	前期
老年看護学実習（分担）	中尾	前期
卒業研究（分担）	中尾	通年
総合実習（分担）	藤田(君)	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ（分担）	藤田(君)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ（分担）	藤田(君)	後期
卒業研究（分担）	藤田(君)	通年
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	橋口	前期
総合実習（分担）	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅱ（2年）（分担）	橋口	後期
基礎看護学実習Ⅱ（3年）（分担）	橋口	後期
卒業研究（分担）	橋口	通年
総合実習（分担）	濱田	前期
小児看護学実習（分担）	濱田	後期
卒業研究（分担）	濱田	通年
卒業研究（分担）	青本	通年
総合実習（分担）	青本	通年
精神看護学実習（分担）	青本	通年
総合実習（分担）	木下	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ（分担）	木下	後期
卒業研究（分担）	木下	通年
総合実習（分担）	能登	前期
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	能登	前期
基礎看護学実習Ⅱ（2年）（分担）	能登	後期
基礎看護学実習Ⅱ（3年）（分担）	能登	後期
卒業研究（分担）	能登	通年
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	松尾	前期
総合実習（分担）	松尾	前期
基礎看護学実習Ⅱ（2年）（分担）	松尾	後期
基礎看護学実習Ⅱ（3年）（分担）	松尾	後期
卒業研究（分担）	松尾	通年
小児看護学実習	松浦	後期
卒業研究（分担）	松浦	通年
インフォームド・コンセント	丸山	前期
基幹教育セミナー	丸山	夏学期

課題提示科目 Life	丸山	後期
コミュニケーション論	丸山	冬学期
卒業研究 (分担)	丸山	通年
総合実習 (分担)	潮	前期
老年看護学実習 (分担)	潮	前期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	潮	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	潮	後期
卒業研究 (分担)	潮	通年
総合実習 (分担)	北尾	前期
小児看護学実習 (分担)	北尾	通年
卒業研究 (分担)	北尾	通年
卒業研究 (分担)	木原	通年
精神看護学実習 (分担)	木原	通年
総合実習 (分担)	酒井	前期
老年看護学実習 (分担)	酒井	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	酒井	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	酒井	後期
卒業研究 (分担)	酒井	通年
基礎看護学実習Ⅰ (分担)	道面	前期
総合実習 (分担)	道面	前期
基礎看護学実習Ⅱ (2年) (分担)	道面	後期
基礎看護学実習Ⅱ (3年) (分担)	道面	後期
卒業研究 (分担)	道面	通年
総合実習 (分担)	藤田(紋)	前期
卒業研究 (分担)	藤田(紋)	通年
小児看護学実習 (分担)	藤田(紋)	通年
総合実習 (分担)	前野(里)	前期
老年看護学実習 (分担)	前野(里)	前期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	前野(里)	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	前野(里)	後期
卒業研究 (分担)	前野(里)	通年
卒業研究 (分担)	山口	通年
総合実習 (分担)	山口	前期
老年看護学実習 (分担)	山口	前期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	山口	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	山口	後期

8. 卒業論文作成者

- 佐々木 連太 がん性疼痛を有する小児に提供された看護ケアの考察 –終末期に向かう小児の QOL の視点から–
- 青山 水咲 消化管疾患術後における早期経口摂取と阻害要因
- 荒金 伽耶 性暴力被害者に対する国内の研究動向についての文献検討
- 荒木 彩花 小児がんの晩期合併症を有する児の退院後の経験とその支援
- 泉井 麻緒 救急看護師のストレス要因とその影響要因に関する文献検討
- 今津 純平 疼痛緩和における代替療法の有効性について
- 岩永 未歩 看護における感性・知性に関する文献研究–患者と看護師の信頼関係を構築するための看護の一考察–
- 大原 千春 小児がんの子どもをもつ家族のエンド・オブ・ライフケア –子どもを亡くした家族の視点から–
- 大穂 理 ICD 患者の現状と QOL 向上にむけた患者手帳の開発
- 大山 遥菜 成人期における行動変容低ステージ群の特徴と支援方法
- 岡本 葉月 手浴技術の清潔効果に関する文献検討–拘縮手・麻痺手に焦点をあてて–
- 岡本 真理菜 胃がん術後患者の食生活に関する文献検討
- 尾崎 仁美 音楽療法が認知症高齢者に及ぼす効果についての文献検討
- 檜本 あまね 認知症高齢者の転倒予防方法に関する文献検討
- 河津 ひかり 介護予防を目的とした高齢者自主グループ活動の継続要因
- 木下 愛 わが国におけるストーカー問題の現状と看護職者による被害者支援の検討
- 木下 弘貴 高齢者における下肢筋力の増強・筋肥大効果を得るための効率的なトレーニング方法について
- 黒川 雄平 皮膚温度感受性に影響する要因に関する文献検討
- 皇甫 智明 アンプラッツァー心房中隔欠損孔システム (ASO 治療) を受けた患者の治療前後の身体的変化
- 後藤 真優 認知症高齢者の退院に関する課題と支援 –本人の意思を尊重することに着目して–
- 清水 友莉子 小児がんサバイバーにおける Posttraumatic Growth
- 高尾 祐里奈 災害避難所支援に関する問題と看護支援の方向性
- 高木 祐未 成人先天性心疾患患者のトランジションと看護師の役割
- 瀧本 有里 緩和ケアの質向上のために教育プログラム作成に当たっての一般病棟の看護師のニーズ –室の高い緩和ケアの構成要因に関する文献研究を通して–
- 坪倉 美波 術前オリエンテーションが肺がん患者の術後合併症予防に及ぼす影響についてのパイロットスタディ
- 寺中 祐人 アスペルガー症候群の児を持つ親に対するサポートの現状についての 文献検討
- 沼田 龍翔 スポーツ外傷・障害を受けた選手の受傷から復帰までの心理プロセスと行動に関する文献研究
- 萩尾 美奈 患者の意思を尊重するための看護に関する文献研究–看護における医療的無益の一考察–
- 深道 奏美 血液透析を行う患者とその療養生活を支援する家族に関する

	文献検討
福隅 遥	病気の子どものきょうだいの体験と必要な支援
船越 みさき	術中待機家族に対する不安軽減のための支援-イントラネットを用いた情報提供-
前田 英子	血液透析患者の QOL を向上させる支援に関する文献検討
松崎 有紀	学校における防災教育の現状と今後の課題
松田 光瑠	小児用体外設置式補助人工心臓システム (EXCOR) に関する看護の課題
三角 綾希	養護教諭の不登校に対するコーディネーション機能とその構造「
森屋 晴香	アルコール依存症者に対する陰性感情と対処法に関する文献検討
守谷 美紀	病棟看護師が行う退院支援の実践に関する文献検討
山岡 真夕	2 型糖尿病患者の低強度身体活動の効果に関する文献検討
山口 未希	病棟・施設における高齢者の転倒要因とその対策
與市園 佳歩	ヒトパピローマウイルスワクチン接種の現状と今後の展望
吉福 広菜	看護師と患者の双方の立場から捉えたコミュニケーションに関する文献研究-看護における信頼関係を構築するための一考察-
米丸 恵理	重症心身障害児の侵襲的処置を決断する親の経験と思い
横田 恵梨 (21 世紀プログラム)	出生前診断により脆弱な存在となり得るカップルのバイオエックス研究-Albert R. Jonsen “The Four Topics Chart ” を用いた一考察

9. 研究生

九州大学病院看護研究コース受講者 2 名

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

道面 バスケットボール (保健学科)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | |
|---|------------------------------|----|
| 1 | 婦人科悪性腫瘍における RCAS1 の発現とその意義 | 加来 |
| 2 | 婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義 | 加来 |
| 3 | 婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究 | 加来 |
| 4 | 婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究 | 加来 |
| 5 | ダウン症者における睡眠時無呼吸や睡眠障害の疫学研究及び介 | 樗木 |

入研究	
6 漢方看護教育	樗木
7 医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ (がん医療、看護)	中尾
8 ストレスおよび生活行動の関連性、看護者の well-being	中尾
9 高齢者の身体拘束と QOL	中尾
10 高齢者特有の症状と QOL に関する研究	中尾
11 認知症高齢者の介護者におけるエンパワーメント	藤田(君)
12 強度表示型活動量計の携帯による糖尿病患者の身体活動量への 効果	藤田(君)
13 アジアの人工股関節患者の座式生活における QOL データベース の構築	藤田(君)
14 療養環境における温熱的快適性に関する研究	橋口
15 高齢者における家庭内事故(溺死, 入浴事故)に関する研究	橋口
16 高齢者における体温調節反応および皮膚温度感受性に関する研 究	橋口
17 ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケア の生成	濱田
18 子どもの臓器移植に直面した家族の合意形成をチームで支える ケアガイドラインの開発	濱田
19 うつ病患者の家族への心理教育	青本
20 直腸がん患者の QOL	木下
21 アジア系アメリカ人のがんスクリーニング影響要因探索	木下
22 高齢者の家庭内転倒リスクを考慮したウェアラブル端末の開発	能登
23 視覚障害をもつ患者の体験やアドヒアランスに関する研究	松尾
24 小児肝移植および小腸移植における拒絶反応の制御	松浦
25 短腸症に対する小腸リハビリテーション指針作成に関する研究	松浦
26 コミュニケーション教育・研究-看護のためのマイクロカウンセ リング-	丸山
27 古医書・貴重書の書誌的研究-史料を活用した倫理教育への取 り組み-	丸山
28 生命・医療倫理学教育・研究-死生観の国際比較研究-	丸山
29 看護倫理教育・研究-感性と知性の統合-	丸山
30 生殖補助医療における生命倫理研究	丸山
31 軽症脳梗塞患者の再発予防に向けた身体活動量調査	潮
32 NICU で子どもを亡くされたご遺族の支援に関する看護師の意識 調査	北尾
NICU における医学上の倫理的意思決定に対する看護師の認識と 実態に関する研究	北尾
33 Pre Death 期の NICU 入院児へのケアにおける看護師の精神的負 担と要因の解明	北尾
34 アルコール依存症者の感情体験に関する研究	木原

35	看護師の退院調整能力と看護実践能力に関する調査	酒井
36	看護職の off-JT 担当者に求められる教育能力	酒井
37	患者教育における看護師のビリーフ	道面
38	生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL 向上のための看護援助に関する研究	藤田(紋)
39	臓器移植を受ける家族の合意形成を支える支援に関する研究	藤田(紋)
40	小児看護におけるケアの効率化に関する研究	藤田(紋)
41	2 型糖尿病患者の身体活動に関する支援	前野(里)
42	糖尿病患者をもつ高齢者の身体活動および睡眠に関する研究	前野(里)
43	救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証	山口
44	急変時のチームビルディングスキル向上のための机上シミュレーション	山口

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

加来 恒壽

- 「基盤研究(C)」 子宮内膜癌、内膜増殖症および類縁疾患の核形状・核クロマチン分布の定量的解析, 加来(代表)

樗木 晶子

- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築, 樗木(代表)
- 「基盤研究(C)」 若年ダウン症者における睡眠呼吸障害の有病率及び治療状況に関する二国間比較調査, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 慢性疼痛トリガーポイントへの温熱療法を活用した寝たきり防止看護プログラムの構築, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 集学的治療を受ける直腸がん患者の外来における看護支援モデルの構築, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 睡眠を妨げない転倒予防のための照明の開発, 樗木(分担)
- 「基盤研究(B)」 高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 胃切除術後患者への ICT を活用した自己管理支援プログラムの構築と有効性の検証, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」 ホームモニタリングによるダウン症児の特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害の関連の検討, 樗木(分担)

中尾 久子

- 「基盤研究(C)」 情報提供を基盤とした術後せん妄に対する看護師と家族の協働的ケアプログラムの開発, 中尾 (分担)
- 「基盤研究(C)」 災害救援活動に従事した看護師のストレスコーピング及び長期的適応プロセスの構造化, 中尾 (分担)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションのための基盤構築, 中尾 (分担)
- 「基盤研究(C)」 肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 中尾 (分担)

藤田 君支

- 「基盤研究(C)」 アジアの人工股関節患者の座式生活における QOL データベースの構築, 藤田君 (代表)
- 「基盤研究(C)」 人工股関節患者のライフスタイルの違いや豪雪寒冷地による影響と対策ツールの開発 研究, 藤田君 (分担)
- 「挑戦的研究(萌芽)」 肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 藤田君 (分担)
- 「基盤研究(C)」 中等度認知症高齢者の家族のためのレスパイトケアモデルの開発に向けた基礎的研究, 藤田君 (分担)

橋口 暢子

- 「基盤研究(B)」 高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成, 橋口 (代表)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築, 橋口 (分担)
- 「基盤研究(C)」 慢性疼痛トリガーポイントへの温熱療法を活用した寝たきり防止看護プログラムの構築, 橋口 (分担)
- 「基盤研究(C)」 睡眠を妨げない転倒予防のための照明の開発, 橋口 (分担)

濱田 裕子

- 「基盤研究(C)」 ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成, 濱田 (代表)

- 「基盤研究(B)」 子どもの臓器移植に直面した家族の合意形成をチームで支えるケアガイドラインの開発, 濱田(分担)
- 「基盤研究(C)」 肝移植後の学童期から思春期の子どもと親のQOL向上のための看護援助モデル構築, 濱田(分担)

松浦 俊治

- 「基盤研究(C)」 薬剤抵抗性小腸移植片拒絶反応に対する細胞治療法の確立, 松浦(代表)
- 「難治性疾患等政策研究事業」、短腸症の重症度分類・集学的小腸リハビリテーション指針作成に関する研究, 松浦(代表)
- 「基盤研究(C)」 肝移植後の学童期から思春期の子どもと親のQOL向上のための看護援助モデル構築, 松浦(分担)

木下 由美子

- 「基盤研究(C)」 集学的治療を受ける直腸がん患者の外来における看護支援モデルの構築, 木下(代表)
- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築, 木下(分担)
- 「基盤研究(C)」 慢性疼痛トリガーポイントへの温熱療法を活用した寝たきり防止看護プログラム, 木下(分担)
- 「挑戦的萌芽研究」 肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 木下(分担)

能登 裕子

- 「挑戦的萌芽研究」 高齢者の特性と家庭内転倒リスクを考慮した衣服型ウェアラブル端末の開発と検証, 能登(代表)

潮 みゆき

- 「若手研究(B)」 脳梗塞再発予防のための身体活動量指標の確立に向けたデータベースの構築, 潮(代表)

- 「挑戦的萌芽研究」 肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 潮 (分担)

北尾 真梨

- 「若手研究(B)」 PreDeath期のNICU入院児へのケアにおける看護師の精神的負担と要因の解明, 北尾 (代表)
- 「基盤研究(C)」 ビジュアル・ナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成, 北尾 (分担)

木原 深雪

- 「基盤研究(C)」 アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討, 木原 (代表)

道面 千恵子

- 「基盤研究(C)」 患者教育における看護師のビリーフ尺度の開発, 道面 (代表)
- 「基盤研究(C)」 看護教員コンピテンシーモデルの開発と検証, 道面 (分担)
- 「基盤研究(C)」 看護教員を対象とした協働参加型授業改善プログラムの開発, 道面 (分担)

藤田 紋佳

- 「基盤研究(C)」 肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親のQOL向上のための看護援助モデル構築, 藤田 (紋) (代表)
- 「基盤研究(C)」 ビジュアル・ナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成, 藤田 (紋) (分担)

前野 里子

- 「基盤研究(C)」 糖尿病をもつ高齢者における睡眠と身体活動量に関する研究, 前野 (代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「研究補助者雇用支援(短期)」 生活習慣病を有する高齢者の皮膚温度感受性に関する研究 (短期) 橋口 (代表)
- 「研究補助者雇用支援(短期)」 脳卒中再発予防のための看護支援, 潮 (代表)

- 「研究補助者雇用支援」 看護師の患者教育のビリーフ, 道面 (代表)
- 「研究補助者雇用支援 (短期)」 肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築, 藤田 (紋) (代表)
- 「出産・育児復帰者支援」 費用対効果の高い小児看護ケア開発に向けた基礎的研究, 藤田 (紋) (代表)

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「第一三共奨学寄付プログラム」 第一三共(株), 樗木
- 「ノバルティス ファーマ研究助成」 ノバルティス ファーマ(株), 樗木.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「富士ゼロックス 心疾患診断への応用に向けた生体センサの研究」 樗木
- 国立研究開発法人日本医療研究開発機構、難治性疾患実用化研究事業 「先天性心疾患の患者教育とトータルライフケアをめざした医療情報集約システムの構築」 樗木
- 「株式会社ノーリツ 寒冷環境における入浴行為による身体負担と血圧変動及び心理反応についての研究」 橋口
- 「障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト」 濱田

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Hideaki Yahata, Kenzo Sonoda, Masafumi Yasunaga, Tatsuhiro Ohgami, Yoshiaki Kawano, Eisuke Kaneki, Kaoru Okugawa, Tsunehisa Kaku, Kiyoko Kato: Surgical treatment and outcome of early invasive adenocarcinoma of the uterine cervix (FIGO stage IA1) Asia Pac J Clin Oncol. 2017 年 4 月
- Tomoko Wada, Yoshihiro Ohishi, Tsunehisa Kaku, Murasaki Aman, Hiroko Imamura, Nobuko Yasutake, Kenzo Sonoda, Kayoko Kato, Yoshinao Oda: Endocervical Adenocarcinoma with Morphologic Features of Both Usual and Gastric Types: Clinicopathologic and Immunohistochemical Analyses and High-risk HPV Detection by In Situ Hybridization. Am J Surg Pathol, 41(5):696-705, 2017 2017 年 4 月

- Hiromi Kuroda, Hiroyuki Sawatari, Ando Shinichi, Tomoko Okusa, Anita Rahmawati, Junji Ono, Mari Konishi Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Fumio Matsuoka, Akiko Suyama Chishaki : A Nationwide, Cross-sectional Survey on Unusual sleep postures and sleep-disordered breathing-related symptoms in people with down syndrome., *J Intellect Disabil Res.*, 61, 7, 656 - 667, 2017年4月.
- Junji Ono, Nobuko Hashiguchi, Hiroyuki Sawatari, Ohkusa Tomoko, Mami Miyazono, Su-young Son, Chie Magota, Yutaka Tochiyama, Akiko Suyama Chishaki : Effect of water bath temperature on physiological parameters and subjective sensation in older people, *Geriatrics & Gerontology International*, 2017年4月. (査読あり)
- Hiroyuki Sawatari, Mari K. Nishizaka, Mami Miyazono, Shin-ichi Ando, Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Takafumi Sakamoto, Daisuke Goto, Tomoo Furumoto, Shintaro Kinugawa, Nobuko Hashiguchi, Anita Rahmawati, Hiroaki Chishaki, Tomoko Ohkusa, Chie Magota, Hiroyuki Tsutsui, Akiko Suyama Chishaki : Three nights leg thermal therapy could improve sleep quality in patients with chronic heart failure, *Heart and Vessels*, 1 - 8, 2017年9月. (査読あり)
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui : Dissociated electrical activities in the left atrial posterior wall seen in a patient with focal atrial tachycardia after heart transplantation, *European Heart Journal - Case Reports*, 1, 2, 1 - 2, 2017年12月. (査読あり)
- Yumiko MATSUKIYO, Hisako NAKAO, Tatsuyuki KAKUMA : Structuring the Process of Disaster Relief Nurses' Cognitive Evaluation of Stress, *Health Emergency and Disaster Nursing*, 5, 1, 12 - 24, 2018年3月. (査読あり)
- Kai Lin, Liangxiao Bao, Jian Wang, Kimie Fujita, Kiyoko Makimoto, Xiaoyan Liao : Validation of the Chinese (Mandarin) Version of the Oxford Knee Score in Patients with Knee Osteoarthritis, *Clinical Orthopaedics and Related Research*, 475, 12, 2992 - 3004, 2017年12月. (査読あり)

- Sayori Sakanashi, Kimie Fujita : Empowerment of family caregivers of adults and elderly persons A concept analysis, *International Journal of Nursing Practice*, 23, 5, 2017年10月. (査読あり)
- Chie Magota, Hiroyuki Sawatari, Shin-ichi Ando, Mari K. Nishizaka, Kaoru Tanaka, Kaori Horikoshi, Izumi Hoashi, Hashiguchi Nobuko, Ohkusa Tomoko, Akiko Chishaki : Seasonal ambient changes influence inpatient falls, *Age and Ageing*, 46, 513 - 517, 2017年05月. (査読あり)
- Rieko Izukura, Hajime Imada, Nobuko Hashiguchi, Hiroyuki Sawatari, Takayuki Ohguri, Miyazono Mami, Ohta Shin, Takakura Chiduko, Yamasaki Keiko, Magota Chie, Fujita Kanae, Kuroda Hiromi, Hirata Hideki, Ohkusa Tomoko, Chishaki Akiko : Cardiac and respiratory effects of deep regional hyperthermia using an 8-MHz radiofrequency-capacitive device on patients with cancer., *International Journal of Hyperthermia*, 33, 4, 428 - 434, 2017年05月. (査読あり)
- 土井紗世、濱田裕子、藤田紋佳 : 新生児医療施設に長期入院している子どもを持つ親の体験-エスノナーシングの研究方法を用いて-, *家族看護学研究*, 23, 2, 2018年02月. (査読あり)
- Yumiko KINOSHITA, Kathleen M. NOKES, Rieko KAWAMOTO, Maki KANAOKA, Mami MIYAZONO, Hisako NAKAO, Akiko CHISHAKI, Ryuichi MIBU : Health-related quality of life in patients with lower rectal cancer after sphincter-saving surgery: A prospective 6-month follow-up study, *European Journal of Cancer Care*, 26, 4, e12417 -, 2017年07月. (査読あり)
- Yumiko KINOSHITA, Tomoko Ohkusa, Rieko Izukura, Akiko Chishaki, Ryuichi Mibu : Effects of chemotherapy on the health-related quality of life of Japanese lower rectal cancer patients after sphincter- saving surgery, *Journal of Psychosocial Oncology*, 35, 4, 468 - 482, 2017年07月. (査読あり)
- Angela Sy, Eunjung Lim, Lana Sue Ka 'opua, Merle Kataoka-Yahiro, Yumiko KINOSHITA, Susan L Stewart : Colorectal cancer screening prevalence and predictors among Asian American subgroups using Medical Expenditure Panel Survey National Data,

Cancer (Published online 22 March 2018) , 124, S7, 1543 - 1551, 2018年03月. (査読あり)

- 平川善大, 大池美也子, 能登裕子: 看護基礎教育におけるウェブディスプレイの有効性, *日本看護日本看護教育学会誌*, 27, 2, 1 - 14, 2017年11月. (査読あり)
- 山中真, 梶原弘平, 能登裕子: 転倒時における予防動作から見た転倒防御姿勢分類, *インターナショナル Nursing Care Research*, 16, 1, 1 - 8, 2017年04月. (査読あり)
- 前野里子, 田渕康子, 松永(明時)由理子, 藤田君支: 認知機能障害のある高齢者における夜間睡眠の実態とADLおよびBPSDとの関連, *老年看護学*, 22, 2, 31 - 39, 2018年01月. (査読あり)
- 酒井久美子: 大学病院で退院調整に関わる病棟看護師の退院調整能力と看護ケア能力との関連, *日本マネジメント学会*, 2018年03月 (査読あり)
- 岡田なぎさ, 中田光紀, 中野正博, 酒井久美子, 鷹居樹八子, 児玉裕美, 小林敏生; 妻または母親役割を持つ看護師の精神健康度に関連する要因およびストレス対処能力-結婚、出産、育児による離職経験の有無別の検討, *産業医科大学雑誌*, 40 (1) , 53-63, 2018年3月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Inoue Shujiro, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Location and coupling interval of ectopic beats have key roles in the onset of atrial fibrillation from the pulmonary veins, *E S C (ヨーロッパ心臓病学会)*, 2017年08月27日, Spain.
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Inoue Shujiro, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Non-pulmonary vein trigger of atrial fibrillation is likely to arise from low voltage area in the left atrium, *E S C (ヨーロッパ心臓病学会)*, 2017年08月27日, Spain.
- Anita Rahmawati, Akiko Chishaki, Kanae Fujita, Hiroyuki Sawatari, Mari Konishi Nishizaka, Hiromi Kuroda, Minjyon Kan,

Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Ando Shinichi: Influence of sex on assessment of glucose levels and lipid profiles in Down syndrome with congenital heart diseases, 第8回国際性差医学会 学術集会 (The 8th Congress of the International Society for Gender Medicine), 2017年09月16日, Japan.

- Hisako NAKAO, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Miyuki Ushio, Sakai Kumiko, Satoko Maeno, Kimie Fujita: Difficulties by Nurses Providing Decision-Making Support for Patients with Acute Care Hospital Cancer Patients in Japan, The2nd Asia-Pacific Nursing Research Conference, 2017年08月02日, China.
- Kazumi Fukuda, Hisako NAKAO: An overview of how nurses interact with the families of postoperative patients, The2nd Asia-Pacific Nursing Research Conference, 2017年08月02日, China.
- Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Akiko Chishaki, Yutaka Tochihara: Cutaneous thermal thresholds in elderly people with lifestyle-related disease, The 17th International conference on environmental ergonomics (ICEE2017, Kobe), 2017年12月17日, Japan.
- Linran Ruan, Nobuko Hashiguchi, Masanobu Hayashi, Hiroko Koga, Takashi Nonaka Takafumi Maeda: Effects of bathing on psychophysiological responses in the elderly and the young males (ICEE2017, Kobe), 2017年12月17日, Japan.
- Nobuko Hashiguchi, Satomi Mikami, Mami Miyazono, Hiroyuki Sawatari, Yutaka Tochihara, Akiko Chishaki: Thermal comfort after bed bath in low relative humidity environment during winter, 7th Hong Kong International Nursing Forum, 2017年12月01日, Hong Kong.
- Yukiko Arata, Hisako Nakao, Yuko Hamada: Motivation toward Growth at Work among Nurses in Japan: TNMC&WANS International Nursing Research Conference, 2017. 10. 20, Thailand,
- Angela U. Sy, Eunjung Lim, Lana Sue Ka 'opua, Merle Kataoka-Yahiro, Yumiko Kinoshita, Susan L Stewart: NATIONAL COLORECTAL CANCER SCREENING AMONG ASIAN AMERICANS, Research

Center Minority Institution 2017 Translational Science Conference, Washington DC, USA. , Research Center Minority Institution 2017 Translational Science Conference, 2017年11月01日, USA.

- NOTO HIROKO, SATOSHI MURAKI : The Relations among Physical Sensations, Body Function and Fall History of the Elderly Living at Home, The 2nd Asian Conference on Ergonomics and Design, 2017年06月04日, Japan.
- Hiroko Noto, Yoshito Ogata, Kengo Nawata, Shigeki Watanuki, Tomoaki Fuji, Kosuke Okusa : Direction of service toward improving resilience capability at the time of disaster, International Nursing Research Conference 2017, 2017年10月01日, Thailand.
- Yoshihiro Hirakawa, Yukari Yoshikawa, Yukimi Ohmura, Kumiko Sakai : Essential Knowledge for Hospital-Based Nurse Educators Engaged in Off-the-Job Training : Content Analysis of Open Responses to a Nationwide Survey in Japan, 20th World Nursing Education Conference, 2017年05月23日, Japan.
- Chieko Domen, Miyako Oike : Factors influencing nurses' belief in patient education, World Academy of Nursing Science, 2017年10月01日, Thailand.
- Masami Maruyama : Truth Telling to TERMINAL Cancer Patients ; An analysis on willingness survey of in Japan, South Korea and China - (The 18th Asian Bioethics Conference -Future of Bioethics & Health Care) , 2017年10月27日, Korea.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 濱田裕子 : 子どもを亡くした家族のグリーフケアプログラムの開発, 2018年03月

e. 国内学会での講演, 発表

- 加来恒壽 : 婦人科腫瘍の組織診と細胞診 (会長講演) , 第56回日本臨床細胞学会秋期大会, 2017年11月18日, 福岡市

- 樗木 晶子：しなやかなワークライフバランスをめざして，第109回日本消化器病学会九州支部例会・第103回日本消化器内視鏡学会九州支部例会，2017年05月19日，福岡市.
- 樗木 晶子：柔軟なワークライフバランスをめざして -きらめきプロジェクトのめざすところ-，第55回日本小児歯科学会大会，2017年05月25日，北九州市.
- 宮園真美，澤渡浩之，橋口暢子，樗木晶子：健康高齢女性の冷え症状、睡眠、および血管内皮機能に対する下肢加温3ヶ月連続使用の効果，第53回日本循環器病予防学会学術集会，2017年06月17日，京都.
- 藤田香奈恵，樗木晶子，鳩野洋子，橋口暢子，吳茜，姜旻廷，半田早希子，西坂麻里，安藤眞一：睡眠呼吸障害の治療継続に関する要因の検討，第53回日本循環器病予防学会学術集会，2017年06月17日，京都.
- Anita RAHMAWATI, Akiko Chishaki, Kanae Fujita, Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Ando Shinichi: Assessment of life-style related diseases in adult Down syndrome patients with congenital heart diseases. , 第53回日本循環器病予防学会学術集会，2017年06月17日，京都.
- 樗木晶子：一瞬の気づきから始まる健康食生活，第53回日本循環器病予防学会学術集会，2017年06月17日，京都.
- 新原亮史，山崎啓子，坂本一郎，山村健一郎，兒玉祥彦，石川司朗，澤渡浩之，伊豆倉理江子，樗木浩朗，大賀正一，筒井裕之，樗木晶子：ファロー四徴症修復術後患者の心血管イベントの有無と自己管理・精神的問題の関連，第53回日本循環器病予防学会学術集会，2017年06月17日，京都.
- 新原亮史，澤渡浩之，山崎 啓子，坂本 一郎，山村 健一郎，兒玉 祥彦，石川 司朗，伊豆倉 理恵子，樗木 浩朗，大賀 正一，筒井 裕之，樗木晶子：成人期ファロー四徴症(TOF)患者の精神的問題と心血管イベントの関連についての検討，第122回日本循環器学会九州地方会，2017年06月24日，福岡.
- 藤田香奈恵，樗木晶子，橋口暢子，宮園真美，山崎啓子，吳 茜，姜旻廷，西坂麻里，安藤眞一：睡眠呼吸障害(SDB)の患者における治療アドヒアランスと健康意識の検討，第122回日本循環器学会九州地方会，2017年06月24日，福岡.

- ・ 河合俊輔, 向井 靖, 矢加部大輔, 井上修二郎, 樗木晶子, 筒井 裕之: 心房細動の非肺静脈起源の性質・成因は右房と左房で異なる, 第122回日本循環器学会九州地方会, 2017年06月24日, 福岡.
- ・ 大賀泰寛, 向井 靖, 石北陽仁, 河合俊輔, 井上修二郎, 樗木晶子, 筒井 裕之: 発作性心房細動の起源、再発にPV tachycardiaの関与が強く疑われた一例, 第122回日本循環器学会九州地方会, 2017年06月24日, 福岡.
- ・ 出口裕子, 向井 靖, 林谷俊児, 河合俊輔, 矢加部大輔, 井上修二郎, 樗木晶子, 古財敏之, 目野 宏, 筒井 裕之: 電気生理学的検査中の植込み型ループレコーダー解析が診断の一助となったWide QRS Complex Tachycardia症例, 第122回日本循環器学会九州地方会, 2017年06月24日, 福岡.
- ・ 長岡和宏, 向井 靖, 井上修二郎, 河合俊輔, 矢加部大輔, 弘永 潔, 樗木晶子, 筒井 裕之: 拡大肺静脈隔離術後にgapを利用した肺静脈左房間リエントリー性頻拍で治療を行った一例, 第122回日本循環器学会九州地方会, 2017年06月24日, 福岡.
- ・ 矢加部大輔, 向井 靖, 井上修二郎, 河合俊輔, 長岡和宏, 樗木晶子, 筒井 裕之: AVRT(左側副伝導路)とAVNRTを合併した一例, 第122回日本循環器学会九州地方会, 2017年06月24日, 福岡.
- ・ 山崎啓子, 新原亮史, 宗内淳, 坂本一郎, 山村健一郎, 兒玉祥彦, 石川司朗, 大草知子, 筒井裕之, 樗木晶子: 成人を迎えた先天性心疾患患者への看護, 第122回日本循環器学会九州地方会, 2017年06月24日, 福岡.
- ・ 河合俊輔, 向井 靖, 井上修二郎, 樗木晶子, 牛島 智基, 田ノ上 禎久, 塩瀬 明, 筒井 裕之: 心臓移植後に生じた左房由来の心房頻拍に対しカテーテルアブレーション治療が奏功した1例, カテーテルアブレーション関連大会2017, 2017年07月07日, 北海道.
- ・ 高瀬進, 向井 靖, 安徳喜文, 本田修浩, 井上修二郎, 樗木晶子, 貞松研二, 田代英樹, 筒井 裕之: 心室細動に対してPenta Rayを用いてトリガー心室性期外収縮をMappingしカテーテルアブレーションを施行した症例, カテーテルアブレーション関連大会2017, 2017年07月07日, 北海道.
- ・ 渡邊高德, 向井 靖, 矢加部大輔, 河合俊輔, 井上修二郎, 樗木晶子, 筒井 裕之: 左脚後枝領域Purkinje線維起源の心室細動に対してPCPS下にアブレーションを施行し救命し得た急性心筋梗塞後の1例,

カテーテルアブレーション関連大会 2017, 2017年07月07日, 札幌市.

- 井上修二郎, 向井 靖, 河合俊輔, 矢加部大輔, 樗木晶子, 筒井 裕之: 当院のPeri-Mitral Flutter アブレーション症例の臨床的特徴と治療成績, カテーテルアブレーション関連大会 2017, 2017年07月07日, 札幌市.
- 長岡和宏, 向井 靖, 井上修二郎, 河合俊輔, 矢加部大輔, 樗木晶子, 筒井 裕之: アブレーションによるリズム制御ができれば僧房弁逆流合併心不全も制御可能である, 第27回九州不整脈研究会, 2017年07月15日, .
- 樗木晶子: 九州大学病院きらめきプロジェクトの10年と女性医師の現状, 第35回日本骨代謝学会学術集会, 2017年07月27日, 福岡市.
- 樗木晶子, 清野佳紀, 伊東昌子: 研究者のためのワークライフバランスとダイバーシティ, 第35回日本骨代謝学会学術集会, 2017年07月27日, 福岡市.
- 宮園 真美, 澤渡 浩之, アニタラハマワティ, 橋口暢子, 真茅 みゆき, 大塚祐子, 仲井盛, 櫻田春水, 竹本真生, 向井 靖, 井上 修二郎, 樗木浩明, 姜 旻廷, 藤田香奈恵, 森山宣子, 大穂理, 皇甫智明, 樗木晶子: 植込み型除細動器 (ICD) 植込み患者の低心機能とQOL、心理的傾向との関連, 第74回日本循環器心身医学会学術集会, 2017年11月03日, 大阪.
- 樗木晶子: 超高齢社会での心房細動治療, 心房細動 up-date 安全な血栓・塞栓症の予防を目指して, 2018年01月01日, オークラホテル (福岡市) .
- 姜 旻廷, 宮園 真美, 金岡 麻希, 橋口 暢子, 濱田 正美, 岩谷友子, 新原 亮史, 森山 宣子, 藤田 香奈恵, 樗木 晶子: 大学病院で勤務する女性看護師の健康増進行動, 第11回日本性差医学・医療学会学術集会, 2018年01月01日, パピヨン24 (福岡市) .
- 宮園真美, 橋口暢子, 澤渡浩之, 山崎啓子, 藤田香奈恵, 姜 旻廷, 新原亮史, 森山宣子, Anita Rahmawati, 樗木晶子: 健常高齢男女を対象とした脚部温熱療法に対する整理・心理反応, 第11回日本性差医学・医療学会学術集会, 2018年01月01日, パピヨン24 (福岡市) .

- ・ 森山宣子、大草知子、名尾朋子、澤渡浩之、橋口暢子、宮園真美、アニタラハマワティ、姜 旻廷、藤田香奈恵、西坂麻里、半田早希子、安藤眞一、樗木晶子：ダウン症児における睡眠呼吸障害に関連した症状に性差はあるか？，第11回日本性差医学・医療学会学術集会，2018年01月01日，パピヨン24（福岡市）。
- ・ Anita Rahmawati, 樗木晶子、宮園真美、澤渡浩之、橋口暢子、真茅みゆき、中井盛、櫻田春水、竹本真生、向井靖、井上修二郎、樗木浩朗：Sex differences on psychological disturbances in implantable cardioverter defibrillator patients with underlying heart diseases，第11回日本性差医学・医療学会学術集会，2018年01月01日，パピヨン24（福岡市）。
- ・ 黒田裕美、樗木晶子、澤渡浩之、アニタラハマワティ、橋口暢子、西坂麻里、安藤眞一：ダウン症者の睡眠体位の実態と性差の影響，第11回日本性差医学・医療学会学術集会，2018年01月01日，パピヨン24（福岡市）。
- ・ 藤田香奈恵、樗木晶子、澤渡浩之、橋口暢子、宮園真美、アニタラハマワティ、姜 旻廷、森山宣子、半田早希子、西坂麻里、安藤眞一：睡眠呼吸障害のCPAP治療継続における性差の検討，第11回日本性差医学・医療学会学術集会，2018年01月01日，パピヨン24（福岡市）。
- ・ 澤渡浩之、樗木晶子、Anita Rahmawati, 西坂麻里、橋口暢子、黒田裕美、筒井裕之、安藤眞一：ダウン症患者における睡眠呼吸障害に対する性差の影響，第11回日本性差医学・医療学会学術集会，2018年01月01日，パピヨン24（福岡市）。
- ・ 河合俊輔、向井靖、矢加部大輔、長岡和宏、樗木晶子、筒井裕之：突発性心室細動と虚血性心疾患の鑑別に苦慮した院外心肺停止蘇生後の症例，第10回植込みデバイス関連冬季大会，2018年02月01日，パシフィコ横浜。
- ・ 長岡和広、向井靖、佐田政司、矢加部大輔、河合俊輔、樗木晶子、筒井裕之：当院におけるリードレスペースメーカMicraの初期使用経験，第10回植込みデバイス関連冬季大会，2018年02月01日，パシフィコ横浜。
- ・ Mami Miyazono, Akiko Chishaki, Makoto Oho, Anita Rahmawati, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Hiroyuki Sawatari, Yuko Ohtsuka, Nobuko Hashiguchi, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Mori

Nakai, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Hiroaki Chishaki :
Influence of underlying heart diseases on quality of life and
psychological disturbances in implantable cardioverter
defibrillator patients, 日本循環器学会学術集会 , 2018年03
月01日, 大阪国際会議場.

- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro
Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui. : Does the Induction
Test with Atrial Burst Pacing Have Predictive Value in Long-
Term Recurrence after Ablation in Persistent Atrial
Fibrillation?, 日本循環器学会学術集会, 2018年03月01日,
大阪国際会議場.
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro
Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui : Pathogenesis of
Non-Pulmonary Vein Trigger of Atrial Fibrillation is Different
between the Left and Right Atria, 日本循環器学会学術集会 ,
2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro
Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui : Critical Role of
Conduction Delay in the Pulmonary Vein in the Onset of Atrial
Fibrillation -A Quantitative Analysis, 日本循環器学会学術集
会 , 2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- Masashi Sada, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Shunsuke Kawai,
Daisuke Yakabe, Susumu Takase, Akiko Chishaki, Hiroyuki
Tsutsui. : Routine Use of Transesophageal Echocardiography
before Catheter Ablation of Atrial Fibrillation is not
Necessary, 日本循環器学会学術集会 , 2018年03月01日, 大
阪国際会議場.
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Mitsuhiro Fukase, Masashi
Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Shujiro Inoue, Akiko
Chishaki, Koichi Akashi, Hiroyuki Tsutsui. : Comparison of
Acute and Long-term Outcome among Cryoballoon, Hot Balloon,
and Radiofrequency Catheter Ablation for Paroxysmal Atrial
Fibrillation, 日本循環器学会学術集会 , 2018年03月01日,
大阪国際会議場.

- Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai , Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui. : Restoration of Sinus Rhythm Prior to Procedure Improves Long-term Outcome of Catheter Ablation for Persistent Atrial Fibrillation, 日本循環器学会学術集会 , 2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Shujiro Inoue, Susumu Takase, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui. : Rhythm Control by Catheter Ablation Ameliorates Functional Mitral Regurgitation Associated with Tachycardia-Induced Heart Failure, 日本循環器学会学術集会 , 2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai , Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Hidetaka Kaku, Takeo Fujino, Kisho Ohtani, Taiki Higo, Tomomi Ide, Akiko Chishaki, Yoshihisa Tanoue, Akira Shiose. : Management of Ventricular Arrhythmia in Heart Failure Patients with Implantable Ventricular Assist Devices ., 日本循環器学会学術集会 , 2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- Shunsuke Kawai, Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui : Importance of Pulmonary Vein and Atrial Low Voltage Area in the Generation of Non-PV Triggers of Atrial Fibrillation, 日本循環器学会学術集会 , 2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- Nao Konagai, Chizuko Kamiya, Takeshi Ohgoh, Jun Yoshimatsu, Jun Muneuchi, Keiko Yamasaki, Akiko Chishaki, Ichiro Sakamoto, Hiroyuki Tsutsui, Kenichiro Yamamura. : A Multicenter Cohort Study on Cardiac Complications in Pregnant Woman with Congenital Heart Disease and Utility of ZAHARA Score, 日本循環器学会学術集会 , 2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- 中尾 久子, 酒井 久美子, 福田和美 : 高齢者のアドバンス・ケア・プランニング (ACP) に関する国内文献の検討, 日本老年看護学会学術集会, 2017年06月16日, 名古屋.
- 松田美由紀, 富永美千代, 酒井 久美子, 中尾 久子 : 看護師のワーク・ライフ・バランス研究の現状と課題, 第21回日本看護管理学会学術集会, 2017年08月19日, 横浜.

- 池田 綾乃, 酒井 久美子, 中尾 久子: 看護の質を評価する尺度開発に関連する国内文献の検討, 日本看護研究学会 第22回九州沖縄地方会学術集会, 2017年11月04日, 佐賀大学.
- 中尾久子, 木下由美子, 金岡麻希, 潮みゆき: がん患者の意思決定に関わる看護師の教育の背景と今後の学習ニーズ, 第32回日本がん看護学会学術集会, 2018年02月04日, 幕張メッセ.
- 中尾久子: 患者を擁護する倫理ケア, STROKE2018, 2018年03月04日, 福岡国際会議場・福岡サンパレス・福岡国際センター.
- 松永 由理子, 藤田 君支, 井手 衆哉, 馬渡 正明, 田渕 康子: 人工膝関節全置換術後の患者が捉える生活の変化, 日本老年看護学会第22回学術集会, 2017年06月01日, 名古屋国際会議場.
- 前野 里子, 藤田 君支, 酒井 久美子: 2型糖尿病をもつ高齢女性の身体活動量と身体活動自己管理行動との関連, 日本老年看護学会第22回学術集会, 2017年06月01日, 名古屋国際会議場.
- 田中 るみ, 藤田 君支, 前野 里子: 強度表示型活動量計の携帯による糖尿病患者の身体活動への効果の検討, 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2017年09月01日, 福岡国際会議場.
- 前野 里子, 田中 るみ, 木下 由美子, 藤田 君支: 2型糖尿病患者の日常生活における主観的身体活動量の妥当性-実測調査との比較-, 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2017年09月01日, 福岡国際会議場.
- 上杉裕子, 藤田君支: 人工膝関節・股関節置換術を受ける糖尿病患者の身体状況の実態, 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2017年09月01日, 福岡国際会議場.
- 横堀裕美, 永渕美樹, 井川幸子, 島歌織, 藤井純子, 藤田君支: MCIのある糖尿病患者への看護支援 慢性CNSのインタビュー調査より, 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2017年09月01日, 福岡国際会議場.
- 横堀裕美, 永渕美樹, 井川幸子, 島歌織, 藤井純子, 藤田君支: MCIのある糖尿病患者への看護支援 慢性CNSのインタビュー調査より, 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2017年09月01日, 福岡国際会議場.
- 藤田君支: 研究成果から拓げる糖尿病療養支援, 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2017年09月01日, 福岡国際会議場.

- ・ 前野里子、藤田君支： 糖尿病患者の睡眠と血糖コントロールとの関連についての文献レビュー， 第 22 回九州・沖縄地方学会学術集会， 2017 年 11 月 01 日， 佐賀大学医学部看護学科.
- ・ 権藤多栄、藤田君支： 頭頸部外科悪性腫瘍手術患者の術後肺炎と関連因子， 第 22 回九州・沖縄地方学会学術集会， 2017 年 11 月 01 日， 佐賀大学医学部看護学科.
- ・ 田中さとみ、金岡麻希、藤田君支： 肝移植後患者における身体活動量の実態-IPAC とライフコーダとの比較-， 第 37 回日本看護科学学会学術集会， 2017 年 12 月 01 日， 仙台国際センター.
- ・ 田代恵理，濱田 裕子，北尾 真梨，藤田 紋佳： 新生児医療施設で子どもを亡くした母親の悲嘆に関する体験， 第 27 回日本小児看護学会学術集会， 2017 年 08 月 19 日， 別府国際コンベンションホール
- ・ 泊祐子、竹村淳子、遠渡絹代、市川百香里、部谷知佐恵、岡田摩里、赤羽根章子、濱田裕子、山崎歩： 重度障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト， 第 43 回日本看護研究学会学術集会、2017 年 8 月 29 日 東海市芸術劇場
- ・ 益守かづき，品川陽子，濱田 裕子，石浦光世，三宅玉恵，高谷恭子，中野綾美： 子どもを対象とした看護研究を行う際に看護師が抱く倫理的配慮に関する困難感， 第 27 回日本小児看護学会学術集会， 2017 年 08 月 19 日， 京都国際会館
- ・ 藤田紋佳、濱田裕子： 子どもの看取りにおける看護師の認識～子どもを亡くした家族のグリーフケアプログラム作成の基礎調査～， 第 37 回看護科学学会， 2017 年 12 月 19 日
- ・ 前野 里子，田中 るみ，木下 由美子，藤田 君支： 2 型糖尿病患者の日常生活における主観的身体活動量の妥当性 実測調査との比較， 日本糖尿病教育・看護学会， 2017 年 08 月 01 日， 福岡国際会議場.
- ・ 犬塚 啓二，杉田 司，帯刀 英樹，潮 みゆき： A 病院 ICU における小児の家族ケアについての実態調査—ファミリーセンタードケアの観点から— 第 53 回小児循環器学会学術集会， 2017 年 7 月 8 日， アクトシティ浜松，浜松市
- ・ 北尾真梨、瀬藤乃理子、高田哲： 遺族支援における NICU 看護師の負担感について， ハイリスク児フォローアップ研究会， 2017 年 06 月 01 日， 聖隷浜松病院
- ・ 酒井 久美子，大村由紀美，吉川由香里，平川善大： 400 床以上の病院における Off the Job Training を担う臨床看護職員の現状 -Off

the Job Training 担当者への全国調査より-, 第 21 回看護管理学会
学術集会, 2017 年 08 月 19 日, パシフィコ横浜.

- ・ 大村由紀美, 平川善大, 吉川由香里, 酒井 久美子, 山口千夏: 看護職の Off the Job Training 担当者に求められるコンピテンシーの構成要素 -Off the Job Training 担当者への全国調査から-, 第 21 回看護管理学会学術集会, 2017 年 08 月 19 日, パシフィコ横浜.
- ・ 吉川由香里, 大村由紀美, 酒井 久美子, 平川善大: Off the Job Training を担う臨床看護教育者のコンピテンシーに影響する因子 -Off the Job Training 担当者への全国調査-, 第 21 回看護管理学会学術集会, 2017 年 08 月 19 日, パシフィコ横浜.
- ・ 道面千恵子: 糖尿病患者教育を実践する看護師のビリーフ, 第 22 回日本糖尿病教育看護学会学術集会, 2017 年 09 月 01 日, 福岡.
- ・ 濱田裕子・藤田紋佳: 子どもを亡くした母親のグリーフ体験~社会との関係の中での亡くなった子どもの扱い方~, 日本家族看護学会第 24 回学術集会, 2017 年 09 月 23 日, 東京ベイ幕張ホール
- ・ 藤田紋佳・松浦俊治・濱田裕子・田口智章: 小児生体肝移植ドナー経験後の母親の妊娠・出産の実態, 第 53 回日本移植学会総会, 2017 年 09 月 23 日, 旭川トーヨーホテル
- ・ 前野 里子, 藤田 君支, 酒井 久美子: 2 型糖尿病をもつ高齢女性の身体活動量と身体活動管理行動との関連, 日本老年看護学会, 2017 年 06 月 15 日, 名古屋.
- ・ 前野里子, 藤田君支: 糖尿病患者の睡眠と血糖コントロールとの関連についての文献レビュー, 日本看護研究学会 九州・沖縄地方会, 2017 年 11 月 01 日, 佐賀大学 (佐賀) .
- ・ 前野里子, 田中るみ, 木下由美子, 藤田君支: 2 型糖尿病患者の日常生活における主観的身体活動の妥当性 -実測調査との比較-, 日本糖尿病教育・看護学会, 2017 年 09 月 01 日, 福岡国際会議場 (福岡) .
- ・ 丸山マサ美, バイオエシックス教育・研究の課題と展望-アメリカ国立公文書館史料 “Kyudai Vivisection” 再考, 日本医史学会福岡地方会, 2018 年 02 月 10 日, 福岡ガーデンパレス.
- ・ 山下智美, 橋口暢子, 能登裕子, 大池美也子: 看護専門学校の看護教育における臨床経験の意味, 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 2017 年 12 月 17 日, 仙台国際センター.

f. 学会以外での講演, 発表

- 丸山マサ美, 教育講演 ; 医療倫理学の理論と実践, 田川市立病院, 2017年02月14日. (公開)
- 丸山マサ美, 事例から学ぶ医療倫理学, 早良病院, 2017年12月25日

著作

a. 単行本

- 樗木 晶子 : (共著) SRL 宝函 「事例 PICK UP 微小血管狭心症とは」, 2017年08月, SRL.
- 樗木晶子 : (共著) 心電図 「Keynote lecture」, 2017年05月, 日本不整脈診断学会.
- 笹栗俊之、樗木晶子 : (共著) ベットサイドの薬理学 (笹栗俊之、宮田篤郎編) 「循環器疾患の薬」, 2017年09月, 丸善出版.
- 樗木晶子 : (共著) 医師のためのライフデザインガイド, 2018年02月, 佐賀大学医学部ダイバーシティ-推進委員会.
- 樗木晶子 : (共著) 『月刊 小児歯科臨床』2017年11月特集号 特集内容: 第55回日本小児歯科学会大会 女性歯科医委員会リレー講演より 柔軟なワークライフバランスをめざして-きらめきプロジェクトのめざすところ-, 2017年11月, .
- 濱田 裕子他 : (編著) 「空にかかるはしご~天使になった子どもと生きるグリーフサポートブック~」, 2017年09月, 九州大学出版会
- 丸山マサ美、木村専太郎 : (編集) NOTES ON NURSING BY FLORENCE NIGHTINGALE, First Edition, Masami Maruyama & Sentaro Kimura, MARUZEN, 2017.4 , 2017年04月, 丸善.

b. 総説

- 丸山マサ美 : 全人的医療を考える医療倫理学における感性教育, ヒトの教育第14号 (アガトス通巻43号) pp.128-138, 2017年9月29日

c. 解説, 書評など なし

受賞

- 榑木, 「Editor-in-Chief Journal of Arrhythmia」, Best Reviewers Award, Journal of Arrhythmia, 2017年04月.
- 中尾, 「福岡県内の医療施設及び教育施設等において業務に精励し、県民の医療および教育等の発展に貢献した。」, 平成29年度福岡県医療・介護及び教育等に従事する看護職員に対する知事表彰, 福岡県, 2017年05月.
- 中尾, 「特別研究員等の審査を担当し、公正・公平な審査に貢献した。」, 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)の表彰, 日本学術振興会, 2017年08月.
- 橋口, 榑木「ミストサウナ浴およびミストサウナ併用半身浴時の生体負担と温熱的快適性」 人間-生活環境系学会, 論文賞, 2017年12月.

報道

- 榑木, 京都新聞朝刊, 「一瞬の気づきから始まる健康食生活(市民公開講座)」, 2017年06月.
- 榑木, , 「入浴事故にご用心! 思わぬ溺死に要注意!」, 2017年10月.
- 榑木, 北陸中日新聞, 「九州大学きらめきプロジェクト 10年の歩みとこれから」, 2017年10月.
- 榑木, 漢方医薬学雑誌 Vol.25(2), 「学会長に聞く」, 2017年07月.
- 濱田, 読売新聞, 「子の死、悲しみ癒やす～親の手記冊子に」, 2017年06月.
- 濱田, 朝日新聞、朝日新聞デジタル, 「子と死別、癒やす冊子～悲嘆の家族に『ひとりじゃないよ』九大研究者ら」, 2017年07月.
- 濱田, 西日本新聞, 「空にかかるはしご」天使になった22人の物語、グリーンケア本を出版 九州大准教授「悲しみに寄り添って」, 2017年08月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 榑木, 心疾患診断への応用に向けた生体センサの研究, 富士ゼロックス, 2015年12月～2019年03月, 公開.
- 濱田, 障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト, , 2016年04月～2018年03月

2. 受託研究

- 橋口， 寒冷環境における入浴行為による身体負担と血圧変動及び心理反応
についての研究， 株式会社ノーリツ， 2016年04月～2019年03月， 公開.

3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 加来， マヒドン大学 (Thai) ， チュラロンコン大学 (Thai) ， 大学・研
究所訪問， 2018年02月～2018年02月 (2週間未満)
- 橋口， オウル大学 (Finland) ， その他， 2018年03月～2018年03月
(2週間未満)
- 橋口， 香港大学 (Hong Kong) ， 国際会議， 2017年12月～2017年12月
(2週間未満)
- 藤田 (君) ， オウル大学 (Finland) ， その他， 2018年03月～2018年
03月 (2週間未満)
- 酒井， 潮， 香港大学 (Hong Kong) ， 大学・研究所訪問， 2018年03月
～2018年03月 (2週間未満) ， .
- 山口， 前野 (里) ， 高雄医学大学 (Taiwan) ， 大学・研究所訪問， 2018
年03月～2018年03月 (2週間未満) ， .
- 丸山， 延世大学 (Korea) ， The18th Asia Bioethics Conference
(ABC18), Future of Bioethics & Health Care, 2017年10月25日～2017年
10月27日 (2週間未満) ，

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

2. 留学生の受入れ

姜 旻廷 (Kang Min-jeong)	博士課程
李キンセン	修士課程

3. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 循環器専門医資格認定試験の作問世話人.
- 樗木, 九州大学医学部同窓会理事.
- 樗木, 虚血性疾患用遺伝子治療製剤 DVC1-0101 第 IIb 相試験における効果安全性評価委員.
- 樗木, 基幹教育院倫理委員会委員.
- 中尾, 入試実施委員会委員
- 藤田 (君), 学生支援委員.

2. 部局委員

- 中尾, 九州大学病院看護キャリアセンター. 副センター長
- 中尾, 入試実施委員長
- 中尾, 大学院委員会委員
- 藤田 (君), 保健学科部門学生支援会
- 藤田 (君), 学生委員会委員長
- 藤田 (君), 学生支援会会長
- 藤田 (君), 看護教育研究推進ワーキング委員
- 青本 九州大学病院先進医療適応評価委員会委員
- 橋口, 医療系統合教育研究センター委員.
- 橋口, 模擬患者養成専門部会.
- 木下, 学生委員会委員
- 松尾, 看護教育研究推進ワーキング委員.
- 酒井, 九州大学病院看護キャリアセンター委員.
- 道面, 九州大学病院看護キャリアセンター委員

3. 部門・コース内委員

- 藤田 (君), 副分野長.
- 藤田 (君), 看護学実習委員会委員長
- 橋口, 教務委員.
- 橋口, 地域国際連携 FD 委員会委員
- 橋口, 実習委員会委員
- 橋口, 看護教育運営委員会委員
- 橋口, 将来計画、点検、年報委員

- 橋口, 看護学分野国際 WG 委員
- 濱田 保健学科広報委員会委員
- 青本 実習委員会委員
- 青本 看護教育運営委員会委員
- 能登, 看護学実習委員会委員.
- 松浦, 地域国際連携推進・FD 委員
- 木下 実習委員会委員
- 道面, 施設環境委員
- 道面, 卒業研究委員会委員
- 山口, 看護教育運営委員会委員.
- 藤田 (紋), 九州大学病院 臨地実習指導者会議 構成員
- 藤田 (紋), 実習委員会 委員
- 北尾, 卒業研究委員会委員
- 潮 実習委員会委員
- 酒井 実習委員会委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 樗木, 放送大学, 客員教員.
- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 山口大学医学研究科修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡女学院大学看護学部, 非常勤講師
- 中尾, 福岡県看護協会認定看護師教育センター, 非常勤講師.
- 藤田 (君), 放送大学・福岡学習センター, 集中講義.
- 藤田 (君), フィンランド Oulu 大学との MOU 提携,
- 濱田, 高知県立大学大学院看護学研究科, 集中講義
- 濱田, 久留米大学大学院, 集中講義
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会,
非常勤講師
- 青本, 福岡看護高等専修学校, 非常勤講師
- 木下, 福岡県看護教員養成講習会 研究方法演習, 非常勤講師.
- 木下, 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程 文献検索・文献購読, 非常勤
講師.

- 能登, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 非常勤講師
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院, 非常勤講師.
- 丸山, 純真学園大学保健医療学部, 非常勤講師.

2. 学協会

- 加来, 日本臨床細胞学会, 副理事長, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他 (渉外・広報委員会委員長) , 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会九州連合会, 会長, 国内.
- 加来, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本母性衛生学会, その他 (代議員) , 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員長, 国内.
- 加来, International Journal of Clinical Oncology, 編集委員, 国際.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会 (旧 日本循環器管理研究協議会), 理事, 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, (査読委員) , 国内.
- 樗木, 日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会, 幹事, 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会 (旧 日本循環器管理研究協議会), 理事 (プログラム委員) , 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, (代議員) , 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, 評議員 (役員 (旧評議員)) , 国内.
- 樗木, 日本循環器学会, (社員) , 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, (学会誌選任査読委員) , 国内.
- 樗木, 日本健康支援学会, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本心臓病学会, (総務委員会男女共同参画WG 委員) , 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部 男女共同参画委員会, (委員長) , 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, (学術委員会 検証関連検討委員会 委員長) , 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会 , (認定心電検査技師制度委員会 委員) , 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, (メディカルプロフェッショナル委員会 オブザーバー) , 国内.
- 樗木, 日本循環器学会第122回九州地方会, 会長, 国内.

- 樗木, 日本性差医学・医療学会 第11回日本性差医学・医療学会, 会長, 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 査読委員 (学会誌専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会 (和文), 査読委員 (専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, 編集委員 (編集委員会『心電図』委員), 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会, (代議員), 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 運営委員 (研究開発委員会), 国内.
- 中尾, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護倫理学会, (学術活動推進委員会委員), 国内.
- 中尾, 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本がん看護学会, (代議員), 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 生命倫理 (日本生命倫理学会誌), 編集委員, 国内.
- 中尾, 日本がん看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 藤田 (君), 日本糖尿病教育・看護学会学術集会大会長, 日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 学術団体.
- 藤田 (君), 日本老年看護学会, 評議員, 国内.
- 藤田 (君), 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 藤田 (君), 日本看護研究学会九州沖縄地方会会長, 国内.
- 藤田 (君), 日本看護科学学会, 査読委員 (評議委員), 国内.
- 藤田 (君), 日本看護研究学会, 査読委員 (評議委員), 国内.
- 藤田 (君), 日本老年看護学会, 査読委員 (評議委員), 国内.
- 藤田 (君), Japan Journal of nursing science, 査読委員, 国際.
- 橋口, Journal of Physiological Anthropology, 編集委員, 国際.
- 橋口, 日本循環器看護学会, 査読委員, 国内.
- 濱田, 小児訪問看護における重症児ケアの専門性について、聞き取り調査を行い、診療報酬改定への提言を行う, 看護系学会等社会保険連合 (看保連)・日本看護研究学会渉外 WG, 学術団体.
- 濱田, 日本家族看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 評議員, 国内.

- 濱田， 日本小児看護学会， （倫理委員会委員） ， 国内.
- 濱田， 高知女子大看護学会誌， 査読委員， 国内.
- 濱田， 日本家族看護学会誌， 査読委員， 国内.
- 濱田， 日本小児がん看護学会誌， 査読委員， 国内.
- 濱田， 日本小児看護学会誌， 査読委員， 国内.
- 青本 福岡県精神看護専門看護師活動促進協議会 副代表国内
- 青本 日本CNS学会 査読委員 国内
- 木下， 日本看護科学学会， 評議員（代議員） ， 国内.
- 木下， 日本糖尿病教育・看護学会 編集委員会 専任査読者， 査読委員， 国内.
- 木下， 日本応用心理学研究 査読者， 査読委員， 国内.
- 能登， 日本人間工学会九州・沖縄支部， 理事， 国内.
- 丸山， Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 国際誌編集委員（査読委員） ， 国内.
- 丸山， 日本看護歴史学会（副理事長, 11 期理事）， 研究活動推進委員、渉外委員， 査読委員， 国内.
- 丸山， 日本医学哲学倫理学会. 国内学術交流委員会委員. 国内.
- 丸山， 日本看護研究学会， 査読委員， 国内
- 丸山， 西日本生命倫理研究会 事務局， 国内
- 丸山， バイオエシックス-その継承と発展-， 編集委員長（編著者） ， 国内.
- 藤田（紋） ， 日本小児看護学会誌， 査読委員， 国内.
- 藤田（紋） ， 応用心理学研究， （査読者） ， 国内.
- 前野（里） ， 日本糖尿病教育・看護学会学術集会， （企画委員） ， 国内.
- 山口， 日本救急看護学会， 評議員（査読委員） ， 国内.
- 山口， 日本救急看護学会雑誌， 査読委員， 国内.
- 道面， 日本糖尿病教育・看護学会学術集会， 査読委員， 国内

3. 官界

- 樗木， 科学研究費委員会 挑戦的研究部会症委員会審査委員， 独立行政法人日本学術振興会.
- 中尾， 「福岡県内の保健・医療・福祉施設における身体拘束の廃止状況の調査、広報、研修を通じた身体拘束廃止の取り組み推進」， 福岡県保健医療介護部：福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議.
- 濱田， 科学研究費委員会専門委員， 独立行政法人日本学術振興会.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 能登, 「公益社団法人福岡県看護協会認定看護管理者教育運営委員」
- 山口, 「活動名称: DMAT 技能維持研修 研修題目: 九州・沖縄ブロック技能維持/統括 DMAT 登録者技能維持・ロジスティクス研修」, 主催: 厚生労働省 DMAT 事務局, (技術指導), .
- 山口, 「活動の名称: 福岡県 DMAT 技能維持研修 研修題目: 福岡県 DMAT 技能維持研修」, 主催: 福岡県保健医療介護部医療指導課地域医療係, (技術指導), .
- 丸山, ヒトの教育の会, 常任理事
- 橋口, 福岡県看護協会入試委員
- 樗木, 福岡県男女共同参画審議会委員 会長
- 樗木, 福岡県医師会男女共同参画部会委員会委員
- 樗木, 福岡県医療審議会委員
- 樗木, 福岡県保健福祉審議会、健康医療部会長
- 樗木, 福岡県メディカルセンター学校心臓検診心電図判読委員会委員
- 樗木, 福岡県女性医師キャリア支援形成支援検討委員会委員
- 樗木, 福岡市公務災害補償等認定委員会委員
- 樗木, 福岡市男女共同参画推進センターアドバイザーの会委員
- 樗木, 福岡市男女共同参画推進委員会委員長
- 樗木, 福岡市健康づくりサポートセンター指定管理者選定委員
- 樗木, 福津市男女共同参画審議会
- 樗木, 糸島市保健・医療・健康づくり推進協議会委員
- 樗木, 公益財団法人 木村記念循環器財団第 36 回研究助成選考委員
- 樗木, 福岡歯科大学治験委員
- 樗木, 学校法人福岡学園評議員

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 「一瞬の気づきから始まる健康食生活」, 第 53 回日本循環器病予防学会学術集会 市民公開講座. 京都大学医学部創立百年記念施設 芝蘭会館 山内ホール, 公開講座.
- 樗木, 「医療シンポジウム メディカルセミナー」, 清々会. 福岡市, 公開講座.
- 中尾, 「看護師が直面する看護倫理」, 産業医科大学病院. 北九州市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「臨床倫理について」福岡逋信病院. 福岡市.

- 橋口, 「「寒い季節は要注意！入浴中のヒートショック」」, 九州大学医学部保健学科. 九州大学病院キャンパス 医学部保健学科棟 3階第5番講義室, 公開講座.
- 濱田, 「福岡子どもホスピスプロジェクトの取組み」, 全国子どもホスピスサミット in 横浜, 講演会・公開討論.
- 青本, 「実習指導者研修会」, 九州大学病院. 九州大学病院看護部, セミナー・研修会.
- 松浦, 「短腸症候群の家族会」, 九州大学医学部内, 公開講座
- 松浦, 「胆道閉鎖症・小児肝移植親子の会」, 九州大学医学部内, 公開講座

6. 初等中等教育への貢献

- 丸山, 「平成 29 年度：福岡県立博多青松高等学校, 博多青松グローバル人材育成プログラム D-Labo バイオエシックス」, 主催：福岡県立博多青松高等学校

看護学分野

広域生涯看護

教授	谷口	初美
教授	鳩野	洋子
准教授	川田	紀美子
准教授	寺岡	佐和
准教授	前野	有佳里
講師	野口	ゆかり
助教	木村	一絵
助教	佐藤	洋子
助教	末次	美子
助教	田尻	登志子

1. 教育活動

1. 大学院講義

発達看護学特論Ⅰ（分担）	谷口	前期
地域国際母子保健論Ⅱ（分担）	谷口	前期
地域国際母子保健論Ⅰ（分担）	谷口	前期
助産診断・技術学Ⅱ（分担）	谷口	前期
基礎助産学（分担）	谷口	前期
看護学研究方法論Ⅱ（分担）	谷口	前期
Women's Health（分担）	谷口	前期
発達看護学特論Ⅱ（分担）	谷口	後期
助産診断・技術学Ⅲ（分担）	谷口	後期
助産マネジメント論Ⅱ（分担）	谷口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ	谷口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅰ（分担）	谷口	後期
看護学特別研究	谷口	通年
地域国際母子保健論（分担）	鳩野	前期
看護学研究方法論Ⅱ（分担）	鳩野	前期
看護学特別研究	鳩野	通年
発達看護学特論Ⅰ（分担）	川田	前期
地域国際母子保健論Ⅰ（分担）	川田	前期

助産診断・技術学Ⅰ（分担）	川田	前期
周産期の薬理学（分担）	川田	前期
基礎助産学（分担）	川田	前期
Women's Health 補完代替医療（分担）	川田	前期
Women's Health（分担）	川田	前期
地域国際母子保健論Ⅱ（分担）	川田	後期
助産診断・技術学Ⅲ（分担）	川田	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ	川田	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅰ（分担）	川田	後期
看護学特別研究	川田	通年
ヘルスサイエンス論（分担）	寺岡	前期
助産診断・技術学Ⅰ（分担）	野口	前期
国際社会とチーム医療（分担）	野口	前期
基礎助産学（分担）	野口	前期
リプロサイエンスⅠ（分担）	野口	前期
Women's Health（分担）	野口	前期
助産マネジメント論Ⅱ（分担）	野口	秋学期
助産マネジメント論Ⅰ（分担）	野口	秋学期
リプロサイエンスⅡ（分担）	野口	後期
生命倫理・遺伝カウンセリング論（分担）	野口	冬学期
助産診断・技術学Ⅱ（分担）	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅰ（分担）	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅲ（分担）	佐藤	後期
助産診断・技術学Ⅱ（分担）	末次	前期
助産診断・技術学Ⅰ（分担）	末次	前期
基礎助産学（分担）	末次	前期
助産診断・技術学Ⅲ（分担）	末次	後期

2. 大学院実験・実習

助産学総合実習Ⅱ（分担）	谷口	前期
助産学実習Ⅰ（分担）	谷口	後期
助産学実習Ⅱ（分担）	谷口	後期
助産学総合実習Ⅰ（分担）	谷口	後期
助産学総合実習Ⅰ（分担）	川田	後期
助産学実習Ⅰ（分担）	野口	後期

助産学実習Ⅱ（分担）	野口	後期
助産学総合実習Ⅰ（分担）	野口	後期
助産学総合実習Ⅱ（分担）	野口	前期
助産学総合実習Ⅱ（分担）	佐藤	前期
助産学実習Ⅰ（分担）	佐藤	後期
助産学総合実習Ⅰ（分担）	佐藤	後期
助産学実習Ⅰ（分担）	末次	後期
助産学総合実習Ⅰ（分担）	末次	後期

3. 大学院演習

母子発達ケアシステム論Ⅱ（分担）	谷口	後期
高次助産診断・技術学演習（分担）	谷口	後期
高次助産診断・技術学演習（分担）	川田	後期
高次助産診断・技術学演習（分担）	野口	後期
高次助産診断・技術学演習（分担）	佐藤	後期
高次助産診断・技術学演習（分担）	末次	後期

4. 大学院修士課程修了者

藤井 紗也	少子化時代を生きる大学4年男子学生の将来設計-医療従事者に求められる支援の在り方-
原田 恵理	母親として、看護師としての生き方を問うてきた看護師長の経験の意味
柴田 美里	産後に抑うつを経験し再び妊娠・出産する母親の思い
信國 有紀	中堅助産師の分娩期における判断の過程 —バースレビューを用いた助産師のリフレクションから—
富安 彩香	職場復帰予定の初産婦の思いと行動
豊増 理伽	第一子妊娠末期の妻・パートナーを持つ男性における、理想の父親像と妊婦に対する夫の役割行動実践との関連
原山 和子	助産師が10代の妊産褥婦を支援する時のアンビバレントな感情と影響要因

5. 大学院博士課程修了者

岩木 美保	Construction of a Positive Perception Model of Amytotorophic Lateral Schlerosis Caregiver
緒方 文子	Expression and fluctuation in fatigue over five consecutive night shifts
山本 洋美	Development of a Nursing Practice Rating Scale for

Hospitalized Pregnant Women with Threatened
Preterm Labor

6. 学部講義

国際保健と医療（分担）	谷口	後期
助産管理Ⅱ（分担）	谷口	秋学期
看護研究入門（分担）	鳩野	前期
公衆衛生看護支援論Ⅰ（分担）	鳩野	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	鳩野	前期
公衆衛生看護展開論Ⅰ	鳩野	前期
公衆衛生看護展開論Ⅱ（分担）	鳩野	前期
疫学（分担）	鳩野	後期
公衆衛生看護学概論（分担）	鳩野	後期
公衆衛生看護管理論（分担）	鳩野	後期
国際保健学（分担）	鳩野	後期
母性看護学概論（分担）	川田	春学期
母性看護学各論Ⅱ（分担）	川田	春学期
国際保健と医療（分担）	川田	後期
地域母子保健	川田	秋学期
母性看護学各論Ⅰ（分担）	川田	冬学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	寺岡	前期
公衆衛生看護学概論（分担）	寺岡	後期
公衆衛生看護管理論（分担）	寺岡	後期
在宅看護概論	寺岡	秋学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ（分担）	前野(有)	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	前野(有)	前期
公衆衛生看護支援論Ⅰ（分担）	前野(有)	春学期
保健医療福祉行政論Ⅱ（分担）	前野(有)	春学期
保健医療福祉行政論Ⅰ（分担）	前野(有)	秋学期
母性看護学概論（分担）	野口	春学期
助産管理Ⅱ（分担）	野口	秋学期
地域母子保健（分担）	野口	秋学期
母性看護学各論Ⅰ（分担）	野口	冬学期
公衆衛生看護支援論Ⅰ（分担）	木村	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	木村	前期
疫学（分担）	木村	後期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ（分担）	田尻	前期

公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	田尻	前期
公衆衛生看護支援論Ⅰ（分担）	田尻	春学期
保健医療福祉行政論Ⅱ（分担）	田尻	春学期
公衆衛生看護学概論（分担）	田尻	後期
保健統計学	田尻	冬学期

7. 学部の実験・実習・演習

母性看護学各論Ⅱ（分担）	谷口	前期
助産学実習Ⅰ（分担）	谷口	前期
助産学実習Ⅱ（分担）	谷口	前期
総合実習（分担）	谷口	前期
母性看護学実習（分担）	谷口	後期
卒業研究（分担）	谷口	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ（分担）	鳩野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ（分担）	鳩野	前期
卒業研究（分担）	鳩野	通年
母性看護学各論Ⅱ（分担）	川田	前期
助産学実習Ⅰ（分担）	川田	前期
母性看護学実習（分担）	川田	後期
卒業研究（分担）	川田	通年
在宅看護論各論（分担）	寺岡	前期
総合実習（分担）	寺岡	前期
在宅看護論実習（分担）	寺岡	通年
卒業研究（分担）	寺岡	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ（分担）	前野(有)	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ（分担）	前野(有)	前期
総合実習（分担）	前野(有)	前期
卒業研究（分担）	前野(有)	通年
母性看護学各論Ⅱ（分担）	野口	前期
助産学実習Ⅰ（分担）	野口	前期
母性看護学実習（分担）	野口	後期
卒業研究（分担）	野口	通年
在宅看護論各論（分担）	木村	前期
総合実習（分担）	木村	前期
在宅看護論実習（分担）	木村	通年

卒業研究（分担）	木村	通年
母性看護学各論Ⅱ（分担）	佐藤	前期
助産学実習Ⅰ（分担）	佐藤	前期
助産学実習Ⅱ（分担）	佐藤	前期
総合実習（分担）	佐藤	前期
母性看護学実習（分担）	佐藤	後期
卒業研究（分担）	佐藤	通年
母性看護学各論Ⅱ（分担）	末次	前期
助産学実習Ⅰ（分担）	末次	前期
助産学実習Ⅱ（分担）	末次	前期
総合実習（分担）	末次	前期
母性看護学実習（分担）	末次	後期
卒業研究（分担）	末次	通年
在宅看護論各論（分担）	田尻	前期
公衆衛生看護学実習Ⅰ（分担）	田尻	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ（分担）	田尻	前期
卒業研究（分担）	田尻	通年

8. 卒業論文作成者

柏木 若菜	大学生の性感染症における知識と予防行動に関する文献検討
山本 華子	介護老人保健施設で働く看護職が認識する自身の役割に関する文献検討
張 ハナ	女性障害者の出産と助産ケア—Pregnancy and disability: RCN guide for midwives and nurses を中心に—
池江 茜	夫立ち合い分娩に臨む夫婦への支援
石井 友貴	母親の児童虐待に影響する要因の分析
岡田 萌花	成人の食行動に影響する要因の検討
清田 小春	震災時における保健師の連携に関する文献検討—育児中の母親とその子どもに焦点を当てて—
黒木 楓	高年初産婦の特徴及び育児における体験・思いを踏まえた育児支援の検討
小松原 ちさと	乳幼児期の母子の Skin-to-skin contact が愛着形成過程に及ぼす影響
肴場 葵	高齢者の健康づくり活動への参加要因の検討
柴田 香菜絵	認知症家族介護者に対する介入とその効果に関する文献検討
田中 晶子	大学生の睡眠状況と精神的健康の関連に関する文献検討
徳原 千恵	国際比較から見る日本人男性のパタニティブルーの特徴
庭月野 礼奈	1型糖尿病合併妊婦の周産期における体験と心理
古舘 尚子	急性期病院における認知症患者のケアを行う看護師の困難からみた対応力向上のための研修内容の検討
松尾 笑子	妊娠期の母親役割に関する文献検討
松尾 和奏	精神疾患を有する母親とその家族を対象としたプログラムに関する文献検討
松永 由樹	母性看護学実習における男子看護学生の思いと必要な支援
松本 奈々	児童虐待のリスク要因と虐待的行為に関する母親の現状
溝口 愛実	一般病棟に入院する認知症高齢者をケアする看護師が感じる困難に関する文献検討
森永 万夢花	妊娠期から産褥期における母親役割獲得過程の関連因子と促進するための看護介入
山中 ちさと	性教育のライフサイクルを重点とした保健指導の実際
渡辺 穂乃香	不妊治療を行う女性に対するメディカルアロマセラピーの効果の検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | |
|----|---|----|
| 1 | Transition の概念を用いた女性と家族の各ライフステージに影響を及ぼす性と生殖に関する問題に関する研究 | 谷口 |
| 2 | 母親・父親になる過程に関する研究 | 谷口 |
| 3 | 地域国際母子保健に関する研究 | 谷口 |
| 4 | シミュレーション学習に関する研究 | 谷口 |
| 5 | モンゴルの妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ | 谷口 |
| 6 | 中堅保健師のワークエンゲイジメントの影響要因とその強化方策に関する研究 | 鳩野 |
| 7 | 健康行動と母子関係に関する研究 | 川田 |
| 8 | 出産後の母子の QOL 向上を目的とする妊娠期ケア研究 | 川田 |
| 9 | 環境汚染と母子の健康に関する研究 | 川田 |
| 10 | 母性意識に関する研究 | 川田 |
| 11 | 認知症高齢者の QOL に関する研究 | 寺岡 |
| 12 | 市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発 | 前野 |
| 13 | 生涯にわたる母児の健やかな成長・発達のための健康支援・助産師の健康教育に関する研究 | 野口 |
| 14 | 思春期における健康支援・健康教育に関する研究 | 野口 |
| 15 | 妊娠・分娩・産褥期の母児の健康支援・健康教育に関する研究 | 野口 |
| 16 | 光環境の母児に与える影響に関する研究 | 野口 |
| 17 | 地域保健分野における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討ーランダム化比較試験ー | 木村 |
| 18 | 妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに対する自己効力感 | 佐藤 |
| 19 | 周産期のメンタルヘルスと乳幼児の精神発達に関する研究 | 末次 |
| 20 | 舌や口唇へ刺激する方法（熊本メソッド）指導後の児の変化について | 田尻 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

谷口 初美

- 「基盤研究(C)」 看護シミュレーション教育の充実を目指したファシリテータ育成プログラム構築, 谷口 (分担)
- 「基盤研究(C)」 日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 谷口 (代表)

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」 高齢者世代が参画する地域のつながりを重視した効果的な子育て支援プログラムの開発, 鳩野 (分担)

- 「基盤研究(B)」 睡眠を核とする生活習慣病の予防と改善に向けたヘルスプロモーションの為の基盤構築, 鳩野 (分担)
- 「基盤研究(C)」 地区組織のコミュニティ・エンパワメントモデルの適用とハンドブックの作成, 鳩野 (分担)
- 「基盤研究(C)」 中堅保健師のワークエンゲイジメントの影響要因と強化方策に関する研究, 鳩野 (代表)
- 「基盤研究(C)」 中高年ジェネラリストナースの役割遂行尺度の開発, 鳩野 (分担)
- 「基盤研究(C)」 市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発, 鳩野 (分担)

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」 在宅で暮らす認知症高齢者の生活能力活性化に向けた園芸療法の開発に関する研究, 寺岡 (代表)
- 「基盤研究(C)」 人間関係形成の視座から開発する住民主体の子育て支援プログラムに関する研究, 寺岡 (分担)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」 市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発, 前野 (代表)

木村 一絵

- 「若手研究(B)」 幼児の問題行動が減少することを旨とした地域における子育てプログラムの効果の検証, 木村 (代表)
- 「基盤研究(C)」 地域保健における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討, 木村 (代表)

末次 美子

- 「挑戦的萌芽研究」 低出生体重児と母親の母子相互作用促進プログラムの開発, 末次 (代表)
- 「基盤研究(C)」 ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ, 末次 (代表)

田尻 登志子

- 「基盤研究(C)」 口腔機能に障害を持つ児への舌刺激訓練効果の検討, 田尻 (代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「Super Global University 創生支援助成金」 留学生獲得とプロモーション,
谷口 (代表)

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Ayako Ogata, Yoko Hatono : Expression and Fluctuation in Fatigue Over Five Consecutive Night Shifts , *Japanese Journal of Occupational Medicine and Traumatology*, 65, 4, 90 - 99, 2017年04月. (査読あり)
- Yoshiko Kubo, Yoko Hatono, Tomohide Kubo, Satoko Shimamoto, Junko Nakatani : Relationship between Career Anchors and Demographic Characteristics among Occupational Health Nurses in Japan, *International Journal of Occupational Health and Public Health Nursing*, 4, 2, 27 - 44, 2017年05月. (査読あり)
- Sawa Teraoka, Michiko Konishi : Effects of different horticultural activities on the mental stress of older people with dementia in Japan, *Journal of Gerontological Nursing and Caring Research*, 8, 2, 34 - 43, 2018年03月. (査読あり)
- 福丸 由佳、伊東 ゆたか、木村 一絵、加茂 登志子 : 里親向け研修における CARE プログラムの効果の検討-里子と里親の関係作りに向けたペアレントプログラムの実践-, 白梅学園大学・短期大学紀要, 54, 55 - 68, 2018年03月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hatsumi Taniguchi, Yoshiko Suetsugu, Yoko Sato, Yuki Nakamichi, Ayano Waragai, Davaasuren Serdamba, Kiyoko Okamoto : First Nationwide Survey Regarding Obesity during Pregnancy from the

- Perspective of Mongolian New Mothers, 7th Hong Kong International Nursing Forum, 2017年12月01日, Hong Kong .
- Keiko Yamasaki, Akiko Chishaki, Ryoji Shinbara, Rieko Izukura, Kanae Fujita, Kang Mj, Nobuko Moriyama, Nobuko Hashiguchi, Hatsumi Taniguchi, Tomoko Ohkusa : Perinatal Management of Pregnant Women with Congenital Heart Diseases Based on the Classification of Primary Cyanotic and Acyanotic congenital Heart Diseases, 7th Hong Kong International Nursing Forum, 2017年12月01日, Hong Kong .
 - Hatsumi Taniguchi, Davaasuren Serdamba, Kimiko Kawata, Yukari Noguchi, Kiyoko Okamoto, Yoshiko Suetsugu, Yuki Nakamichi, Kumiko Adachi : Impact of Global Standards beyond expectations forces changes in legal framework in Mongolia, The 31st ICM Congress, 2017年06月20日, Canada —
 - Hatsumi Taniguchi, Davaasuren Serdamba, Yukari Noguchi, Kimiko Kawata, Kiyoko Okamoto, Yoshiko Suetsugu, Yuki Nakamichi, Kumiko Adachi : Impact of the ICM Global Standards for Midwifery Education more than expectation in Mongolia, The 31st ICM Congress, 2017年06月20日, Canada —
 - Yukari Noguchi, Hatsumi Taniguchi, Davaasuren Serdamba, Kimiko Kawata, Kiyoko Okamoto, Yoshiko Suetsugu, Yuki Nakamichi, Kumiko Adachi, Mongolian Midwives and Ob/Gyns: Meeting ICM Global Standards of Midwifery Essential Competency, and ready to revise the legal framework., The 31st ICM Congress, 2017年06月20日, Canada
 - Yoshiko Suetsugu, Yumiko Kihara, Hatsumi Taniguchi : The prevalence and sustaining factors of birth trauma among Japanese mothers, The 31st ICM Congress, 2017年06月21日, Canada.
 - Ayano Waragai, Hatsumi Taniguchi : Long-term hospitalization for expectant mothers in high-risk pregnancies: who will counsel the expectant father?, The 31st ICM Congress, 2017年06月19日, Canada.
 - Toshiyuki Ojima, Kayoko Ozeki, Yoko Hatono, Miki Shimada, Eiji Yuba, Kazushige Masuda : Preparedness of resources for disasters among municipalities in Japan, MMIRA Asia Regional 2017 / 3rd JSMMR Conference , 2017年08月06日, Japan.
 - Kimiko Nakayama, Yoko Hatono, Masako Kaneko, Emiko Kusano : Challenges and solution for public health nurses in promoting

empowerment among community organization activities in Japan: Findings from a focus group interview, 5th Annual Worldwide Nursing Conference., 2017年07月24日, Singapore.

- Kimiko Nakayama, Yoko Hatono, Masako Kaneko, Emiko Kusano. : Confidence of Public Health Nurses in Japanese Municipalities concerning Community Organization Activities, 7th Hong Kong International Forum, 2017年12月18日, Hong Kong .
- Kimiko Kawata: “Keep Palm Upward” is a Tip on Correct Axillary Temperature Measurement Methods., TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, 2017年10月20日, Thailand.
- Kazuko Harayama, Kimiko Kawata: Association among the characteristics, support, and problems of midwives engaged in perinatal care for teenagers. TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, 2017年10月21日, Thailand.
- Hana Jang, Kimiko Kawata. : Perinatal care for Women with Disabilities: A Comparison of midwifery services in Japan and the UK., 21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conferences, 2018年01月12日, Korea.
- Sawa Teraoka, Michiko Konishi, Mitsu Ono : Effects of horticultural activities on daily living conditions of elderly with dementia ; For practical care of supporting at-home living in a small scale multifunctional care facility in Japan, 32nd International Conference of Alzheimer’s Disease International, 2017年04月27日, Japan.
- Hitoe Kimura, Yukako Shigematsu, Toshiko Kamo, Yuka Fukumaru, Ikuko Kato, Etsuko Kamura, Hidemi Chiba, Eriko Uchida, Yukiko Yamashita, Akihiko Nishioka : Contents of child’s problem behavior reduced by CARE program and follow-up program in a local community health; a prospective intervention trial, 21st EAFONS, 2018年01月11日, Korea.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

○ 国内学会での講演, 発表

- 仲道由紀、佐藤洋子、末次美子、藁谷文乃、野口ゆかり、川田紀美子、安達久美子、岡本喜代子、谷口初美： モンゴルの母親に対する妊婦肥満の第1回全国意識調査， 日本助産学会， 2018年03月01日， 横浜.
- 佐藤洋子、末次美子、仲道由紀、藁谷文乃、野口ゆかり、川田紀美子、安達久美子、岡本喜代子、谷口初美： モンゴルの助産師に対する妊婦肥満の第1回全国意識調査， 日本助産学会， 2018年03月01日， 横浜.
- 井上彩香、谷口初美， 榎木晶子、 他7： 成人先天性心疾患患者の結婚・妊娠・出産に対する認識調査を基にした支援のあり方， 第53回 日本小児循環器学会， 2017年07月07日， 浜松.
- 吉本祐子、谷口初美， 榎木晶子、 他7： 先天性心疾患女性患者の妊娠・出産経験に関する質的研究， 第53回 日本小児循環器学会， 2017年07月07日， 浜松.
- 田尻 登志子， 鳩野洋子： 舌や口唇へ刺激する方法（熊本メソッド）指導後の児の変化について， 日本地域看護学会第20回学術集会， 2017年08月05日， 別府.
- 前野 有佳里， 鳩野洋子： 対応困難事例への介入教育プログラムの検討， 日本地域看護学会第20回学術集会， 2017年08月05日， 別府.
- 鳩野洋子， 島田美喜： 市町村保健センターにおける住民に生じたアクシデント・インシデントの内容， 日本地域看護学会第20回学術集会， 2017年08月06日， 別府.
- 鳩野洋子， 島田美喜， 弓場英嗣， 尾島俊之， 増田和茂： 市町村における大規模事前災害に対する保健活動の現状(第2報)， 第76回日本公衆衛生学会， 2017年10月31日， 鹿児島.
- 島田美喜， 鳩野洋子， 弓場英嗣， 尾島俊之， 増田和茂： 市町村における大規模事前災害に対する保健活動の現状(第1報)， 第76回日本公衆衛生学会総会， 2017年10月31日， 鹿児島.
- 尾島俊之， 岡田栄作， 柴田陽介， 中村美詠子， 鳩野洋子， 島田美喜， 弓場英嗣， 増田和茂， 齋藤政茂， 相田潤， 近藤尚己， 近藤克則： 全国の市町村における健康格差対策等の変化， 第76回日本公衆衛生学会， 2017年11月01日， 鹿児島.
- 早田美穂子， 田原由起子， 上田里美， 浦部富士子， 内藤美智子， 鳩野洋子： 久留米市における若年妊婦の虐待予防に向けた支援のあり方の検討， 第76回日本公衆衛生学会， 2017年11月01日， 鹿児島.
- 中山貴美子， 鳩野洋子， 金子仁子， 草野恵美子： 市町村保健師による地域組織活動の経験， 第76回日本公衆衛生学会， 2017年10月31日， 鹿児島.

- 中山貴美子、鳩野洋子、金子仁子、草野恵美子：市町村保健師の地域組織活動に対するやりがい感および苦手意識と自治体の種類との関連，第6回日本公衆衛生看護学会学術集会，2018年01月01日，大阪.
- 緒方文子、鳩野洋子：5日間連続夜勤を行う交代制勤務者の勤務初日の疲労の比較，第6回日本公衆衛生看護学会学術集会，2018年01月01日，大阪.
- 川田紀美子，竹内明香：出生前診断後に出産を選んだ女性の思い. 第9回異分野融合テキストマイニング研究会，2017年06月24日，福岡.
- 原山和子，川田紀美子.：【優秀演題】10代妊産褥婦に対する助産師の感情評価と属性との関連，第36回日本思春期学会学術集会，2017年08月26日，宮崎.
- 原山和子，川田紀美子.：10代女性の妊娠・出産・育児に対する助産師の意識，第58回日本母性衛生学会学術集会，2017年10月6日，兵庫.
- 井上さくら，川田紀美子，竹内明香.：高齢初妊婦の思い—手記を用いた計量テキスト分析からの検討—，第37回日本看護科学学会学術集会，2017年12月17日，宮城.
- 溝口巴奈、川田紀美子、谷口初美、永橋美幸：男子大学生の避妊行動の主体者についての認識と妊娠に対するリスクとの関連，第32回日本助産学会学術集会，2018年03月03日，横浜.
- 竹内明香、川田紀美子：羊水検査受検前後の妊婦の思いと支援の検討，第32回日本助産学会学術集会，2018年03月04日，横浜.
- 寺岡 佐和，小西 美智子，小野 ミツ：認知症高齢者の園芸経験の有無別にみた精神的ストレスの軽減に効果的な園芸活動の検討，日本地域看護学会 第20回学術集会，2017年08月06日，別府.
- 木村 一絵、重松 由佳子、加茂 登志子、福丸 由佳、加藤 郁子、賀村 悦子、千葉 秀美、内田 絵利子、山下 由紀子、西岡 昭彦：幼児の母親に対する CARE プログラム実施における育児に関する認知と態度の変化，PCIT-Japan CARE-Japan 合同研究会，2017年11月25日，東京.
- 木村 一絵、重松 由佳子：地域保健における CARE プログラムとフォローアッププログラム参加による軽減した育児ストレス内容，日本看護科学学会，2017年12月16日，仙台.
- 立石礼望、木村一絵：看護師が薬剤に関する問題を解決するための行動と問題を解決するために必要とする学習に関する文献検討，日本看護科学学会，2017年12月17日，仙台.

e. 学会以外での講演, 発表

- 谷口初美 : How do you use the pamphlet & App in your hospital or clinic? 2017年08月18日, in Ulan Bator, Mongolia
- 谷口初美 : 日本助産師会とモンゴル助産師会との Twinning Project の取り組み、2018年1月11日、関西 JICA 関西国際センター.
- 谷口初美 : 助産師の Global Standard、2018年1月12日、関西 JICA 関西国際センター.
- 川田紀美子 : Maternal and child health care and new born nursing in Japan, 2017年07月05日, Kunming Medical University, Yunnan, P.R. China.
- 川田紀美子 : Mother-child relationship is important to obtain appropriate health behaviours for children, Lecture for Master' s Program, 2017年11月01日, Kaohsiung University, Taiwan.
- 川田紀美子 : What is a tip for measuring accurate axillary temperature? , Lecture for Undergraduate' s Program, 2017年11月02日, Kaohsiung University, Taiwan.
- 川田紀美子 : Potential increased synchrony in axillary temperature measurements in the mother-child relationship. , Lecture for Doctor' s Program, 2017年11月03日, Kaohsiung University, Taiwan.
- 野口ゆかり : Health instruction for prevention of obesity during pregnancy by Midwife, Lecture for Midwives, 2017年08月18日, in Ulan Bator, Mongolia.
- 佐藤洋子 : Report of the first national survey from midwives, 2017年08月18日, in Ulan Bator, Mongolia

著作

a. 単行本

- 谷口 初美—他 : (共著 翻訳) 公益社団法人日本助産師会 創立 90 周年記念誌、"Midwives of the World-the Way Forward: Expectations for Japanese Midwives" (世界の助産師の目指すべき道 : 日本の助産師に期待すること) , 2017年10月, 公益社団法人日本助産師会.
- 谷口 初美 : (共著) 2018年度版 看護師国家試験問題集, 2017年04月, 医学書院.
- 谷口 初美 : (共著) 妊婦肥満予防のスマホアプリ開発 (モンゴル語) 、2017年4月

- 谷口 初美：（監修）未来へのプロセス，2018年1月，福岡市こども未来局こども部総務企画課.
- 川田 紀美子：（共著）母子の健康と社会問題. III-2 生活環境と母子の健康. 入山茂美、春名めぐみ、大林陽子： 現代の母性看護 概論， 2018年03月，名古屋大学出版.
- 前野 有佳里，寺岡 佐和：（共著） 2018年度版 保健師国家試験問題集， 2017年04月， 医学書院.
- 末次 美子：（共著 翻訳）：アントニア・ビフィルコ，ジェラルディン・トーマス（著），吉田 敬子，林 もも子，池田 真理（監訳）：アタッチメント・スタイル面接の理論と実践 家族の見立て・ケア・介入，2017年7月，金剛出版

b. 総説

- 谷口初美，岡本喜代子：『2017、ICM 評議会（Council Meeting）、トロント，カナダに出席して』， 助産師 ， 2017年11月
- 富山裕子，鳩野 洋子，赤星琴美，酒井康江，中村京子： 震災に備えた教育機関の危機管理と保健師教育の質保証について， 保健師教育 2017；1(1):33-37， 2017年04月
- 鳩野 洋子： 保健師活動における倫理的視点とその課題， 保健師ジャーナル， 2017年08月

c. 解説，書評など なし

受賞

- 鳩野， 「「保健活動の成果をみせる行動実践尺度の開発」， 平成28年度奨励論文賞， 日本看護研究学会， 2017年08月.

報道

- 木村， 西日本新聞， 中日新聞， 「子どもとの絆を強める心理プログラム「CARE」 1日5分からの幸せ 遊びの主役に 問題行動減る」 ， 2017年10月・12月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 谷口, 31th ICM Triennial Congress (Canada), 国際会議, 2017年06月～2017年06月 (2週間未満)
- 谷口, ICM Twinning Project-モンゴル助産師会 (Mongolia), 2017年08月～2017年08月 (2週間未満)
- ⊖ 谷口, ICM (Netherlands), 国際会議, 2017年09月～2017年10月 (2週間未満)
- ⊖ 谷口, 7th Hong Kong International Nursing Forum (Hong Kong), 国際会議, 2017年12月～2017年12月 (2週間未満)
- ⊖ 谷口, ICM Twinning Project-モンゴル助産師会 (Mongolia), 2018年03月～2018年03月 (2週間未満)
- ⊖ 鳩野, オウル大学 (Finland), , 2018年03月～2018年03月 (2週間未満)
- ⊖ 川田, Kunming Medical University (China), 大学・研究所訪問, 2017年07月2日～2017年07月7日 (2週間未満)
- 川田 TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, 2017年10月20日～10月22日, Thailand.
- ⊖ 川田, Kaohsiung Medical University (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2017年11月1日～2017年11月3日 (2週間未満)
- ⊖ 野口, 31th ICM Triennial Congress (Canada), Metro Toronto Convention Centre (Canada), 国際会議, 2017年06月～2017年06月 (2週間未満)
- ⊖ 野口, ICM Twinning Project-モンゴル助産師会 (Mongolia), 2017年08月～2017年08月 (2週間未満)
- ⊖ 木村, Lotte Hotel World (Korea), 国際会議, 2018年01月～2018年01月 (2週間未満)
- ⊖ 佐藤, ICM Twinning Project-モンゴル助産師会 (Mongolia), 2017年08月～2017年08月 (2週間未満)
- ⊖ 佐藤, 31th ICM Triennial Congress (Canada), Metro Toronto Convention Centre (Canada), 国際会議, 2017年06月～2017年06月 (2週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員
- b. 訪問研究者

Yang Ping, 訪問研究員, Kaohsiung Medical University, Taiwan.

留学生の受入れ なし
学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 鳩野, 研究活動基礎支援専門委員会委員
- 寺岡, 入学者選抜研究委員会委員

2. 部局委員

- 谷口, 倫理審査委員
- 谷口, 環境発達医学研究センター運営委員会委員
- 谷口, 病院地区国際化委員

3. 部門・コース内委員

- 谷口, 地域国際連携推進・FD 委員会委員長
- 谷口, 国際ワーキング委員長
- 谷口, 地域国際連携推進委員会 委員長
- 谷口, FD 実行委員会 委員長
- 谷口, 実習委員会委員
- 鳩野, 副部門長
- 鳩野, 看護学分野長
- 鳩野, 将来計画、点検評価・年報委員会委員
- 鳩野, 人事委員会・教員活動評価委員会委員
- 鳩野, 学生支援委員会委員
- 鳩野, 財務委員会委員
- 鳩野, 入学試験実施委員会委員
- 鳩野, 保健学部門学生支援会運営委員
- 鳩野, 看護学専攻卒業研究委員会オブザーバー
- 鳩野, 実習委員会オブザーバー
- 鳩野, 看護キャリアセンター会議委員
- 川田, 大学院リクルートワーキング委員
- 川田, 地域国際連携推進・FD 委員
- 川田, 国際ワーキング委員
- 野口, 看護学分野図書委員

- 野口, KITE 連絡委員
- 野口, 看護学分野福岡県看護協会施設代表委員
- 野口, 保健学の明日を考える会看護学分野委員
- 寺岡, 将来計画、点検・評価委員会委員
- 寺岡, 年報委員会委員
- 寺岡, 看護学専攻卒業研究委員会委員長
- 寺岡, 実習委員会委員
- 前野, 教務委員
- 前野, 実習委員会委員
- 前野, 大学院リクルートワーキング委員
- 木村, 地域国際連携推進・FD委員
- 木村, 広報委員
- 木村, 看護学分野国際ワーキング委員
- 佐藤, 実習委員会委員
- 佐藤, 卒業研究委員会
- 佐藤, 看護教育研究推進ワーキンググループ協力委員
- 佐藤, 看護学専攻会計
- 佐藤, 看護教育運営会議委員
- 末次, 看護教育研究推進ワーキンググループ協力委員
- 田尻, 大学院院生係
- 田尻, 看護教育研究推進ワーキンググループ協力委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 谷口, 京都大学大学院人間健康科学系専攻看護科学コース
- 谷口, 久留米大学医学部看護学科
- 谷口, 関西看護大学
- 川田, 女性の健康. 福岡女子短期大学講座. 2017年5月8日
- 寺岡, 放送大学(卒業研究担当). 2017年4月1日~2018年2月28日
- 末次, 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野, 客員研究員

2. 学協会

- 谷口, 日本助産師会 国際ワーキング委員長、国内
- 谷口, 福岡母性衛生学会 理事、国内
- 谷口, 公益社団法人全国助産師教育協議会、将来構想委員会委員、国内
- 谷口, 日本看護科学学会, 和文誌専任査読委員, 国内

- 谷口, 日本母性衛生学会, 代議員, 国内
- 谷口, 機関誌「母性衛生」査読者, 日本母性衛生学会, 国内
- 谷口, 日本助産学会, 代議員, 国内
- 谷口, 九州大学助産師同窓会, 理事
- 谷口, ICM, 理事 (西太平洋部門 理事), 国際
- 谷口, ICM, Research Standing Committee
- 谷口, AAPINA (Asian American Pacific Islander Nurses Association), 編集委員, 国際
- 鳩野, 日本地域看護学会, 表彰論文選考委員会 委員, 国内
- 鳩野, 日本看護科学学会, 代議員・査読委員, 国内
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 理事, 国内
- 鳩野, 日本地域看護学会, 査読委員, 国内
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 研修委員会委員長, 国内
- 鳩野, 日本地域看護学会, 編集委員, 国内
- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内
- 鳩野, 日本看護科学学会, 査読委員, 国内
- 鳩野, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内
- 鳩野, 福岡県看護協会教育委員会, 委員, 国内
- 川田, 日本母性衛生学会, 査読委員, 国内
- 川田, 九州大学助産師同窓会, 庶務, 国内
- 川田, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内
- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 九州・沖縄1地域部会 運営委員, 国内
- 寺岡, 日本認知症ケア学会, 認知症ケア専門士認定試験論述・面接審査員, 国内
- 前野, 社会福祉法人 福岡あけぼの会, 評議員・第三者委員, 国内
- 前野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内
- 野口, 九州大学助産師同窓会, —(庶務・百周年記念誌編集委員, 国内
- 野口, 福岡県看護協会, 施設代表委員, 国内
- 野口, 日本助産学会誌, 査読委員, 国内

3. 官界

- 谷口, 「福岡市総合計画審議会委員」, 福岡市総合計画審議会
- 谷口, 「福岡市こども・子育て審議会委員」, 福岡市こども・子育て審議会
- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市
- 鳩野, 「福岡県地域保健従事者研修企画・運営委員会委員長」, 福岡県
- 鳩野, 「保健師教育モデルコアカリキュラム検討委員会委員」, 一般社団法人全国保健師教育機関協議会

- 鳩野, 大学設置・学校法人審議会 大学設置分科会 保健衛生学B専門委員会委員, 文部科学省

4. 産業界・地域社会・の委員会役職

- 谷口, 「ICM(国際助産師連盟)理事 (West Pacific 担当)」, 2017年6月
- 谷口, NGO 日本・ベトナム パートナーシップ 理事

5. 公開講座・公開講演会

- 谷口, 野口, 佐藤, 他, 「ICM Twinning Project Workshop & Seminar-モンゴルの妊婦肥満予防への取り組み」開催、2017年08月18日, in Ulan Bator, Mongolia
- 鳩野, 「保健師研修・中堅前期保健師研修」, 福岡市, セミナー・研修会
- 鳩野, 「平成29年度市町村保健師管理者能力育成研修」, 厚生労働省. 熊本, セミナー・研修会
- 前野, 「事例検討研修会」, 久留米市, セミナー・研修会
- 木村, 「平成29年度 すこやかエンゼルサポート事業研修会 ①」, 大野城市こども健康課母子保健担当. 大野城市役所, セミナー・研修会
- 木村, 「平成29年度 すこやかエンゼルサポート事業研修会 ②」, 大野城市こども健康課. 大野城市役所, セミナー・研修会

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

基礎放射線科学

教授	大喜	雅文
教授	有村	秀孝
准教授	高橋	昭彦
准教授	納富	昭弘

1. 教育活動

1. 大学院講義

基礎量子力学	大喜	後期
医用画像情報科学論	大喜	前期
保健・医療とIT	大喜	前期
医学物理情報理論	有村	前期
量子線治療科学論	有村	後期
基礎電磁波論	高橋	前期
医用線量計測学	納富	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

医用画像情報科学演習 (分担)	大喜	通年
量子線理工科学 I (分担)	大喜	通年
量子線治療科学演習 (分担)	納富	前期

4. 大学院修士課程修了者

安田 健一郎	畳み込みニューラルネットワークを用いた転移学習によるマンモグラムの鑑別診断 Transfer Learning for Mammogram Classification Using Pre-trained Convolutional Neural Network
津留弘樹	画質評価のためのCDファントム像の自動解析 Automated Analysis of Contrast-Detail Phantom Image for Image Quality Assessment

笹原 基希	前立腺癌画像誘導放射線治療におけるターゲット領域抽出法の開発 Target segmentation approach in image-guided radiotherapy for prostate cancer
浅村 峻介	前立腺癌のための高精度放射線治療計画に関する研究 Study on high-precision radiation treatment planning for prostate cancer
平川 和弥	脳 3D-MRA 画像における無症候性未破裂脳動脈瘤検出のコンピュータ支援診断の枠組み CAD Framework for the Identification of Asymptomatic Unruptured Intracranial Aneurysms at 3D-MRA Images
柿野諒	CsI シンチレータの自己放射化を用いた放射線治療中の中性子線量評価法の開発 Development of neutron dose evaluation method during radiation therapy by using the self-activation of a CsI scintillator
徳永将瑛	CCD カメラと CsI 板の自己放射化を用いた中性子分布の定量的イメージング手法の開発 Development of a quantitative imaging method for neutron distribution measurement by the self-activation of CsI plates using a CCD camera

5. 大学院博士課程修了者

河田 康雄	体幹部定位放射線治療における肉眼的腫瘍体積の自動抽出法に対する機械学習の効果 Impact of Pixel-based Machine-Learning Techniques on Automated Frameworks for Delineation of Gross Tumor Volume Regions for Stereotactic Body Radiation Therapy
Soufi Mazen (From Syria) (その他)	Feasibility of differential geometry-based features in detection of anatomical feature points on patient surfaces in range image-guided radiation therapy

6. 学部講義

放射線物理学	大喜	前期
物理数学 II	大喜	前期
放射線診断機器学 (分担)	大喜	後期
医用画像情報学 (分担)	大喜	後期
基礎医療統計	大喜	後期
放射線技術科学入門 I (分担)	大喜	前期

放射線技術科学入門Ⅱ（分担	大喜	後期
卒業研究（放射）	大喜	通年
放射線治療技術学Ⅰ	有村	前期
MR画像技術学	有村	前期
放射線治療・核医学機器学	有村	前期
医用画像情報学	有村	後期
放射線診断機器学	有村	後期
コンピュータープログラミング入門	有村	後期
物理数学Ⅰ	有村	前期
放射線技術科学入門Ⅰ（分担）	有村	前期
放射線技術科学入門Ⅱ（分担）	有村	後期
卒業研究（放射）	有村	通年
放射線診断機器学（分担）	高橋	後期
医用電子工学	高橋	後期
量子線理工科学Ⅰ	高橋	前期
放射線治療・核医学機器学	高橋	前期
基礎電磁波論	高橋	前期
放射線技術科学入門Ⅰ（分担）	高橋	前期
放射線技術科学入門Ⅱ（分担）	高橋	後期
卒業研究（放射）	高橋	通年
放射線計測学	納富	前期
原子核物理学	納富	後期
放射線治療計測学	納富	後期
放射線治療・核医学機器学（分担）	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習（分担）	納富	前期
放射線治療技術学実習（分担）	納富	後期
放射線医学技術学概論（分担）	納富	前期
放射線技術科学入門Ⅰ（分担）	納富	前期
放射線技術科学入門Ⅱ（分担）	納富	後期
卒業研究（放射）	納富	通年

7. 学部の実験・実習・演習

医用画像情報学実習	有村	前期
放射線機器学実験	有村	前期
医用電気電子工学実験	高橋	後期
医用量子線理工学演習	高橋	前期
放射線機器学実験	高橋	前期

放射線計測学実験 (分担)	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	納富	前期
放射線治療技術学実習 (分担)	納富	後期

8. 卒業論文作成者

高島彩	シェーグレン症候群の超音波画像診断における CNN の応用
久本茜	診療放射線技師の業務拡大に対応した自主学習 Web サイトの構築
齊藤裕也	転移学習を用いたマンモグラムの画像診断支援
大倉野 裕士	モンテカルロ法を用いた様々な拡散環境と拡散強調画像信号との関係性
中野 里彩	深層学習を用いた肺癌の肉眼的腫瘍体積領域の自動抽出
山田 真大	肺癌患者の予後と主成分分析に基づいたレディオミクス特徴量の関係
上野 響生	Ra-223 の SPECT 画像のモンテカルロシミュレーション
井上 雄貴	Channelized Hotelling Observer 法を用いた SPECT 画像の病変検出能の評価
牧 優花	Ga-68 のポジトロンレンジの PET 画像への影響に関する研究
安藤大将	ホウ素中性子捕捉療法における z1D (single-event dose mean specific energy) の評価手法の検討
高野誠人	ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) 用中性子エネルギースペクトロメータに用いる 中性子フィルタ材の検討
松本正郷	CsI 板と CCD カメラを用いた簡易中性子分布測定手法の検討

9. 研究生

Nunung Nuraeni

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | ・医療応用の為の放射線計測技術ならびに線量評価技術の基礎的研究 ・新しい中性子線量評価技術の開発 ・医療用高感度中性子検出技術の開発研究 | 納富 |
| 2 | 硼素中性子捕捉療法 (BNCT) の物理工学的研究 | 納富 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 視覚探索システムを用いた看護観察行動の定量的分析, 大喜 (分担), 4,810 千円.
- 「特別研究員奨励費」 「多値画像関数に基づく生物学的原体放射線治療最適計画システムの提案」 (日本学術振興会特別研究員 DC2 Mazen Soufi), 有村 (代表), 0 千円.
- 「特別研究員奨励費」 「ピクセル型放射線検出器を用いた動的適応小線源治療システムの開発」 (日本学術振興会特別研究員 DC1 Tran Thi Thao Nguyen), 有村 (代表), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」 放射線治療で発生する中性子被ばく評価の為の簡便で高精度な分布測定システムの開発, 納富 (代表), 1400 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「数理・データサイエンスに関する教育・研究支援プログラム」 レディオミクスデータサイエンスに基づくがん至適治療法決定支援システム, 有村 (代表), 0 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「宇都宮大学 CO₂ レーザー生成プラズマによる高輝度 EUV 光源の開発」 高橋, 0 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Shimokawa M, Kogawa T, Shimoda T, Saito T, Kumagai H, Ohki M, Kaku T : Overall survival and post-progression survival are potent endpoint in phase III trials of second/third-line chemotherapy for advanced or recurrent epithelial ovarian cancer, *European Journal of Gynaecological Oncology*, 9, 5, 872 - 879, 2018 年 02 月.
- Yusuke Shibayama, Hidetaka Arimura, Taka-aki Hirose, Takahiro Nakamoto, Tomonari Sasaki, Saiji Ohga, Norimasa Matsushita,

Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda :
Investigation of interfractional shape variations based on
statistical point distribution model for prostate cancer
radiation therapy, *Medical Physics, Volume 44, Issue 5, Pages
1837-1845, DOI:10.1002/mp.12217, First published: 20 April
2017, 2017年05月.*

- Noriyuki Kadoya, Kumiko Karasawa, Iori Sumida, Hidetaka Arimura, Yasumasa Kakinohana, Shigeto Kabuki, Hajime Monzen, Teiji Nishio, Hiroki Shirato, Syogo Yamada : Educational outcomes of a medical physicist program over the past 10 years in Japan, *Journal of Radiation Research 1-6. DOI: <https://doi.org/10.1093/jrr/rrx016> , 2017年04月.*
- Yasuo Kawata, Hidetaka Arimura, Koujiro Ikushima, Ze Jin, Kento Morita, Chiaki Tokunaga, Hidetake Yabu-uchi, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda, Masayuki Sasaki : Impact of Pixel-based Machine-Learning Techniques on Automated Frameworks for Delineation of Gross Tumor Volume Regions for Stereotactic Body Radiation Therapy, *Physica Medica: European Journal of Medical Physics Volume 42, October 2017, Pages 141-149, 2017年10月.*
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Takahiro Nakamoto, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Exploration of temporal stability and prognostic power of radiomic features based on electronic portal imaging device images, *Physica Medica: European Journal of Medical Physics 2018, (to be published), 2018年03月.*
- Mohammad Haekal, Hidetaka Arimura, Taka-aki Hirose, Yusuke Shibayama, Saiji Ohga, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Computational analysis of interfractional anisotropic shape variations of the rectum in prostate cancer radiation therapy, *Physica Medica: European Journal of Medical Physics 2018, (to be published),*
- Akihiko Takahashi, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Yasuo Yamashita, Masayuki Sasaki : Comparison of TOF-PET and Bremsstrahlung SPECT Images of Yttrium-90: A Monte Carlo

Simulation Study, *Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine and Biology*, 6, 1, 24 - 31, 2018年01月.

- Soichiro Honda, Akihiro Nohtomi, Keita Machidori, Genichiro Wakabayashi : Shape distortion of ^{128}I β^- spectrum observed by a self-activated CsI(Tl) scintillator for high-sensitivity neutron measurements, *Nuclear Instruments and Method in Physics Research A*, 2017年04月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hiroki Tsuru, Makoto Moriyama, Kenichiro Yasuda, Masafumi Ohki : Automated analysis of contrast-detail phantom image in mammography, American Association of Physicists in Medicine the 59th Annual meeting (AAPM2017 in Denver), 2017年07月31日, USA.
- Kenichiro Yasuda, Hiroki Tsuru, Masafumi Ohki : Transfer Learning for Mammogram Classification Using Pre-Trained Convolutional Neural Network, American Association of Physicists in Medicine the 59th Annual meeting (AAPM2017 in Denver), 2017年07月31日, USA.
- H. Kitamori, I. Sumida, T. Tsujimoto, H. Shimamoto, S. Murakami, M. Ohki : Eligibility of mouthpiece for radiotherapy using 3D printer - Use of PolyJet photopolymer (Objet MED610) - , American Association of Physicists in Medicine the 59th Annual meeting (AAPM2017 in Denver), 2017年07月31日, USA.
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Saiji Ohga, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : What is the most optimal mother wavelet in radiomic analysis for the survival prediction of lung cancer patients? (Oral), 59th Annual Meeting of American Association of Physicists in Medicine (AAPM2017, Denver), 2017年07月30日, United States of America.
- Mohammad Haekal, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : An investigation of interfractional rectum shape variations based on a statistical shape analysis for prostate cancer radiotherapy (Poster),

59th Annual Meeting of American Association of Physicists in Medicine (AAPM2017, Denver), 2017年07月30日, United States of America.

- Ryousuke Asamura, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Saiji Ohga, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Computational Analysis for Dose Distributions of Cold Spots in Intensity Modulated Radiotherapy for Prostate Cancer (Poster), 59th Annual Meeting of American Association of Physicists in Medicine (AAPM2017, Denver), 2017年07月30日, United States of America.
- Shu Haseai, Hidetaka Arimura, Misato Imai, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hiroshi Honda, Saiji Ohga, Tomonari Sasaki : Computer-assisted treatment planning approach using similar cases for lung stereotactic body radiation therapy(Poster), 59th Annual Meeting of American Association of Physicists in Medicine (AAPM2017, Denver) , 2017年07月30日, United States of America.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Hiroyuki Arakawa, Noboru Kameda : Investigation of the appropriate dose index for evaluation of patient organ doses in cone-beam computed tomography scanning by using a Monte Carlo simulation (Poster), 59th Annual Meeting of American Association of Physicists in Medicine (AAPM2017, Denver), 2017年07月30日, United States of America.
- Yusuke Shibayama, Hidetaka Arimura, Taka-aki Hirose, Tomonari Sasaki, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda : Quantification of interfractional CTV shape variations based on statistical point distribution model for prostate cancer radiation therapy(Oral) (Japan Journal of Medical Physics, Vol. 37, Sup. 3, p. 81, 2017), The 8th Japan- Korea Meeting on Medical Physics (Osaka, Sep.15-16, 2017), 2017年09月16日, Japan.
- Yudai Kai, Hidetaka Arimura, Tetsuo Saito, Masato Maruyama, Yuji Nakaguchi, Yoshinobu Shimohigashi, Akiko Kuraoka : Analysis of the relationships between target translation

errors and their circumstances including normal organs for prostate radiotherapy (Poster) (Japan Journal of Medical Physics, Vol. 37, Sup. 3, p. 114, 2017), The 8th Japan- Korea Meeting on Medical Physics (Osaka, Sep.15-16, 2017), 2017年09月16日, Japan.

- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Motoki Sasahara, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Bayesian delineation framework of clinical target volumes for prostate cancer radiotherapy using an anatomical-features-based machine learning technique (Poster, Feb.14), SPIE medical imaging (Houston, USA, Feb.10-15, 2018), 2018年02月16日, United States of America.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi : Survival prediction of squamous cell head and neck cancer patients based on radiomic features selected from lung cancer patients using artificial neural network (Poster, Feb.14), SPIE medical imaging (Houston, USA, Feb.10-15, 2018), 2018年02月16日, United States of America
- Ryota Ohima, Akihiko Takahashi, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Masayuki Sasaki : Impact of Collimator on 223Ra Imaging: a Monte-Carlo Study, The SNMMI (Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging) 2017 Annual Meeting , 2017年06月12日, United States of America.
- R. Kakino, A. Nohtomi, G. Wakabayashi, J. Fukunaga, Y. Umezu, Y. Nakamura, S. Ohga : Simplification of Neutron-Monitoring System by Using Cs-134m Conversion Electrons in a Self-Activated CsI Scintillator, IEEE 2017 NSS/MIC/RTSD, 2017年10月22-27日, United States of America.
- M. Tokunaga, A. Nohtomi, J. Fukunaga, Y. Nakamura, Y. Umezu, S. Ohga, G. Wakabayashi, Y. Koba, K. Shinsho : An image analysis for neutron distribution measurement by CsI plates with CCD camera using a decaying self-activation imaging technique, IEEE 2017 NSS/MIC/RTSD, 2017年10月22-27日, United States of America.

- R. Kurihara, A. Nohtomi, G. Wakabayashi, Y. Sakurai, H. Tanaka : A design study of a handy neutron energy spectrometer for BNCT daily QA procedure, IEEE 2017 NSS/MIC/RTSD, 2017年10月22-27日, United States of America.
 - Akihiro Nohtomi : A method of high-sensitive neutron detection by using a self-activated scintillator, International Workshop on Individual Radiation Monitoring 13, 2017年12月01日, Japan.
 - Akihiro Nohtomi, Masaaki Tokunaga, Genichiro Wakabayashi, Kiyomitsu Shinsho : Neutron distribution measurement by the self-activation of a CsI plate with CCD camera using a decaying self-activation imaging technique, ISRD 2018: International Symposium on Radiation Detectors and Their Uses, 2018年01月25日, Japan.
- c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- d. 調査研究報告 なし
- e. 国内学会での講演, 発表
- Hiroki Tsuru, Ryotaro Jingu, Ayaka Tokiyoshi, Yasunari Kamisaka, Masafumi Ohki : Automated Analysis Program Based on the CD Phantom Image for Image Quality, 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017年04月17日,
 - 久本茜, 西原和香, 津留弘樹, 大喜雅文 : 診療放射線技師の業務拡大に対応した自主学習 Web サイトの構築, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年12月31日, 鹿児島.
 - 高島 彩, 齋藤 裕也, 安田 健一郎, 角 美佐, 中村 卓, 大喜雅文 : シェーグレン症候群の超音波画像診断におけるCNNの応用, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年12月31日, 鹿児島.
 - 齋藤 裕也, 高島 彩, 安田 健一郎, 大喜雅文 : 転移学習を用いたマンモグラムの画像診断支援, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年12月31日, 鹿児島.
 - Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Saiji Ohga, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Takahiro Nakamoto, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Investigation of the correlation in radiomics features between EPID and digitally reconstructed radiography images (Oral), The 113th Annual Scientific Meeting of the

Japan Society of Medical Physics JSMP2017 (Yokohama), 2017年04月13日, Pacifico Yokohama.

- Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Yoshifumi Oku, Takahiro Iwasaki, Takashi Yoshiura : Monte Carlo simulations Analysis of Dosimetric Impacts of Titanium Applicator and Tissue Inhomogeneity for Cervical Intracavitary Brachytherapy (Oral), The 113th Annual Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics JSMP2017 (Yokohama), 2017年04月16日, Pacifico Yokohama.
- Mohammad Haekal, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Taka-aki Hirose, Takahiro Nakamoto, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Computational analysis of rectum translation variability in prostate cancer radiotherapy (Oral), The 113th Annual Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics JSMP2017, 2017年04月15日, Pacifico Yokohama.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Saiji Ohga, Tomonari Sasaki : Impact of shape variations on PTV margins in IMRT for prostate cancer (Oral), The 113th Annual Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics JSMP2017, 2017年04月13日, Pacifico Yokohama.
- Shu Haseai, Hidetaka Arimura, Misato Imai, Saiji Ohga, Yoshiyuki Shioyama, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Computer-assisted treatment planning approach with genetic algorithm-based optimization using similar cases for lung stereotactic body radiation therapy (Oral), The 113th Annual Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics JSMP2017, 2017年04月14日, Pacifico Yokohama.
- Ryousuke Asamura, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Ze Jin, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda : Quantitative analysis for coldspots in dose distributions of IMRT for prostate cancer (Oral), The 113th Annual Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics JSMP2017 (Yokohama), 2017年04月13日, Pacifico Yokohama.

- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Motoki Sasahara, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Automated contouring framework based on Bayesian inference for prostate cancer radiation therapy (Oral), The 113th Annual Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics JSMP2017, 2017年04月14日, Pacifico Yokohama.
- Hidetaka Arimura : From Image-Based Computational Radiotherapy to Radiomics 画像ベース計算機支援放射線治療からレディオミクスへ (Oral), 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017年04月14日, Pacifico Yokohama
- Hidetaka Arimura : レディオミクスベース放射線治療(オーガナイズドセッション・Oral), 第36回日本医用画像工学会大会 (JAMIT2017), 2017年07月28日, じゅうろくプラザ (岐阜) .
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Saiji Ohga, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki : Correlation in radiomic features between EPID and digitally reconstructed radiography images (Oral), 第36回日本医用画像工学会大会 JAMIT2017 (岐阜), 2017年07月27日, じゅうろくプラザ (岐阜県) .
- 二宮健太, 有村 秀孝, 笹原基希, 廣瀬貴章, 大賀 才路, 梅津芳幸, 本田 浩, 佐々木智成 : 前立腺癌放射線治療における臨床標的体積の自動抽出法 (口頭), 第36回日本医用画像工学会大会 JAMIT2017 (岐阜), 2017年07月29日, じゅうろくプラザ (岐阜) .
- Hidetaka Arimura : Physics-based Radiotherapy to Radiomics-based Radiotherapy (Plenary Speaker), 2nd International Conference on Biomedical Signal and Image Processing (ICBIP 2017) , 2017年08月23日, Kyushu Institute of Technology, Graduate School of Engineering.)
- 中野 里彩, 有村 秀孝, 浅村 峻介, 大賀 才路, 本田 浩, 佐々木 智成 : 肺定位放射線治療における fully convolutional networks-Alexnet を用いた肉眼的腫瘍体積の自動抽出法の開発 (口頭), 第12回九州放射線医療技術学術大会 (鹿児島), 2017年11月19日, 鹿児島県文化センター (鹿児島) .
- 大倉野 裕士, 有村 秀孝, 西懸 大介, 熊澤 誠志 : モンテカルロシミュレーションを用いた様々な拡散環境と拡散強調画像との関係性

(口頭), 第12回九州放射線医療技術学会(鹿児島), 2017年11月18日, 鹿児島県文化センター(鹿児島).

- 山田 真大, 有村 秀孝, Mazen Soufi: 主成分分析に基づいたレディオオミクス特徴量による肺癌患者予後推定法の開発(口頭), 第12回九州放射線医療技術学会(鹿児島), 2017年11月18日, 鹿児島県文化センター(鹿児島).
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Saiji Ohga, Tomonari Sasaki: 前立腺癌 IMRT における PTV マージンに対する CTV 形状変動の影響(Oral), 第30回日本放射線腫瘍学会学術大会(大阪, 11月17~19日, 2017), 2017年11月19日, グランフロント大阪.
- Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Ryosuke Asamura, Mazen Soufi, Saiji Ohga, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki: Dosimetric analysis of cold spots in intensity-modulated radiation therapy for the treatment of prostate cancer (Oral), 医用画像情報学会(MII)平成29年度春季(第180回)大会(岐阜), 2018年01月16日, 岐阜市文化センター.
- 笹原基希, 有村秀孝, 廣瀬貴章, 二宮健太, 柴山祐亮, 大賀才路, 福永淳一, 梅津芳幸, 本田浩, 佐々木智成: 前立腺癌放射線治療における腫瘍ベース患者セットアップ法の検討(Oral), 医用画像情報学会(MII)平成29年度春季(第180回)大会(岐阜), 2018年01月16日, 岐阜市文化センター.
- 有村 秀孝, Mazen Soufi: Perspectives of High Precision Radiotherapy with Radiomics (特別企画 Advanced lecture 未来予想図 III: AI シテル、レディオオミクス), 日本放射線腫瘍学会 第31回高精度放射線外部照射部会学術大会(大阪), 2018年02月18日, 大阪府立国際会議場.
- 舟田圭汰, 高橋 昭彦, 氷室和彦, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いたドパミントランスポータ SPECT 画像の最適コリメータ条件の検討, 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017年04月13日, パシフィコ横浜会議センター.
- 大島 良太, 高橋 昭彦, 大島 慎也, 氷室 和彦, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: α 線内用療法での ^{223}Ra の画像化におけるコリメータ依存性のモンテカルロシミュレーション, 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 2017年04月13日, パシフィコ横浜会議センター.

- 高橋 昭彦： MCEP コードを用いた PET/SPECT 画像のシミュレーション-RI 内用療法核種を中心に-, 第 37 回日本核医学技術学界総会学術大会, 2017 年 10 月 06 日, パシフィコ横浜会議センター.
- 高橋 昭彦, 大島 良太, 馬場 眞吾, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: Ra-223 SPECT 画像のモンテカルロシミュレーション, 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017 年 10 月 20 日, 広島国際会議場.
- 大島 良太, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: CHO 法を用いた ^{223}Ra 画像の病変検出能についての検討, 第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2017 年 10 月 20 日, 広島国際会議場.
- 関川 祐矢, 高橋 昭彦, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いた肝内腫瘍に対する ^{177}Lu の分子イメージング, 第 37 回日本核医学技術学界総会学術大会, 2017 年 10 月 06 日, パシフィコ横浜会議センター.
- 井上 雄貴, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: Channelized Hotelling Observer 法を用いた SPECT 画像の病変検出能の評価, 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2017 年 11 月 18 日, 宝山ホール (鹿児島県民文化センター) .
- 上野 響生, 高橋 昭彦, 大島 良太, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: Ra-223 の SPECT 画像化の検討, 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2017 年 11 月 19 日, 宝山ホール (鹿児島県民文化センター) .
- 牧 優花, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: Ga-68 のポジトロンレンジの PET 画像への影響に関する研究, 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2017 年 11 月 18 日, 宝山ホール (鹿児島県民文化センター) .
- 舟田 圭汰, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いたドパミントランスポータ SPECT 画像におけるコリメータ開口補正組み込み再構成法の検討, 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2017 年 11 月 19 日, 宝山ホール (鹿児島県民文化センター) .
- Ryo Kakino, Akihiro Nohtomi, Gen-ichiro Wakabayashi, Jun-ichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, #Saiji Ohga: A comparison of generating properties of ^{128}I and $^{134\text{m}}\text{Cs}$ in a self-activated CsI scintillator for different energy neutron field, 第 113 回日本医学物理学学会学術大会, 2017 年 04 月 01 日, パシフィコ横浜.

- Masaaki Tokunaga, Akihiro Nohtomi, Jun-ichi Fukunaga, Yasuhiko Nakamura, Yoshiyuki Umezu, Saiji Ohga, Genichiro Wakabayashi, Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho : Fundamental study of a simple neutron-distribution measurement method by the self-activation of CsI plates using a CCD camera, 第113回日本医学物理学学会学術大会, 2017年04月01日, パシフィコ横浜.
- Ryosuke Kurihara, Akihiro Nohtomi, Ryoko Matsuo, Genichiro Wakabayashi, Yoshinori Sakurai, Hiroki Tanaka : A design study of a handy neutron spectrometer for BNCT QA procedures, 第113回日本医学物理学学会学術大会, 2017年04月01日, パシフィコ横浜.
- 栗原凌佑、納富昭弘、若林源一郎、櫻井良憲、田中浩基 : 加速器BNCTの日々のQAのための中性子エネルギースペクトル評価装置の開発, 第14回日本中性子捕捉療法学会学術大会, 2017年09月01日, 福島県・郡山.
- 安藤大将 : ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)における single-event dose mean specific energy の評価手法の検討, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年11月01日, 鹿児島県・鹿児島市.
- 高野誠人 : ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)用中性子エネルギースペクトロメータに用いる中性子フィルタ材の検討, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年11月01日, 鹿児島県・鹿児島市.
- 松本正郷 : CsI板とCCDカメラを用いた簡易中性子分布測定手法の検討, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年11月01日, 鹿児島県・鹿児島市.
- 納富昭弘 : シンチレータの自己放射化を用いた中性子測定, SMART2017, 2017年11月12日、山形県・蔵王.

f. 学会以外での講演, 発表

- 納富 昭弘 : 放射線基礎物理, 医学物理ミニマム講習会, 2017年06月03日, 東京都 秋葉原ダイビル.
- 納富昭弘: 中性子線の物理及び計測・中性子捕捉療法に関する計測, JSMP サマーセミナー2017, 2017年9月3日, 新潟・ニューグリーピア津南
- 納富昭弘: BNCTを理解するための基礎物理, BNCT講習会2018年2月5日, 大阪医科大学

著作

a. 単行本

- 有村秀孝（分担執筆）：（共著） 画像・情報処理（編著：尾川浩一）
第3章 画像工学 1～8 節, pp.124-220, 2018年02月, 国際文献社.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- 矢能稔啓, 有村 秀孝, 医学物理学会用語委員：医学物理用語集
2016, , 2017年09月,
- Hidetaka Arimura, Mazen Soufi：A Review on Radiomics for
Personalized Medicine in Cancer Treatment, 「MEDICAL IMAGING
TECHNOLOGY」第36巻第2号, 2017年12月, .
- 有村秀孝, 二宮健太, 亀澤秀美：放射線技術学領域における人工知
能技術の活用（過去, 現在, 未来）, 九州支部会誌・日本放射線技
術学会, 13-16, 2018年02月,

受賞

- 有村, 「Quantitative analysis for coldspots in dose distributions of IMRT for prostate cancer」, 第113回日本医学物理学会学術大会英語プレゼンテーション賞（浅村 峻介, 有村秀孝, 他）"Quantitative analysis for coldspots in dose distributions of IMRT for prostate cancer", 第113回日本医学物理学会学術大会（横浜）, 2017年04月.
- 有村, 「"A framework for estimating four-dimensional dose distributions during stereotactic body radiation therapy based on a 2D/3D registration technique with an adaptive transformation parameter approach"」, 平成29年度内田論文賞（Nakamoto T, Arimura H. et al.）"A framework for estimating four-dimensional dose distributions during stereotactic body radiation therapy based on a 2D/3D registration technique with an adaptive transformation parameter approach", 医用画像情報学会（MII）平成29年度年次（第178回）大会（大阪）, 2017.6.3, 2017年06月.
- 納富, 「A comparison of generating properties of I-128 and Cs-134m in a self-activated CsI scintillator for different energy neutron

fields (共同受賞)」、第113回 日本医学物理学会学術大会 Cypos
大会長賞、日本医学物理学会、2017年04月。

- 納富、「CsI シンチレータの自己放射化を用いた熱中性子束測定(共同受賞)」、第65回応用物理学会春季学術講演会・放射線分科会学生ポスター賞(共同受賞)、応用物理学会・放射線分科会、2018年03月。

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋、CO₂ レーザー生成プラズマによる高輝度 EUV 光源の開発、宇都宮大学、2014年04月～2018年03月、

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村、AAPM2017 at Colorado Convention Center, Denver, July30-Aug. 3, 2017 (United States of America)、国際会議、2017年07月～2017年08月 (2週間未満)、
- 有村、SPIE Medical Imaging at Marriott Marquis Houston, Houston, 10 - 15 February 2018 (United States of America)、国際会議、2018年02月～2018年02月 (2週間未満)
- 有村、Institute of Technology Bandung, Diponegoro University, Satya Wacana Christian University (Indonesia)、大学・研究所訪問、2018年02月～2018年03月 (2週間未満)、
- 納富、2017 IEEE NSS/MIC (Atlanta) (United States of America)、国際会議、2017年10月～2017年10月 (2週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者

2017.10～2017.10, 2週間未満, Dr. Yeong Chai Hong from University of Malaya (October 4-6, 2017), Malaysia

3. 留学生の受入れ

Ma Zhuangfei (from China)	修士課程	
Tran Thi Thao Nguyen (From Vietnam)	博士課程	
Haekal Mohammad (From Indonesia. International Student of MEXT Scholarship)	博士課程	
Soufi Mazen (From Syria)	博士課程	
MD. ALAMGIR Hossain (International Student of MEXT Scholarship)	博士課程	
Adita sutresno (from Bandung Institute of Technology in Indonesia) (18 January ~Apr. 11, 2017)	研究生	留学生
Nunung Nuraeni	研究生	留学生

4. 学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者.
- 高橋, 情報統括本部全学情報環境利用委員会.

2. 部局委員

- 大喜, 大学院医学研究院保健学部門長.
- 大喜, 大学院医学系学府保健学専攻長.
- 大喜, 医学部保健学科長.
- 高橋, ICT活用教育推進専門部会.

3. 部門・コース内委員

- 有村, 地域連携国際およびFD委員.
- 有村, 教務委員(副委員長).
- 納富, 施設環境委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師.
- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師.
- 大喜, 福岡医健専門学校.
- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師.
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授.
- 納富, 福岡大学・医学部, 非常勤講師.
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 非常勤講師.

2. 学協会

- 有村, 電子情報通信学会(IEICE), その他 (医用画像研究会(MI) 専門委員), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事, 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), 理事, 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), その他 (用語委員, 教育委員), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), その他 (編集委員長), 国内.
- 有村, 医学物理士認定機構(JBMP), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会 MII 編集委員長, 編集委員, 国内.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, その他 (BNCT 人材育成委員会委員), 国内.
- 納富, BNCT 推進協議会, その他 (人材育成 WG), 国内.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 納富, Proceedings of the Japan Academy, Series B, 査読委員, 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.
- 納富, 日本医学物理学会誌「医学物理」, 編集委員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「平成 29 年度第 1 回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 平成 30(2018)年 3 月 10 日 横浜労災病院 渡邊 浩先生, 筑波大学 熊田 博明先生, 帝京大学 古徳 純一 先生の 3 名の講師を迎え、九大保健学部門において開催」, , 2017-01-01 .

- 有村, 「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン支援のもと, 先端医用量子線技術科学コースの英語ベースのホームページを開設 (2018年3月). 国際的に医用量子線技術科学コースの広報活動を行い, 国内外に向け広く情報を発信する.」, , 2017-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 有村, 「第134回 広島県放射線治療技術研究会 特別講演「研究の進め方」」, 広島県放射線治療技術研究会. 広島大学病院 広仁会館 (2017年6月17日), セミナー・研修会.
- 有村, 「第14回化学放射線治療科学研究会 「Radiomicsの紹介と最近の動向」 (招待講演)」, 東京大学医学部附属病院 放射線科放射線治療部. 東京大学医学部附属病院 (2017年6月7日), セミナー・研修会.
- 納富, 「「放射線安全のための大学間連携放射線計測専門家・教育者育成プログラム」」, 原子力規制庁人材育成事業. 九州大学・馬出キャンパス・アイソトープセンター, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

医用放射線科学

教授	佐々木 雅之
教授	杜下 淳次
教授	藪内 英剛
准教授	佐々木 智成
准教授	藤淵 俊王
助教	赤坂 勉
助教	河窪 正照
助教	田中 延和

1. 教育活動

1. 大学院講義

分子機能画像科学論 (分担)	佐々木雅之	後期
ヘルスサイエンス論 (分担)	佐々木雅之	前期
臨床量子線科学Ⅰ (分担)	佐々木雅之	前期
臨床量子線科学Ⅱ (分担)	佐々木雅之	前期
量子線治療科学論 (分担)	佐々木智成	後期
国際社会とチーム医療 (分担)	佐々木智成	前期
先端医療論 (分担)	佐々木智成	前期
臨床量子線科学Ⅰ (分担)	杜下	前期
臨床量子線科学Ⅱ (分担)	杜下	後期
保健学研究論 (分担)	杜下	前期
医用画像科学論 (分担)	杜下	後期
リプロサイエンスⅠ	藤淵	前期
医用画像科学論 (分担)	藤淵	後期
国際社会とチーム医療	河窪	前期

2. 大学院実験・実習

量子線治療科学演習 (分担)	佐々木智成	前期
----------------	-------	----

3. 大学院演習

分子機能画像科学演習 (分担)	佐々木雅之	前期
分子機能画像科学演習 (分担)	藪内	前期
医用量子線科学特別研究	佐々木雅之	通年
医用量子線科学特別研究	杜下	通年
医用量子線科学特別研究	藪内	通年
医用量子線科学特別研究	佐々木智成	通年
医用量子線科学特別研究	藤淵	通年

4. 大学院修士課程修了者

澄川 哲夫	Blade 幅と静磁場強度が頭頸部 PROPELLER DWI における ADC 値に与える影響
佐藤 直紀	小児胸部連続四面体ファントムにおけるポリゴン数の違いによる計算時間と精度の最適化の検討
橋本 直樹	PET 検査における微小病変の検出能に関する研究
椿 峻	骨から得られる情報を用いた個人識別に関する研究
川本圭晋	医用液晶ディスプレイの輝度均一性の経年劣化に関する基礎的研究

5 大学院博士課程修了者

我妻 慧	Effects of a novel tungsten-impregnated rubber neck shield on the quality of cerebral images acquired using 150-labeled gas (150 標識ガス PET 画像の画質に対する新規タングステンラバーネックシールドの効果)
Yongsu Yoon	Monte Carlo simulation-based feasibility study of novel indirect flat panel detector system for removing scatter radiation (散乱線除去率を改善するための新しい間接変換型フラットパネルディテクタに関するシミュレーション研究)
松延佑将	Bone comparison identification method based on chest computed tomography imaging (胸部 CT 画像に基づいた骨比較身元確認法)

6 学部講義

放射線医学技術学概論 (分担)	佐々木雅之 前期
-----------------	----------

放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	佐々木雅之	前期
放射化学・実験 (分担)	佐々木雅之	後期
核医学検査学Ⅰ (分担)	佐々木雅之	前期
核医学検査学Ⅱ (分担)	佐々木雅之	後期
医学総論Ⅰ	佐々木雅之	後期
医学総論Ⅱ	佐々木雅之	後期
臨床解剖薬理学	佐々木雅之	後期
医療安全学	佐々木雅之	後期
放射線技術科学入門Ⅰ (分担)	佐々木雅之	前期
放射線技術科学入門Ⅱ (分担)	佐々木雅之	後期
臨床量子線科学Ⅰ	杜下	前期
医用画像科学論	杜下	後期
保健学研究論	杜下	前期
画像解剖学ⅠⅠⅠ	杜下	後期
実践画像技術学	杜下	後期
医用画像評価学	杜下	後期
放射線画像技術学Ⅱ (分担)	杜下	後期
放射線画像技術学Ⅰ (分担)	杜下	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	藪内	後期
人体の構造と機能ⅡA	藪内	前期
人体の構造と機能ⅡB	藪内	前期
臨床量子線科学Ⅰ	藪内	前期
分子機能画像科学論 (分担)	藪内	後期
画像解剖学Ⅱ	藪内	後期
MR画像技術学	藪内	前期
画像解剖学Ⅰ	藪内	後期
臨床解剖薬理学 (分担)	藪内	後期
医学総論Ⅱ (分担)	藪内	後期
放射線技術科学入門Ⅰ (分担)	藪内	前期
放射線技術科学入門Ⅱ (分担)	藪内	後期
臨床イメージング	藪内	春学期
放射線治療技術学Ⅰ (分担)	佐々木智成	前期
放射線生物学 (分担)	佐々木智成	前期
放射線医学技術学概論 (分担)	佐々木智成	後期
放射線技術科学入門Ⅱ (分担)	佐々木智成	後期
臨床解剖薬理学 (分担)	佐々木智成	後期
人体の機能と構造ⅡB (分担)	佐々木智成	前期
放射線技術科学入門Ⅰ (分担)	佐々木智成	前期

放射線ってなんだろう (分担)	佐々木智成	前期
医学総論 II (分担)	佐々木智成	後期
放射線治療技術学 II	佐々木智成	後期
放射線治療技術学 I	佐々木智成	前期
放射線画像技術学 II	藤淵	後期
放射線治療・核医学機器学	藤淵	前期
放射線画像技術学 I	藤淵	前期
放射線治療技術学 I	藤淵	前期
品質管理論 (平成25年度入学生用)	藤淵	後期
品質管理論	藤淵	後期
X線CT画像技術学	藤淵	春学期
放射線技術科学入門 I (分担)	藤淵	前期
放射線技術科学入門 II (分担)	藤淵	後期
実践画像技術学	藤淵	後期
X線CT画像技術学	河窪	春学期
放射線画像技術学 I	河窪	前期
放射線技術科学入門 I (分担)	河窪	前期
放射線技術科学入門 II (分担)	河窪	後期
臨床イメージング (分担)	河窪	春学期
医療安全学	河窪	秋学期
放射線画像技術学 II	河窪	後期
X線CT画像技術学	田中	春学期
放射線画像技術学 I	田中	前期
放射線技術科学入門 I (分担)	田中	前期
放射線画像技術学 II	田中	後期
放射化学・実験	田中	後期
医用画像評価学	田中	後期
放射線技術科学入門 II (分担)	田中	後期
実践画像技術学	田中	後期
医用画像情報学	赤坂	後期
放射線管理学	赤坂	後期
放射線技術科学入門 I (分担)	赤坂	前期
放射線技術科学入門 II (分担)	赤坂	後期

7. 学部の実験・実習・演習

放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	佐々木雅之	前期
放射化学・実験 (分担)	佐々木雅之	後期

臨床解剖薬理学	佐々木雅之	後期
臨地実習	佐々木雅之	通年
卒業研究	佐々木雅之	通年
臨床量子線科学 II	杜下	後期
医用量子線科学特別研究（杜下教授）	杜下	通年
保健学特別研究（杜下教授）	杜下	通年
卒業研究	杜下	通年
臨地実習	杜下	通年
放射線画像技術学実習	杜下	後期
臨床量子線科学 II	藪内	後期
分子機能画像科学演習	藪内	前期
医用量子線科学特別研究（藪内教授）	藪内	通年
卒業研究	藪内	通年
放射線治療技術学実習（分担）	佐々木智成	後期
放射線医学技術学概論（分担）	佐々木智成	後期
臨床解剖薬理学（分担）	佐々木智成	後期
量子線治療科学演習	佐々木智成	前期
卒業研究	佐々木智成	通年
放射線画像技術学実習	藤淵	後期
放射線治療技術学実習	藤淵	後期
放射線計測学実験	藤淵	前期
放射線管理学実験	藤淵	前期
画像解剖学演習	藤淵	後期
臨床解剖薬理学（分担）	藤淵	後期
放射化学・実験（分担）	藤淵	後期
卒業研究	藤淵	通年
臨地実習	藤淵	通年
人体の構造と機能ⅡB	河窪	前期
放射線画像技術学実習	河窪	後期
放射線計測学実実験	河窪	前期
臨床解剖薬理学（分担）	河窪	冬学期
画像解剖学演習	河窪	後期
卒業研究	河窪	通年
放射線計測学実験	田中	前期
放射線画像技術学実習	田中	後期
臨床解剖薬理学（分担）	田中	後期
放射化学・実験（分担）	田中	後期
画像解剖学演習	田中	後期

卒業研究	田中	通年
放射線管理学実験	赤坂	前期
医用画像技術学実習(分担)	赤坂	前期
放射性同位元素検査学実習(分担)	赤坂	前期
臨地実習	赤坂	通年
卒業研究	赤坂	通年

8. 卒業論文作成者

加々美 怜衣	吸気・呼気肺 MRI から得られる定量値の再現性向上における Breath-hold Training の有用性の検討
白石 莉彩	吸気・呼気 CT から得られる定量値と肺機能の相関の検討
立川 昂	QIBA ファントムを用いた超高精細胸部 CT の線量低減の検討
赤川 純一	子宮頸癌に対する 高線量率・画像誘導 小線源治療における治療実施前後の リスク臓器の線量変化に関する研究
沼崎 祥	TomoDirect を用いた 根治的前立腺照射における各パラメータの検討
村山 鈴奈	TomoDirect による全身照射 (TBI) の臨床応用可能性の検証
井上 愛理	ワイヤレスマルチセンサ個人線量計ータブレットシステムの基本性能評価
池田 菜津穂	複合現実を利用した患者セットアップトレーニングシステムの開発と評価
平田 悠真	放射線防護メガネによる水晶体の遮へい効果についての検討
峰松 優	モンテカルロ計算による CT の線量評価における計算パラメータ最適化の検討
野崎 航平	スライス補間を用いた心臓シネ MRI による心室容量の計測制度に関する研究
村岡 里奈	乳腺超音波エラストグラフィの歪み比の評価に関する研究
下川 夏実	アミロイド PET 定量評価における関心領域の比較
門崎 都	アミロイド PET における視覚評価と定量評価の比較
廣瀬 智哉	PET 画像の散乱線含有率および散乱線補正への TOF 情報の影響
北川 寛之	古い X 線乾板写真の調査 ～第 1 報・時代背景の考察～
井手 峻平	古い X 線乾板写真の調査 ～第 2 報・写真学的な考察～

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- 1 TomoDirect 方式を用いたトモセラピーによる全身照射の妥当性と安全性の検証 佐々木智成
- 2 子宮頸癌小線源治療における線量評価点 (B 点) の解剖学的位置に関する研究 佐々木智成
- 3 TomoDirect 方式を用いたトモセラピーによる根治的前立腺照射の妥当性と安全性の検証 佐々木智成
- 4 子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療における治療実施前後のアプリケーション位置および線量分布の変化に関する研究 佐々木智成

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 分子イメージングによる腫瘍不均一性の評価法の開発, 佐々木雅之 (代表), 1900 千円.
- 「基盤研究(C)」 三次元ならびに二次元 X 線画像を利用した身元確認システムの開発, 杜下 (代表), 1100 千円.
- 「基盤研究(C)」 I 期非小細胞肺癌に対する TS-1 併用体幹部定位放射線治療の認容性試験, 佐々木智成 (代表), 1100 千円.
- 「基盤研究(C)」 乳児放射線検査における線量と画質の最適化手法の確立, 藤淵 (代表), 900 千円.
- 「若手研究(B)」 3次元の心臓ストレイン解析法の開発と修正大血管転位の予後予測への応用, 河窪 (代表), 700 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「数理・データサイエンスに関する教育・研究支援プログラム」 放射線治療トレーニングシステムによる患者セットアップ技術熟練度の客観的評価, 藤淵 (代表), 1000 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」 フジR I ファーマ, 佐々木雅之, 380 千円.
- 「PET による腫瘍診断の研究」 日本メジフィジックス, 佐々木雅之, 760 千円.
- 「2017 年度 ISMRM Travel Award/Vortex Flow in Left Ventricle Interrupts Efficient Ejection: Demonstration by Vortex Flow Map of

Cardiac Cine Magnetic Resonance Imaging」 一般社団法人 日本磁気共鳴
医学会, 河窪, 100 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 3 件 杜下
- 文部科学省大学改革推進補助金 「課題解決型高度医療人人材養成プログラム」 実践能力強化型チーム医療加速プログラム 21,156 千円

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Shinji Amakusa, Koki Matsuoka, Masayuki Kawano, Kiyotaka Hasegawa, Mio Ouchida, Ayaka Date, Tsuyoshi Yoshida, Masayuki Sasaki : Influence of region-of-interest determination on measurement of signal-to-noise ratio in liver on PET images, *Annals of Nuclear Medicine*, 32, 1, 2018 年 01 月.
- Kei Wagatsuma, Keiichi Oda, Kenta Miwa, Motoki Inaji, Muneyuki Sakata, Jun Toyohara, Kiichi Ishiwata, Masayuki Sasaki, Kenji Ishii : Effects of a novel tungsten-impregnated rubber neck shield on the quality of cerebral images acquired using ¹⁵O-labeled gas, *Radiological Physics and Technology*, 10, 4, 422 - 430, 2017 年 12 月.
- Yasuo Kawata, Hidetaka Arimura, Koujiro Ikushima, Ze Jin, Kento Morita, Chiaki Tokunaga, Hidetake Yabuuchi, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki, Hiroshi Honda, Masayuki Sasaki : Impact of pixel-based machine-learning techniques on automated frameworks for delineation of gross tumor volume regions for stereotactic body radiation therapy, *Physica Medica*, 42, 141 - 149, 2017 年 10 月.
- Yasuhiro Maruoka, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yoshiyuki Kitamura, Koichiro Abe, Masayuki Sasaki, Horoshi Honda : A functional scoring system based on salivary gland scintigraphy for evaluating salivary gland dysfunction secondary to ¹³¹I therapy in patients with differentiated thyroid carcinoma, *Journal of Clinical and Diagnostic Research*, 11, 8, TC23 - TC28, 2017 年 08 月.
- Yasuhiro Maruoka, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yoshiyuki Kitamura, Koichiro Abe, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda :

Association between volumetric analysis of lung metastases on F-18-fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography/computed tomography and short-term progression after I-131 therapy for differentiated thyroid carcinoma, *Indian Journal of Nuclear Medicine*, 32, 3, 167 - 172, 2017年07月.

- Yusuke Matsunobu, Junji Morishita, Yosuke Usumoto, Miki Okumura, Masayuki Sasaki, Noriaki Ikeda, Bone comparison identification method based on chest computed tomography imaging, *Legal Medicine*. 2017; 29: 1-5.
- Keishin Kawamoto, Shogo Tokurei, Junji Morishita, Method for evaluating luminance non-uniformity of displays by use of a commercially available digital camera, *Radiological Physics and Technology*. 2017; 10 (4): 409-414.
- Shun Tsubaki, Junji Morishita, Yosuke Usumoto, Kyoko Sakaguchi, Yusuke Matsunobu, Yusuke Kawazoe, Miki Okumura, Noriaki Ikeda, Sex determination based on a thoracic vertebra and ribs evaluation using clinical chest radiography. *Legal Medicine*. 2017; 27: 19-24.
- Yoichiro Shimizu, Junji Morishita. Development of a method of automated extraction of biological fingerprints from chest radiographs as preprocessing of patient recognition and identification. *Radiological Physics and Technology*. 2017; 10(3): 376-381.
- Hidetake Yabuuchi, Satoshi Kawanami, Takeshi Kamitani, Tomomi Matsumura, Yuza Yamasaki, Junji Morishita, Hiroshi Honda, Detectability of BI-RADS category 3 or higher breast lesions and reading time on mammography: comparison between 5-MP and 8-MP LCD monitors. *Acta Radiologica*. 2017; 58(4): 403-407
- Toshioh Fujibuchi, Takatoshi Toyoda, Shingo Baba, Yoshiyuki Umezu, Isao Komiya, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda : Evaluation of the distribution of activation inside a compact medical cyclotron, *Applied Radiation and Isotopes*, 124, 27 - 31, 2017年06月.
- Yasuhiro Maruoka, Michinobu Nagao, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yoshiyuki Kitamura, Yuza Yamazaki, Koichiro Abe, Masayuki Sasaki, Kotaro Abe, Hiroshi Honda : Three-dimensional fractal analysis of ^{99m}Tc-MAA SPECT images in chronic thromboembolic

pulmonary hypertension for evaluation of response to balloon pulmonary angioplasty Association with pulmonary arterial pressure, *Nuclear Medicine Communications*, 38, 6, 480 - 486, 2017年05月.

- Akihiko Takahashi, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Yasuo Yamashita, Masayuki Sasaki. : Comparison of TOF-PET and Bremsstrahlung SPECT Images of Yttrium-90: A Monte Carlo Simulation Study, *Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine and Biology*, 6, 1, 24 - 31, 2018年01月.
- Yuji Tsutsui, Shinichi Awamoto, Kazuhiko Himuro, Yoshiyuki Umezu, Shingo Baba, Masayuki Sasaki : Characteristics of Smoothing Filters to Achieve the Guideline Recommended Positron Emission Tomography Image without Harmonization, *Asia Ocean J Nucl Med Biol.*, 6, 1, 15 - 23, 2018年01月.
- Hidetake Yabuuchi, Satoshi Kawanami, Takeshi Kamitani, Tomomi Matsumura, Yuzo Yamasaki, Junji Morishita, Hiroshi Honda : Detectability of BI-RADS category 3 or higher breast lesions and reading time on mammography: comparison between 5-MP and 8-MP LCD monitors, *Acta Radiologica*, 2017年04月.
- Ryoji Mikayama, Hidetake Yabuuchi, Shinjiro Sonoda, Koji Kobayashi, Kazuya Nagatomo, Mitsuhiro Kimura, Satoshi Kawanami, Takeshi Kamitani, Seiji Kumazawa, Hiroshi Honda: Comparison of intravoxel incoherent motion diffusion-weighted imaging between turbo spin-echo and echo-planar imaging of the head and neck. *Eur Radiol*, 28: 316-324, 2018年01月.
- Yoichiro Shimizu, Junji Morishita : Development of a method of automated extraction of biological fingerprints from chest radiographs as preprocessing of patient recognition and identification., *Radiological Physics and Technology*, 2017年04月.
- Shun Tsubaki, Junji Morishita, Yosuke Usumoto, Kyoko Sakaguchi, Yusuke Matsunobu, Yusuke Kawazoe, Miki Okumura, NORIAKI IKEDA : Sex determination based on a thoracic vertebra and ribs evaluation using clinical chest radiography., *Legal Medicine*, 2017年06月
- Yusuke Matsunobu, Junji Morishita, Yosuke Usumoto, Miki Okumura, NORIAKI IKEDA : Bone comparison identification method

based on chest computed tomography imaging. , *Legal Medicine*, 2017年08月.

- Keishin Kawamoto, Junji Morishita, Shogo Tokurei : A method for evaluating luminance non-uniformity of displays by use of a commercially available digital camera, *Radiological Physics and Technology*, 2017年08月.
- Yabuuchi H, Kawanami S, Iwama E, Okamoto I, Kamitani T, Sagiya K, Yamasaki Y, Honda H. : Prediction of Therapeutic Effect of Chemotherapy for NSCLC Using Dual-Input Perfusion CT Analysis: Comparison among Bevacizumab Treatment, Two-Agent Platinum-based Therapy without Bevacizumab, and Other Non-Bevacizumab Treatment Groups., *Radiology*, 286, 2, 685 - 695, 2018年02月.
- Toshioh Fujibuchi, Takatoshi Toyoda, Shingo Baba, Yoshiyuki Umezu, Isao Komiya, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda : Evaluation of the distribution of activation inside a compact medical cyclotron, *Applied Radiation and Isotopes*, 124, 27 - 31, 2017年06月.
- Choirul Anam, Toshioh Fujibuchi, Takatoshi Toyoda, Naoki Sato, Freddy Haryanto, Rena Widita, Idam Arif, Geoff Dougherty : A simple method for calibrating pixel values of the CT localizer radiograph for calculating water-equivalent diameter and size-specific dose estimate, *Radiation Protection Dosimetry*, 2017年11月.
- 荒川 弘之, 徳森 謙二, 亀澤 秀美, 藤淵 俊王 : 放射線防護教育を目的とした X線撮影室における散乱線の可視化, *RADIOISOTOPES*, 67, 1, 11 - 15, 2018年01月.
- Choirul Anam, Freddy Haryanto, Rena Widita, Idam Arif, Toshioh Fujibuchi, Takatoshi Toyoda, Geoff Dougherty : Scatter index measurement using a CT dose profiler, *Journal of Medical Physics and Biophysics*, 4, 1, 95 - 102, 2017年08月.
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス
 - Naoki Hashimoto, Masayuki Sasaki : The evaluation of heterogeneity in brain dopamine transporter SPECT images, 第73回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2017年04月13日, Japan.
 - Naoki Hashimoto, Masayuki Sasaki : The assessment of small lesion detection in low background radioactivity with PET/CT,

第 73 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2017 年 04 月 16 日, Japan.

- Saki Kimoto, Masayuki Sasaki : The influence of the radioisotopes on the spatial resolution of PET images, 第 73 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2017 年 04 月 16 日, Japan.
- Ayano Shoji, Masayuki Sasaki : Effects of subset number in PET image reconstruction on the image quality, 第 73 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2017 年 04 月 16 日, Japan.
- Shinji Amakusa, Masayuki Sasaki : Differences of Edge Artifacts on 68Ga-PET images and 18F-PET images Using PSF Correction., 第 73 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2017 年 04 月 16 日, Japan.
- Tetsu Nakaichi, Masayuki Sasaki : Influence of Standardized Uptake Value Variation on Volumetric Parameters using Adaptive Threshold Segmentation Method, 第 73 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2017 年 04 月 16 日, Japan.
- Yuji Tsutsui, Masayuki Sasaki : The Characteristics of the Smoothing Filters in FDG PET Harmonization, 第 73 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2017 年 04 月 16 日, Japan.
- 佐々木 雅之 : 核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース「PET/CT」, 第 17 回 日本核医学会春季大会, 2017 年 04 月 23 日, Japan.
- Naoki Hashimoto, Masayuki Sasaki : The small lesion detectability in different target-to-background ratios of radioactivity with a clinical PET/CT scanner., 64th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017 年 06 月 12 日, United States of America.
- Naoki Hashimoto, Masayuki Sasaki : The evaluation of the heterogeneity in brain dopamine transporter SPECT imaging with an anthropomorphic striatal phantom, 64th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017 年 06 月 12 日, United States of America.
- Ayano Shoji, Masayuki Sasaki : The influence of a post filter for evaluating heterogeneity on PET images, 64th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017 年 06 月 12 日, United States of America.
- Ayano Shoji, Masayuki Sasaki : The influence of the subset number on the quality of OSEM-reconstructed PET images, 64th

- Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017年06月12日, United States of America.
- Saki Kimoto, Masayuki Sasaki : The relationship between positron emitting nuclides and spatial resolution using clinical PET/CT scanner, 64th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017年06月12日, United States of America.
 - Ryota Oshima, Akihiko Takahashi, Masayuki Sasaki : Impact of Collimator on Ra-223 Imaging: a Monte-Carlo Study, 64th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017年06月12日, United States of America.
 - Yuji Tsutsui, Masayuki Sasaki : The Influence of Smoothing Filters on FDG PET Harmonization, 64th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017年06月12日, United States of America.
 - Kei Wagatsuma, Masayuki Sasaki : Validation study of new cross calibration method using NIST traceable $^{68}\text{Ge}/^{68}\text{Ga}$ source kit, 64th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2017年06月12日, United States of America.
 - 松延佑将, 杜下淳次, 臼元洋介, 奥村美紀, 池田典昭. Personal identification method for unknown body in computed tomography imaging. 医用画像情報学会平成29年度春季(第180回)大会, 2018年1月27日, 岐阜市 Yongsu Yoon, 杜下淳次. 汎用モーショセンサと Genral Purpose Graphic Precessing Unit (GPGPU) に基づく一般 X 線撮影シミュレータに関する研究. 医用画像情報学会平成29年度春季(第180回)大会, 2018年1月27日, 岐阜市
 - Yongsu Yoon, Junji Morishita, Fukai Toyofuku, Kouichi Yokoyama, Yusuke Matsunobu, Yoichiro Shimizu, Hitomi Nakamura, Yayoi Sakata, Yusuke Kawazoe. Real-time Radiographic Simulator Based on a General Purpose Motion Sensor for the Education and Training of Less-experienced Radiology Personnel. Radiological Society of North America (RSNA) 103rd Scientific Assembly and Annual Meeting, November 26-December 1, 2017, Chicago, Illinois, USA.
 - Yusuke Matsunobu (Award for the best presentation skill), Junji Morishita, Yosuke Usumoto, Miki Okumura, Noriaki Ikeda. Development of Personal Identification Method using Thoracic

Bone Structure Extracted from Computed Tomography Images in Legal Medicine. The 3rd International Conference on Radiological Science and Technology, October 21, 2017, Hiroshima, Japan.

- Yongsu Yoon (President' s special award), Junji Morishita, Kihyun Kim, Jung min Kim. A Novel Flat Panel Detector System for Reducing Scatter Radiation: Relationship between the Image Quality and Exposure Dose for Clinical Usage. The 3rd International Conference on Radiological Science and Technology, October 21, 2017, Hiroshima, Japan.
- Hitomi Nakamura, Junji Morishita, Yoichiro Shimizu, Yusuke Matsunobu, Yongsu Yoon, Shigehiko Katsuragawa, Hidetake Yabuuchi. An attempt to reduce artifacts due to the image contrast on similar subtraction images. American Association of Physicists in Medicine (AAPM) the 59th Annual Meeting, July 30- August 4, 2017, Denver, Colorado, USA.
- Yusuke Matsunobu (Academic award), Junji Morishita, Noriaki Ikeda, Yusuke Usumoto, Miki Okumura, Yoichiro Shimizu, Yongsu Yoon. Personal identification using thoracic bone extracted from computed tomography imaging. 2017 Korean Society of Radiological Science Conference, May 13, 2017, Seongnam, Gyeonggi-Do, Korea
- Yayoi Sakata, Junji Morishita, Hitomi Nakamura, Yoichiro Shimizu, Yusuke Matsunobu, Yongsu Yoon. Basic study on reproducibility in ultrasound elastography. 2017 Korean Society of Radiological Science Conference, May 13, 2017, Seongnam, Gyeonggi-Do, Korea
- Yongsu Yoon, Junji Morishita, Kihyun Kim, Yusuke Matsunobu, Yoichiro Shimizu, Jung min Kim. Challenge to reduce the scatter radiation in diagnostic radiology: a novel structure of flat panel detector system for the usage in clinical situation. 2017 Korean Society of Radiological Science Conference, May 13, 2017, Seongnam, Gyeonggi-Do, Korea
- Yusuke Kawazoe, Junji Morishita, Yusuke Matsunobu, Yoichiro Shimizu, Yongsu Yoon. Preliminary study of sex classification based on width of ribs and intercostal spaces. 2017 Korean Society of Radiological Science Conference, May 13, 2017, Seongnam, Gyeonggi-Do, Korea

- Hitomi Nakamura, Junji Morishita, Yoichiro Shimizu, Yusuke Matsunobu, Yongsu Yoon, Shigehiko Katsuragawa, Hidetake Yabuuchi. **Effect of image-contrast corrections on similar subtraction imaging.** 2017 Korean Society of Radiological Science Conference, May 13, 2017, Seongnam, Gyeonggi-Do, Korea.
- Masateru Kawakubo, Yuzo Yamasaki, Hiroshi Akamine, Michinobu Nagao : Three-dimensional Bi-ventricular Myocardial Feature Tracking for Congenital Heart Disease Using Standard Cardiac Cine MRI with Interpolation Technique Based on Moving Gradients, ISMRM 25th Annual Meeting & Exhibition, 2017年04月27日, Japan.
- Kaori Hara, Hidetake Yabuuchi, Ryohei Funatsu, Yasuo Yamashita, Koji Kobayashi, Ryoji Mikayama, Mitsuhiro Kimura, Nobuaki Harada, Hiroshi Honda: Accuracy of fat fraction measurements of a phantom simulating head and neck: Comparison between 2-point modified Dixon turbo spin echo and 6-point modified Dixon. European Congress of Radiology 2018, 2018年2月28日～3月4日 Viena (Austria)
- Nobuaki Harada, Hidetake Yabuuchi, Tsukasa Kojima, Ryoji Matsumoto, Ryoji Mikayama, Mitsuhiro Kimura, Yasuo Yamashita, Koji Kobayashi, Kaori Hara, Hiroshi Honda : Development of an abdominal phantom simulating the fibrotic lesions for diffusion-weighted imaging. European Congress of Radiology 2018, 2018年2月28日 Viena (Austria)
- c 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- d 調査研究報告
 - 藤淵 俊王： バーチャルリアリティ技術と角度情報センシング技術を統合した体感型放射線治療技術トレーニング手法の構築, 医療の広場, 57, 19-22, 2017年09月.
 - 藤淵 俊王： 放射線治療における2次中性子線の影響および放射化に関する研究, 放影協ニュース vol.91, 18-19, , 2017年04月.
- 6. 国内学会での講演, 発表
 - 佐々木 雅之： PET 研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③ 「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」, 第17回 日本核医学会春季大会, 2017年04月23日, 東京都.
 - Ayano Shoji, Masayuki Sasaki : The characteristics of parameters in texture analysis for evaluating heterogeneity,

第 37 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2017 年 10 月 04 日, 横浜市.

- Saki Kimoto, Masayuki Sasaki: The evaluation of the spatial resolution of ^{64}Cu -PET images using a clinical PET/CT scanner, 第 37 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2017 年 10 月 04 日, 横浜市.
- Naoki Hashimoto, Masayuki Sasaki: The effect of a smoothing filter on small lesion detectability with a clinical PET/CT, 第 37 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2017 年 10 月 04 日, 横浜市.
- 関川 祐矢、高橋 昭彦、佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いた肝内腫瘍に対する ^{177}Lu の分子イメージング, 第 37 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2017 年 10 月 04 日, 横浜市.
- 筒井 悠治、佐々木 雅之: SUV harmonization における多施設研究～平滑化フィルタ至適条件の検討～, 第 37 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2017 年 10 月 04 日, 横浜市. (
- 筒井 悠治、佐々木 雅之: SUV harmonization における多施設研究～SUV の安定性の評価～, 第 37 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2017 年 10 月 04 日, 横浜市.
- 磯田拓郎、佐々木 雅之: FDG の肝集積と年齢の関係, 第 57 回日本核医学会学術総会, 2017 年 10 月 04 日, 横浜市.
- 下川夏実、佐々木 雅之: アミロイド PET 定量評価 における関心領域の違いの影響, 第 12 回 九州放射線医療技術学術大会、第 66 回 (社) 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 63 回九州放射線技師学術大会, 2017 年 11 月 04 日, 鹿児島市.
- 門崎都、佐々木 雅之: アミロイド PET における視覚評価と定量評価の比較検討, 第 12 回 九州放射線医療技術学術大会、第 66 回 (社) 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 63 回九州放射線技師学術大会, 2017 年 11 月 04 日, 鹿児島市.
- 廣瀬智哉、佐々木 雅之: PET 画像の散乱線含有率への TOF 情報および散乱線補正の影響, 第 12 回 九州放射線医療技術学術大会、第 66 回 (社) 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 63 回九州放射線技師学術大会, 2017 年 11 月 04 日, 鹿児島市.
- 井上 雄貴、高橋昭彦、佐々木 雅之: Channelized Hotelling Observer 法を用いた SPECT 画像の病変検出能の評価, 第 12 回 九州放射線医療技術学術大会、第 66 回 (社) 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 63 回九州放射線技師学術大会, 2017 年 11 月 04 日, 鹿児島市.

- 牧 優花、高橋昭彦、佐々木 雅之：⁶⁸Ga のポジトロンレンジの PET 画像への影響に関する研究，第 12 回 九州放射線医療技術学会大会、第 66 回（社）日本放射線技術学会九州部会学会大会、第 63 回九州放射線技師学会大会，2017 年 11 月 04 日，鹿児島市。
- 上野 響生、高橋昭彦、佐々木 雅之：²²³Ra の SPECT 画像化の検討，第 12 回 九州放射線医療技術学会大会、第 66 回（社）日本放射線技術学会九州部会学会大会、第 63 回九州放射線技師学会大会，2017 年 11 月 04 日，鹿児島市。
- 舟田 圭汰、高橋昭彦、佐々木 雅之：モンテカルロシミュレーションを用いたドパミントランスポート SPECT 画像におけるコリメータ開口補正組み込み再構成法の検討，第 12 回 九州放射線医療技術学会大会、第 66 回（社）日本放射線技術学会九州部会学会大会、第 63 回九州放射線技師学会大会，2017 年 11 月 04 日，鹿児島市。
- 中山 誠也、甘艸慎史、佐々木 雅之：FDG-PET 検査における血液プールの SUV と体格・血糖・クレアチニンの関係，第 12 回 九州放射線医療技術学会大会、第 66 回（社）日本放射線技術学会九州部会学会大会、第 63 回九州放射線技師学会大会，2017 年 11 月 04 日，鹿児島市。
- 笠井 裕貴、村山 鈴奈、松川英明、福山 幸秀、寺嶋 廣美、川村 慎二、佐々木 智成：TomoDirect を用いた全身照射 (TBI) における門数と評価指標に関する検討，日本放射線腫瘍学会第 30 回学会大会，2017 年 11 月 01 日，ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター（大阪市）。
- 松川 英明、佐々木智成、笠井裕貴、平山 亮太、廣瀬 貴章、福永 淳一：子宮頸癌小線源治療における線量評価点 (B 点) との解剖学的位置と DVH に関する研究，日本放射線腫瘍学会第 30 回学会大会，2017 年 11 月 01 日，ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター（大阪市）。
- 河窪 正照、山崎 誘三、杜下 淳次、長尾 充展：動き勾配のパスに基づくシネ MR 画像の時間的および空間的な補間による 4 次元の心臓 MR イメージング，第 73 回日本放射線技術学会総会学会大会，2017 年 04 月 14 日，横浜市。
- Masateru Kawakubo, Kenji Fukushima, Risa Nakao, Yamato Shimomiya, Yasuhiro Goto, Hitoshi Tadenuma, Masami Yoneyama, Junji Morishita, Michinobu Nagao: Geometrical Vortex Flow in Left Ventricle Associates with Efficient Ejection: Analysis of a Novel Vortex Flow Map of 2D Cine MRI, The 45th Annual

Meeting of Japanese Society of Magnetic Resonance in Medicine, 2017年09月16日, 栃木県総合文化センター.

- 河窪 正照, 福島 賢慈, 中尾 梨沙子, 下宮 大和, 後藤 康裕, 蓼沼 仁, 米山 正巳, 長尾 充展: シネMRI Vortex Flow Mapを用いた左室内渦流の幾何学的特徴と効率的駆出の関連, 第82回日本循環器学会学術集会, 2018年03月01日, リーガロイヤルホテル(大阪).
- 新井 英雄, 河窪 正照, 讚井 憲一, 西村 浩, 門上 俊明: 収集時間の最適化によるMRIの収縮期心筋T1 mapping, , 2018年01月01日, アクロス福岡.
- 新井 英雄, 河窪 正照, 讚井 憲一, 西村 浩, 門上 俊明: Delay Timeの最適化によるMRIの収縮期心筋T1 mapping, 第82回日本循環器学会学術集会, 2018年03月01日, 大阪国際会議場.
- 村岡 里奈, 田中 延和, 野崎 航平, 河窪 正照: 乳腺超音波エラストグラフィの撮像手技が乳房ファントムの模擬腫瘍の歪み比に及ぼす影響, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年11月19日, 宝山ホール(鹿児島市).
- 野崎 航平, 河窪 正照, 新井 英雄, 村岡 里奈, 田中 延和, 讚井 憲一, 西村 浩: スライス補間を用いたシネMR画像による心室内腔容量の計測, 第12回九州放射線医療技術学術大会, 2017年11月18日, 宝山ホール(鹿児島市).
- 藪内 英剛: 胸部単純X線撮影による肺がん検診: 見落としを少なくするポイント. 第31回肺がん集検セミナー 2016年12月21日 福岡市.
- 藪内 英剛, 川波 哲, 神谷 武志, 鷺山 幸二, 山崎 誘三, 本田 浩, 山元 英崇, 岡本 龍郎: 胸腺上皮性腫瘍のADC値とWHO分類、病理組織学的定量値の関係. 第9回呼吸機能イメージング研究会学術集会 2017年1月27日 京都市.
- 藪内 英剛: 肺癌診療における機能画像の役割. 第57回日本肺癌学会九州支部学術集会 平成29年2月24日 鹿児島市.
- 藪内 英剛: Evaluation of therapeutic effect and complications related to therapy. 第76回日本医学放射線学会総会 2017年4月15日 横浜市.
- 藪内 英剛: Diagnostic Imaging after Radiation Therapy. 第76回日本医学放射線学会総会 2017年4月15日 横浜市.
- Kaori Hara, Hidetake Yabuuchi, Yoon Yongsu, Hiroshi Narita, Yoko Yasuda, Nobuaki Harada, Rei Kagami, Yoichi

Kurihara, Masafumi Masaki, Hiroshi Kimura : Assessment of Usefulness of the Breath-hold Training Method to Improve Reproducibility of Quantitative Values by Inspiratory and Expiratory Lung Magnetic Resonance Imaging. 第 74 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018 年 4 月 12 日, 横浜市.

- Nobuaki Harada, Hidetake Yabuuchi, Tsukasa Kojima, Tetsuo Sumikawa, Kaori Hara, Koji Kobayashi, Yasuo Yamashita, Hiroshi Honda : Influence of the different MR scanners on apparent diffusion coefficient of fibrosis: a phantom study. 第 74 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018 年 4 月 12 日, 横浜市.
- 立川昂, 藪内英剛, 近藤雅敏, 原田伸明, 原薫, 加々美怜衣, 白石莉彩, 神谷武志, 本田 浩 : QIBA ファントムを用いた超高精細胸部 CT の線量低減の検討. 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2017 年 11 月 18 日, 宝山ホール (鹿児島市) .
- 白石莉彩, 藪内英剛, 原薫, 原田伸明, 加々美怜衣, 立川昂, 神谷武志, 本田 浩 : 吸気・呼気 CT から得られる定量値と肺機能の関連の検討. 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2017 年 11 月 18 日, 宝山ホール (鹿児島市) .
- 加々美怜衣, 藪内英剛, Yoon Yongsu, 成田浩, 原薫, 原田伸明, 白石莉彩, 立川昂, 栗原洋一, 真崎昌文, 木村寛 : 吸気・呼気肺 MRI から得られる定量値の再現性向上における Breath-hold Training の有用性の検討. 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2017 年 11 月 18 日, 宝山ホール (鹿児島市) .
- 中村仁美, 杜下淳次, 清水陽一郎, 桂川茂彦, 藪内英剛. 類似した他人の胸部単純 X 線画像を利用した差分画像の改善—コントラストと鮮鋭度の調節—第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会 (座長推薦優秀研究発表賞), 2017 年 10 月 19 日-21 日, 広島市

- 藤淵俊王, 日本放射線技術学会 第 73 会総会学術大会 入門講座 6 「被ばくの種類と基準値の理解」 2017 年 4 月 15 日, (横浜)
- 藤淵俊王, 日本放射線技術学会 第 5 回診断参考レベル活用セミナー 講義③、実習 「血管造影装置」, 2017 年 6 月 18 日, 講師 (熊本)
- 藤淵俊王, 日本保健物理学会第 50 回研究発表会 JHPS 企画セッション 医療分野における放射線防護のためのシミュレーションの活用 「(4) 放射線診療従事者と装置の管理への活用」 2017 年, 6 月 30 日, (大分)

- 藤淵俊王，第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会 放射線防護フォーラム 「今から考えておこう 従事者の水晶体被ばくについて ② 各種国内法令見直しの現状」 ， 2017 年 10 月 21 日，（広島）
- 藤淵俊王，日本放射線技術学会 九州支部 平成 29 年度 放射線防護・計測セミナー水晶体の放射線防護の現状と対策「放射線診療従事者の水晶体被ばくの実態と対策」 ， 2017 年 12 月 2 日，講師（福岡）

○ 学会以外での講演，発表

- 藤淵俊王，第 5 回 医療被ばく線量評価実務セミナー（国立病院機構九州ブロック）「医療被ばくのリスク評価の考え方と患者説明について」 ， 2017 年 7 月 23 日，（福岡）
- 藤淵俊王，原子力規制委員会 眼の水晶体の放射線防護検討部会 医療現場での水晶体被ばくの現状 - その他（一般撮影、CT、RI、放射線治療）など - 2017 年 10 月 5 日，（東京）
- 藤淵俊王，放射線安全安心ネットワーク 「シミュレーションによる線量分布を利用したサイクロトロン建屋廃止の事例紹介」 ， 2017 年 12 月 4 日，（福岡）

8. 著作

a. 単行本

- 藤淵 俊王：（共著） 診療画像技術学Ⅱa X線撮影技術学， 2017 年 10 月， 医療科学社.
- Nobukazu Tanaka, Junji Morishita：（共著） Handbook of X-ray Imaging: Physics and Technology. Chapter 12 Computed Radiography. p. 219-238. eBook 2017 年 12 月， Hardback 2018 年 1 月， CRC Press, Taylor & Francis

b. 総説 なし

c. 解説，書評など

- 藤淵 俊王： 放射線診療従事者に対する不均等被ばく管理の現状と課題， FBNews 484：6-11， 2017 年 04 月，
- 藤淵 俊王： 放射線安全管理学（放射線双書） ， ISOTOPE NEWS No. 754 P. 74， 2017 年 12 月，

- 清水森人, 河内徹, 木下尚紀, 坂間誠, 椎木健裕, 高橋豊, 藤淵俊王, 宮本直樹, 井原陽平, 谷口順, 岩下敦, 酒井孝志, 牛場洋明, 金井幸三, 山岡英樹, 谷謙甫, 佐方周防, 高瀬信宏, 神谷正己: 放射線治療用線量計に用いられる電位計のガイドライン, 日本医学物理学学会, 2017年04月,

9 受賞

- d. 佐々木雅之, 「大学院生(我妻慧)の研究成果発表が第73回日本放射線技術学会総会学術大会にて研究奨励賞・技術奨励賞(核医学分野)を受賞した。」, 研究奨励賞・技術奨励賞(核医学分野), 日本放射線技術学会, 2017年04月.
- o 杜下・尹, Roadie 2017 award in advanced visualization preview RSNA2017, AuntMinnie.com
- o 杜下, 「指導する博士学生の松延佑将が受賞」, The best presenter award, JSRT, 2017年10月.
- o 杜下, 「研究室所属のYoon Yongsuが受賞」, President's special award, JSRT, 2017年10月.
- o 杜下, 「指導する博士学生の松延佑将が受賞」, Academic award, KSRS, 2017年05月.
- o 藤淵, 「放射線治療による2次中性子線の影響および放射化に関する研究」, 放射線影響研究奨励賞, 放射線影響協会, 2017年04月.
- o 河窪, 「Vortex Flow in Left Ventricle Interrupts Efficient Ejection: Demonstration by Vortex Flow Map of Cardiac Cine Magnetic Resonance Imaging」, 2017年度 ISMRM Travel Award, 日本磁気共鳴医学会, 2018年03月.
- o 田中, 「デジタルイメージングシステムにおける新しい指標を適用した散乱X線除去用グリッド使用法に関する研究」, 平成29年度がん研究助成金奨励賞, 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団, 2017年12月.

報道

杜下・尹, AuntMinnie.comでRSNA2017での発表が紹介される 「How to use a radiographic simulator to practice x-ray exams」

4. 産学連携活動

1. 共同研究

杜下, 3件.

藤淵, 医療用リニアックからの光子線照射に伴う二次中性子線量計測, 放射線医学総合研究所, 2016年04月～2020年03月.

2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木雅之, Society of Nuclear Medicine (UnitedStatesofAmerica), 国際会議, 2017年06月～2017年06月 (2週間未満)
- 佐々木雅之, European Association of Nuclear Medicine (Austria), 国際会議, 2017年10月～2017年10月 (2週間未満),
- 佐々木智成, Chulalongkorn University (Thailand), 大学・研究所訪問, 2018年03月～2018年03月 (2週間未満),
- 藪内, Chulalongkorn University (Thailand), 大学・研究所訪問, 2018年03月～2018年03月 (2週間未満)
- 藤淵, Diponegoro University (Indonesia), 大学・研究所訪問, 2018年02月～2018年03月 (2週間未満),
- 藤淵, Chulalongkorn University (Thailand), 大学・研究所訪問, 2018年03月～2018年03月 (2週間未満)
- 藤淵, AAPM2017 at Colorado Convention Center (UnitedStatesofAmerica), 国際会議, 2017年08月～2017年08月 (2週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 佐々木雅之， 医療系統合教育センター センター長.
- 杜下， 21世紀プログラム専門委員会.
- 藤淵， アイソトープ統合安全管理センター委員会.

2. 部局委員

- 藤淵， 百人部会.

3. 部門・コース内委員

- 佐々木雅之， 医学研究院保健学部門 教務委員会 委員長.
- 藤淵， 教務委員.
- 田中， FD 実行委員会 委員， 地域・国際連携推進委員会 委員， 百人部会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木雅之， 熊本大学医学部保健学科， 非常勤講師. (公開)
- 佐々木智成 首都大学東京 健康福祉学部 非常勤講師

2. 学協会

- 佐々木雅之， 日本医学放射線学会， 評議員， 国内.
- 佐々木雅之， 日本核医学会， 評議員， 国内.
- 佐々木雅之， 日本核医学会， 理事， 国内.
- 藪内， 日本磁気共鳴学会， その他 (代議員) ， 国内.
- 藪内， 日本医学放射線学会， 評議員， 国内.
- 杜下， 医用画像情報学会、理事、国内
- 杜下， 医用画像認知研究会、世話人、国内
- 佐々木智成， 日本医学放射線学会， 評議員， 国内
- 佐々木智成 日本放射線腫瘍学会、代議員、国内
- 佐々木智成， Japanese Journal of Radiology， 査読委員， 国内.

- 藤淵， 日本放射線技術学会， その他 (放射線防護部会 委員) ， 国内.
- 藤淵， 日本放射線技術学会， その他 (関係法令委員会委員長) ， 国内.

- 藤淵， 日本放射線技術学会 九州支部， 理事， 国内
- 藤淵， 公益社団法人日本アイソトープ協会， その他 (放射線安全取扱部会広報専門委員会) ， 国内.
- 藤淵， 日本保健物理学会， 理事， 国内.
- 藤淵， 放射線安全フォーラム， 理事， 国内.
- 藤淵， 放射線影響懇話会， その他 (世話人代表) ， 国内.

- 藤淵, 日本放射線安全管理学会, その他 (教育訓練の時間と内容に関するアドホック委員会) , 国内.
- 藤淵, 大学等放射線施設協議会, その他 (「ラジオアイソトープの安全な利用マニュアル」ワーキンググループ) , 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, その他 (企画委員会) , 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 佐々木智成, 「”切らずに治す”人にやさしい放射線治療」, 九州大学大学院保健学部門. 九州大学保健学科, 公開講座.
- 藤淵, 日本放射線技術学会 平成 29 年度市民公開講座 身近な放射線検査と治療の最前線からリスク評価まで 「医療における放射線被ばくとその管理」講師 (長崎)

6. 初等中等教育への貢献

- 河窪, 「九州大学出前講座」, 明治学園中学高等学校. 講演・セミナー等.

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

生体情報学

教授	藤本 秀士
教授	栢森 裕三
准教授	水上 令子
講師	田代 洋行
講師	小島 夫美子
助教	安田 洋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

生体情報解析学 I (分担)	藤本	前期
保健学研究論 (分担)	藤本	前期
生体情報解析検査学演習	藤本	前期
生体情報解析検査学	藤本	後期
生体情報解析学 I	栢森	前期
ヘルスサイエンス論	栢森	前期
国際社会とチーム医療	栢森	前期
分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期

2. 大学院実験・実習

検査技術科学特別研究	栢森	通年
保健学特別研究	栢森	通年

3. 大学院演習

生体情報解析学 II	栢森	後期
------------	----	----

4. 大学院修士課程修了者

檜物 孝樹	Candida albicans に対する舌癌由来細胞株の免疫学的反応 Immunological responses of the cell line derived from tongue against Candida albicans (指導教員：藤本)
-------	---

大倉野 隼士	高速液体クロマトグラフィを用いた酸化・還元型アルブミンの臨床的有用性の検討 Clinical utility of nonmercaptalbumin and mercaptalbumin with high performance liquid chromatography (指導教員：栢森)
吉弘 苑子	透析患者を対象とした酸化還元アルブミン比推定試薬の臨床的有用性 Clinical utility of the redox albumin ratio estimate reagent for the dialysis patients (指導教員：栢森)
幸下 和矢	金属キレート試薬 Nitroso-PSAP を用いた NADH の高感度測定法の開発と応用 Development and application of high sensitivity assay of NADH using a metal chelating agent, Nitroso-PSAP (指導教員：栢森)
眞部 正弘	ピルビン酸オキシダーゼを利用した新規マグネシウム測定法の開発 Novel method for assaying magnesium using pyruvate oxidase (指導教員：栢森)
吉村 優里奈	神経培養細胞の自発スパイク電位持続時間の評価による神経インターフェース安全性試験のための動物実験代替法に関する研究 Study on animal test alternative by evaluation of spontaneous spike activity with cultured nerve cell to establish safety assessment method of neural interface (指導教員：栢森)

5. 大学院博士課程修了者

立石多貴子	Preliminary study of a high-sensitivity method to determine sarcosine in urine using high-performance liquid chromatography (指導教員：栢森)
-------	---

6. 学部講義

病因・生体防御特論 (分担)	藤本	後期
病原体学Ⅱ	藤本	春学期
病原体学Ⅰ	藤本	前期
生体情報機能検査学	栢森	後期
生物化学分析検査学特論 (分担)	栢森	後期
先進臨床検査特論	栢森	後期
検査管理総論	栢森	前期
臨床化学Ⅰ	栢森	後期
臨床検査学概論Ⅱ	栢森	秋学期
臨床検査学概論Ⅰ	栢森	春学期
臨床検査学Ⅱ (薬学部)	栢森	後期
遺伝子・細胞工学 (分担)	水上	前期
生物化学分析検査学特論 (分担)	水上	後期
医用工学・情報概論	田代	前期
医療安全・バイオリスク管理および実習 (分担)	田代	後期
臨床検査学概論Ⅱ (分担)	田代	後期
寄生虫学	小島	前期

病因・生体防御検査学特論 (分担)	小島	後期
人体の構造と機能 IA	小島	前期
人体の構造と機能 IB	小島	前期
臨床検査総論	小島	春学期
検査基礎技術	安田	前期

7. 学部の実験・実習・演習

病因・生体防御特論 (分担)	藤本	後期
卒業研究 (検査)	藤本	通年
臨地実習 (検査)	藤本	前期
臨床微生物学および実習	藤本	前期
医療安全・バイオリスク管理および実習	藤本	冬学期
生体情報機能検査学演習	栢森	前期
生化学・臨床化学実習	栢森	前期
卒業研究 (分担)	水上	通年
自然科学総合実験 (分担)	水上	後期
生物化学分析検査学特論 (分担)	水上	後期
遺伝子検査学実験	水上	秋学期
医用工学・情報概論実験	田代	後期
寄生虫学	小島	前期
一般検査学および実習	小島	後期
生化学・臨床化学実習	安田	前期
検査基礎技術	安田	前期
一般検査学および実習	安田	後期

8. 卒業論文作成者

島崎日奈子	光触媒 TiO ₂ 殺菌効果における 細菌の発育環境の影響
瀬筒 彩音	大腸菌 JM109 株に対する光触媒の殺菌効果 継代による影響と菌株差の有無
木村 公美	光触媒 TiO ₂ の殺菌効果における Buffer 成分の影響について
迫田 香織	光触媒 TiO ₂ による枯草菌芽胞に対する殺菌効果
松原 みなみ	<i>Candida albicans</i> に対する光触媒 TiO ₂ の殺菌効果 - <i>Escherichia coli</i> JM109 株との対比-
東中尾 愛	酵素サイクリング法を用いた血清クレアチニンの高感度測定の開発 -試薬安定性の改良-
原口 泰典	Nitro-PAPS を用いた NADH の高感度・可視化の開発における基礎的検討 (第四報)
山本 祥輝	新規ロイコ系色素による生体試料の高感度測定法の研究
戸高 航紀	新規血清 Lp-PLA2 (Lipoprotein-associated phospholipase A2) 測定試薬の基礎的性能評価

志水 祐貴子	p40phox の食胞膜への移行と、p40phox の PB1 ドメインのリン酸化
本田 恵	膜移行における p47phox の 328 番目の Ser のリン酸化の必要性
和方 康貴	PCR 法による p40phox cDNA の挿入変異体作製法の検討と変異の確認
鳥谷 穂	PCR 法による単一アミノ酸リピート伸長変異導入法の条件検討
久間 彩乃	Nano 構造表面修飾を用いた白金刺激電極の高性能化とその電極性能に及ぼす処理条件の影響
土井 春奈	神経細胞に光応答性を付与する Photoactive molecule 合成における nitroazobenzeneS1 精製条件の最適化
山田真生	特異的プライマーを用いた <i>Anisakis simplex</i> 同胞種鑑別法
吉元咲紀	ITS 領域における SNP を標的とした種特異的プライマーによる <i>Anisakis simplex</i> 幼虫の同胞種鑑別法

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

栢森 引率 保健学科新入生研修

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	薬剤耐性カンピロバクターに関する調査・分析	藤本	
2	光触媒による殺菌効果と医療への応用	藤本	
3	エビデンスに基づくバイオリスク管理の強化・標準化・ヒヤリハット事例共有データベース構築	藤本	
4	生体試料中のバイオマーカー並びに酸化ストレスマーカー測定法の開発と臨床応用	栢森	(公開)
5	臨床化学分析の改良と臨床応用の研究	栢森	(公開)
6	臨床検査領域における標準化に関する研究	栢森	(公開)
7	食細胞 NADPH オキシダーゼの活性化機構	水上	
8	人工視覚システムの開発	田代	(公開)
9	ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発	田代	(公開)
10	寄生虫の検査・診断に関する研究	小島	
11	アニサキス線虫に関する研究	小島	

12 細胞核形態の定量化とパターン認識プログラムを用いた癌組織の判別 安田 (公開)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 治療薬耐性カンピロバクターの実態解明：家畜農場～食卓および疾患までの横断的解析, 藤本 (代表), 1900 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」 Optical stimulation を用いた BMI の培養細胞による安全性評価, 田代 (代表), 1900 千円. (公開)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ

- ニプロ (株), 研究等に対する助成, 田代, 1,000 千円. (公開)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「日商平野 (株) 視神経疾患に対するニューロモジュレーションに関する研究」 田代, 72 千円. (公開)
- 「(株)ニデック 次世代人工視覚システムの研究」 田代, 1980 千円. (公開)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Kataoka Y, Murakami Koichi, Torii Y, Kimura H, Maeda Eriko, Shigemura H, Fujimoto Shuji, Murakami S: Reduction in the prevalence of AmpC β -lactamase CMY-2 in Salmonella from chicken meat following cessation of the use of ceftiofur in Japan., *J Glob Antimicrob Resist*, 30, 10, 10 - 11, 2017 年 05 月. (査読あり) (公開)
- Hiroyuki Fukuda, Fumiko Kojima, Shuji Fujimoto: New Identification of Three or More *Campylobacter* Species on the Basis of a Degenerate PCR-RFLP Method Targeting gyrB Gene, *Current Microbiology*, 68, 1, 2017 年 07 月. (査読あり) (公開)
- Koichi Murakami, Tamie Noda, Daisuke Onozuka, Hirokazu Kimura, Shuji Fujimoto: Pulsed-field profile diversities of salmonella enteritidis, s. Infantis, and s. corvallis in Japan, *Italian Journal of Food Safety*, 6, 3, 138 - 144, 2017 年 09 月. (査読あり) (公開)

- Koichi Murakami, Eriko Maeda-Mitani, Daisuke Onozuka, Tamie Noda, Nobuyuki Sera, Hirokazu Kimura, Shuji Fujimoto, Satoshi Murakami : Simultaneous oral administration of Salmonella Infantis and S. Typhimurium in chicks, *Irish Veterinary Journal*, 70, 27 -, 2017年08月. (査読あり) (公開)
- Keiichiro Mine, Kanako Hirakawa, Shiori Kondo, Masae Minami, Akira Okada, Nobutaka Tsutsu, Yasushi Yokogawa, Yumi Hibio, Fumiko Kojima, Shuji Fujimoto, Hironori Kurisaki, Keizo Anzai, Yasunobu Yoshikai, Seiho Nagafuchi : Subtyping of Type 1 Diabetes as Classified by Anti-GAD Antibody, IgE Levels, and Tyrosine kinase 2 (TYK2) Promoter Variant in the Japanese, *EBioMedicine*, 23, 46 - 51, 2017年08月. (査読あり) (公開)
- Takiko Tateishi, Yuki Matsuba, Kasumi Shimokawa, Maiko Kawahara, Miki Kawano1, Yuki Tanaka, Masahiro Manabe, Masanori Okuma, Katsuyoshi Ikeda, Hirotaka Matsui, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori : Preliminary study of a high-sensitivity method to determine sarcosine in urine using high-performance liquid chromatography, *International Journal of Analytical Bio-Science*, 5, 3, 43 - 51, 2017年05月. (査読あり) (公開)
- Saki Yamaura, Shin-ichi Sakasegawa, Emisa Koguma, Shigeru Ueda, Yuzo Kayamori, Daisuke Sugimori, Ken Karasawa : Novel enzymatic method for assaying Lp-PLA2 in serum, *Clinica Chimica Acta*, 481, 184 - 188, 2018年03月. (査読あり) (公開)
- Mariko Kuwabara, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Koji Osawa, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Takashi Fujikado : Development of Chronic Implantable Electrodes for Long-term Visual Evoked Potential Recording in Rabbits, *Advanced Biomedical Engineering*, 6, 59 - 67, 2017年05月. (査読あり) (公開)
- 吉村優里奈, 田代 洋行, 栢森 裕三 : 神経インターフェースの安全性評価のための神経培養細胞を用いた動物実験代替法の基礎的検討, *電子情報通信学会技術研究報告*, IEICE-117 , 324, 13 - 16, 2017年11月. (査読なし) (公開)
- Yukari Nakano, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Hiroyuki Kanda, Koji Osawa, Tomomitsu Miyoshi, Hajime Sawai, Takashi Fujikado : Sinusoidal Electrical Pulse More Efficiently Evokes Retinal

Excitation than Rectangular Electrical Pulse in Retinal Prostheses, *Sensors and Materials*, 29, 12, 1667 - 1677, 2017年12月. (査読あり) (公開)

- Mariko Kuwabara, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Yurina Yoshimura, Koji Osawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta: Long-Term Analysis of In Vivo Characteristics of Recording Electrode Using Electrochemical Impedance Spectroscopy, *Sensors and Materials*, 29, 12, 1689 - 1702, 2017年12月. (査読あり) (公開)
- 桑原 真理子, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 太田 淳: 人工視覚システム用刺激電極の慢性通電下における電気化学的特性解析, *電子情報通信学会技術研究報告*, IEICE-117, 324, 22 - 28, 2017年11月. (査読なし) (公開)
- Hiroyuki Tashiro, Mariko Kuwabara, Yukari Nakano, Yasuo Terasawa, Koji Osawa, Yurina Yoshimura, Haruna Doi, Jun Ohta: In Vitro and In Vivo Long-term Electrochemical Properties of Electrodes with Femtosecond-laser-induced Porosity for Visual Prostheses Based on Suprachoroidal Transretinal Stimulation, *Sensors and Materials*, 30, 2, 251 - 268, 2018年01月. (査読あり) (公開)
- Mariko Kuwabara, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Yasuo Terasawa, Hajime Sawai, Jun Ohta: Comparative Study of Sevoflurane and Isoflurane Anesthesia for the Long-term Safety Evaluation of Visual Prosthesis with Rabbits, *Sensors and Materials*, 30, 2, 287 - 297, 2018年01月. (査読あり) (公開)
- 吉村 優里奈, 土井 春奈, 寺澤 靖雄, 田代 洋行: Nitroazobenzene S1の細胞毒性試験による Photoswitch・BENAQ 合成で要求される精製純度の検討, *電子情報通信学会技術研究報告*, IEICE-117, 416, 59 - 64, 2018年01月. (査読なし) (公開)
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Jun Ohta: Safety and Efficacy of Semichronic Suprachoroidal Transretinal Stimulation with Femtosecond Laser-induced Porosity and Smooth-surface Electrodes, *Sensors and Materials*, 30, 2, 235 - 249, 2018年01月. (査読あり) (公開)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kojima Fumiko, Fujimoto Shuji : Genomic identification of *Anisakis simplex* larvae by PCR-RAPD., International Union of Microbiological Societies 2017, 2017年07月01日, Singapore. (公開)
- Fujimoto Shuji, Kojima Fumiko. : Studies of Photocatalytic Microbicidal Effect of Titaninm Dioxide(TiO2) Nanoparticles on Pathogenic Microorganisms., International Union of Microbiological Societies 2017, 2017年07月01日, Singapore. (公開)
- Kouki Hosaka, Noriko Kawamitsu, Masaru Akimoto, Miyuki Sakemoto, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Taeko Hotta, Dongchon Kang, Yuzo Kayamori, Eisaku Hokazono : A rapid and simple method to measure Tamm-Horsfall protein in the urine and to investigate its clinical significance., 29th WASPalM2017 (World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine), 2017年11月01日, Japan. (公開)
- Shou Terada, Miyuki Sakemoto, Yukiko Kawanobe, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Taeko Hotta, Dongchon Kang, Yuzo Kayamori, Eisaku Hokazono : Establishment and clinical utility of a rapid and simple assay for serum trehalase activity, 29th WASPalM2017 (World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine), 2017年11月01日, Japan. (公開)
- Fumi Yoshitomi, Hayato Okurano, Sonoko Yoshihiro, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori : New colorimetric method for estimation of the redox state of human serum albumin, 29th WASPalM2017 (World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine), 2017年11月01日, Japan. (公開)
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Motoki Ozawa : Stability of the suprachoroidal electrode array during one-month implantation in rabbit eyes, The Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) 2017, 2017年05月10日, . (公開)
- Mariko Kuwabara, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta : Analysis of the Porous Stimulation Electrode Characteristic Using Electrochemical Impedance Spectroscopy in Visual Prostheses, 39th Annual

International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC 2017), 2017年07月14日, SouthKorea. (公開)

- Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Kenzo Shodo, Kouji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Hiroyuki Tashiro, Hajime Sawai, Hiroyuki Kanda, Tomomitsu Miyoshi, Haruhiko Kishima, Motohiro Kamei, Takashi Fujikado: Update of suprachoroidal-transretinal stimulation (STS) retinal prosthesis: Efforts for the practical use and the development of next generation technology, The eye and the chip world research congress 2017, 2017年09月24日, UnitedStatesofAmerica. (公開)

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 永淵正法, 栗崎宏憲, 小島 夫美子, 藤本秀士, 安西慶三: ウイルス糖尿病感受性遺伝子と考えられるヒト TYK2 promoter variant の意義, 第91回日本感染症学会学術講演会・第65回日本化学療法学会学術集会 合同学会, 2017年04月20日, 京王プラザホテル. (公開)
- 小島 夫美子, 藤本秀士: RAPD法を用いた *Anisakis simplex* 幼虫の分子疫学の検討, 第86回日本寄生虫学会, 2017年05月20日, 北海道大学 学術交流会館. (公開)
- 東中尾愛, 樫木彬仁, 立石多貴子, 河野弥季, 外園栄作, 栢森裕三: 酵素サイクリング法を用いた血清クレアチニンの高感度測定法の開発 (その3), 第49回日本臨床検査自動化学会, 2017年09月01日, パシフィコ横浜. (公開)
- 保坂洸喜, 川満紀子, 秋本卓, 酒本美由紀, 河野弥季, 立石多貴子, 堀田多恵子, 康東天, 栢森 裕三, 外園 栄作: 尿中 Tamm-Horsfall protein の迅速・簡便な前処理法およびその測定法に関する基礎的検討, 第57回日本臨床化学会年次学術集会, 2017年10月01日, 北海道大学. (公開)
- 幸下和矢, 丸田夏希, 河野弥季, 立石多貴子, 外園栄作, 栢森裕三: 金属キレート試薬 Nitroso-PSAP を用いた NADH の可視化・高感度測定法の開発における基礎的検討 その2, 第57回日本臨床化学会年次学術集会, 2017年10月01日, 北海道大学. (公開)
- 桑原 真理子, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 太田 淳: 人工視覚システムにおける EIS 解析を用いた刺激電極の電極界面分析, 第78回応

用物理学会秋期学術講演会, 2017年09月07日, 福岡国際会議場. (公開)

- 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 田代 洋行: 人工網膜の安全性評価: 家兎網膜への1ヶ月亜急性電気刺激, 視覚科学フォーラム2017 第21回研究会, 2017年09月29日, 豊橋市民センター. (公開)
- 桑原 真理子, 田代 洋行, 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 澤井 元, 太田 淳: 家兎の視覚誘発電位計測におけるセボフルラン麻酔の検討, 視覚科学フォーラム2017 第21回研究会, 2017年09月28日, 豊橋市民センター. (公開)
- 吉村 優里奈, 田代 洋行, 栢森 裕三: 神経インターフェースの安全性評価のための神経培養細胞を用いた動物実験代替法の基礎的検討, 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会, 2017年11月24日, 東北大学. (公開)
- 桑原 真理子, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 中野 由香梨, 太田 淳: 人工視覚システム用刺激電極の慢性通電下における電気化学的特性解析, 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会, 2017年11月24日, 東北大学. (公開)
- 吉村 優里奈, 土井 春奈, 寺澤 靖雄, 田代 洋行: Nitroazobenzene S1の細胞毒性試験による Photoswitch・BENAZ 合成で要求される精製純度の検討, 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会, 2018年01月01日, 九州工業大学. (公開)
- 永淵正法, Hironori Kurisaki, 小島 夫美子, 藤本 秀士, 安西慶三: ウイルス糖尿病感受性遺伝子と考えられるヒト TYK2 promoter variant の意義, 第91回日本感染症学会学術講演会・第65回日本化学療法学会学術集会 合同学会, 2017年04月06日, 東京 京王プラザホテル. (公開)
- Yoko Yasuda, Kazuaki Tokunaga, Chiyomi Sakamoto, Ilya G Goldberg, Hitoshi Katsuta, Noriko Saitoh, Mitsuyoshi Nakao: Quantitative analysis of tissue images using machine learning algorithms, wndchrm, 第76回日本癌学会学術総会, 2017年09月01日, パシフィコ横浜. (公開)

f. 学会以外での講演, 発表

- Yoko Yasuda, Kazuaki Tokunaga, Chiyomi Sakamoto, Ilya G Goldberg, Tomoaki Koga, Noriko Saitoh, Mitsuyoshi Nakao: Computational image analysis of tissue morphologies using machine learning algorithms, wndchrm, KEY Forum: The 3rd International Symposium on Stem Cell

Traits and Developmental Systems, 2018年01月11日, Kumamoto City International Center, Japan. (公開)

8. 著作

a. 単行本

- 藤本 秀士：(単著) 【HACCPと食中毒対策の最前線】カンピロバクター総論. , 2018年03月, メディカルレビュー社. (公開)
- 栢森裕三：(共著) JAMT 技術教本シリーズ 臨床化学検査 技術教本(4.3 脂質), 2017年09月, 丸善出版. (公開)

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など なし

9. 受賞 なし

10. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代, 視神経疾患に対するニューロモジュレーションに関する研究, 日商平野(株), 2016年11月~2017年09月, 公開.
- 田代, 次世代人工視覚システムの研究, (株)ニデック, 2017年04月~2018年03月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許

- 栢森, 「酸化ストレスマーカーの酸化型・還元型アルブミン比の簡易測定法」
2016年7月

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 藤本, International Union of Microbiological Societies (Singapore), 国際会議, 2017年07月~2017年07月 (2週間未満) . (公開)

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし

- b. 訪問研究者 なし
- 3. 留学生の受入れ なし
- 4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 小島, 研究用微生物安全管理委員会. (公開)

2. 部局委員

- 水上, 馬出地区安全衛生委員会委員. (公開)
- 田代, 医療系統合教育研究センター委員. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 藤本, 教員業績活動評価委員会 副委員長. (公開)
- 藤本, 再任審査委員会 副委員長. (公開)
- 藤本, 財務委員会. (公開)
- 藤本, 入学試験実施委員会. (非公開)
- 藤本, 総務委員会. (公開)
- 藤本, 将来計画, 点検, 評価委員会. (公開)
- 藤本, 年報委員会 副委員長. (公開)
- 藤本, FD委員会. (公開)
- 藤本, 人事委員会. (公開)
- 栢森, 広報委員会 委員長. (公開)
- 水上, 地域国際連携推進・FD委員会. (公開)
- 小島, 公開講座委員. (公開)
- 安田, 地域国際連携推進・FD委員会. (公開)

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 栢森, 純真学園大学, 非常勤講師. (公開)
- 田代, 帝京大学福岡医療技術学部医療技術科臨床工学コース, 非常勤講師. (公開)
- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師. (公開)

2. 学協会

- 栢森, 公益社団法人 日本臨床検査同学院主催の「緊急臨床検査士資格認定試験」の主任実行委員, 公益社団法人 日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 栢森, 日本臨床化学会・日本臨床衛生検査技師会 「臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師」制度試験ワーキンググループ委員, 日本臨床化学会・日本臨床衛生検査技師会, 学術団体.
- 栢森, 日本臨床化学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会, 理事 (常務理事), 国内.
- 栢森, 日本臨床検査自動化学会, その他 (監事), 国内.
- 栢森, 学会誌「臨床病理」, 査読委員, 国内.
- 栢森, 医学検査, 査読委員, 国内.
- 田代, Mentor, ARVO Global Mentorship Pilot Program 2017, The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO), 学術団体, 国際
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.
- 田代, Sensors and Materials, 編集委員, 国際.
- 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会南日本支部, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 安田, 公益社団法人 日本臨床検査同学院主催の「緊急臨床検査士資格認定試験」の実行委員, 公益社団法人 日本臨床検査同学院, 学術団体.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 小島, 「福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査・細菌検査勉強会の講師として講演 テーマ: 寄生虫標本観察ー原虫を中心にー」, , 2017-08-02 .
- 小島, 「シー・アール・シーの企業内勉強会の講師として教育講演 テーマ: 糞便中に検出される寄生虫卵ー形態と検出方法ー」, , 2017-09-28 .

5. 公開講座・公開講演会

- 小島, 「保健学科で行なっている公開講座<自分を守る、家族を守る、医療と保健の知識>の公開講座委員として企画、運営、活動に参加, 九州大学医学部保健学科. 保健学科棟 5番講義室, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

病態情報学

教授	杉島 節夫
教授	勝田 仁
講師	外園 栄作
講師	藤原 (平橋) 美奈子
講師	栗崎 宏憲
助教	渡邊 壽美子
助教	兵田 朋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

病態情報解析学 (分担)	杉島	前期
ヘルスサイエンス論 (分担)	勝田	前期
病態情報解析学 I	勝田	前期
病態情報解析学 II	勝田	後期
病態情報機能検査学	勝田	後期

2. 大学院実験・実習

検査技術科学特別研究	勝田	通年
保健学特別研究	勝田	通年

3. 大学院演習

病態情報機能検査学演習	勝田	前期
-------------	----	----

4. 大学院修士課程修了者

	健康寿命延伸のための PDCA 方式自己健康管理システムの開発 —食習慣改善に向けた摂取栄養素評価法の検討—
地下 侑花	Development of self-health care system applying PDCA cycle for healthy life-span elongation —Evaluation of nutrients intake for dietary habit improvement— (指導教員：勝田)

	健康寿命延伸のための PDCA 方式自己健康管理システムの開発 ～継続率向上を目指した運動プログラムの検討～
中野 裕樹	Development of self-health care system applying PDCA cycle for healthy life-span elongation ～Establishment of continuable exercise program～ (指導教員：勝田)
	尿中 THP 測定法の開発とその臨床的有用性の検証
保坂 洗喜	A rapid and simple method to measure Tamm Horsfall protein in the urine and to investigate its clinical significance (指導教員：外園)
	血中および尿中トレハラーゼ活性測定法の構築とその臨床的意義に関する研究
寺田 祥	Establishment and clinical utility of an assay for trehalase activity (指導教員：外園)
	BCG 曝露 T24 細胞における pRB と p21 発現の関連性
平井 絵梨花	Correlation between pRB and p21 in T24 cells exposed to BCG (指導教員：杉島)
	気管支擦過細胞診における EGFR 陽性肺腺癌の細胞形態学的検討
江島 一志	Cytomorphological features of EGFR - positive lung adenocarcinoma in the bronchial brushing cytology (指導教員：杉島)
	二核細胞の生存能力に関する検討
鶴留 えりか	The investigation into the viability of binucleate hela cells (指導教員：杉島)

5. 大学院博士課程修了者

西村 和徳	Useful laboratory markers for the diagnosis of bone marrow involvement by malignant lymphoma (指導教員：杉島)
-------	--

6. 学部講義

組織病理検査学及び実習Ⅲ (分担)	杉島	後期
細胞生物学 (分担)	杉島	前期
形態検査学特論	杉島	後期
病因・生体防御検査学特論	勝田	秋学期
免疫細胞解析学	勝田	冬学期
臨床検査医学総論	勝田	春学期
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
公衆衛生学	外園	前期
臨床検査統計学および演習	外園	後期
生化学	外園	前期
病理学各論	藤原	後期
医学総論Ⅰ (分担)	藤原	後期
病態情報解析検査学	藤原	後期
血液検査学	藤原	後期

病理学総論	藤原	後期
臨床免疫学Ⅱ	栗崎	春学期
輸血検査学	栗崎	秋学期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	渡邊	前期
科学の進歩と女性科学者Ⅰ,Ⅱ	渡邊	前期
血液検査学実習	渡邊	後期
血液検査学	渡邊	後期
臨床検査学概論Ⅰ	兵田	前期
血液検査学	兵田	後期
臨床検査学概論Ⅱ	兵田	後期

7. 学部の実験・実習・演習

組織病理検査学及び実習Ⅲ (分担)	杉島	後期
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
検査基礎技術	外園	前期
臨床検査統計学および演習	外園	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ (分担)	藤原	前期
血液検査学実習	藤原	後期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	藤原	後期
臨床免疫学実習	栗崎	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	渡邊	前期
血液検査学実習	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習Ⅲ	渡邊	後期
臨床微生物学および実習	兵田	前期
血液検査学実習	兵田	後期
臨床免疫学実習	兵田	後期
遺伝子検査学実験	兵田	後期

8. 卒業論文作成者

亀甲 美佳	糖負荷試験後の残余検体を利用した胃粘膜検査法の開発
赤田 泰崇	HPLC を用いた尿中 THP の測定法の構築とその臨床的意義に関する研究
寶楽 日菜子	尿中オキシトシンの日内変動に関する研究
一ノ瀬 文香	スキルス様浸潤胃癌の組織分化度と p53 蛋白発現、E-cadherin 蛋白発現についての検討
石川 耕平	甲状腺乳頭癌のリンパ節転移の有無による細胞学的形態比較
中司 成	卵巣擦印細胞診における漿液性癌と粘液性癌の鑑別
孔 震	乳腺穿刺吸引細胞診におけるスコアリングシステムの検討
小山 夏実	子宮頸部擦過細胞診における非角化型扁平上皮癌と腺癌との細胞学的検討

伊藤 百合菜	スキルス様胃癌の粘液形質発現と組織分化度についての検討
檜橋 和久	HeLa 細胞におけるカンジダアレルギー刺激による各種サイトカイン変動
川畑 真子	Candida albicans 刺激時における自然免疫系レセプターのシグナル解析
岩田 真琴	A i r e ノックアウトマウスのジェノタイピングについての改変・検討
田本 友紀	二核細胞の出現に関する検討-VI
宗本麻花	急性白血病マウスモデル作製におけるレトロウイルスによる遺伝子導入効率の検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	肺腺癌の EGFR 遺伝子変異の有無による細胞学的検討について	杉島	(公開)
2	膝蓋細胞再生機構に関する研究	勝田	
3	PDCA 方式自己健康管理システムの開発	勝田	
4	生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園	
5	腫瘍・非腫瘍鑑別困難胃粘膜上皮における脂肪滴沈着の意義	藤原	(公開)
6	自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎	
7	真菌の感染防御機構に関する研究	栗崎	
8	ウイルス誘発糖尿病の発症機構に関する研究	栗崎	
9	膀胱癌 (特に BCG failure 症例) に出現する異型細胞の形態学的・分子生物学的研究	渡邊	(公開)
10	多核細胞 (特に二核細胞) の出現意義に関する研究	渡邊	(公開)
11	概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発	兵田	

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 膝蓋細胞における発生および成熟過程のエピジェネティック制御機構の解明, 勝田 (代表), 800 千円. (公開)
- 「若手研究(B)」 生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けない超高感度検出法の開発とその発展性の検証, 外園 (代表), 900 千円. (公開)

- 「基盤研究(C)」 子宮内膜癌、内膜増殖症および類縁疾患の核形状および核クロマチン分布の定量的解析, 渡邊 (分担), 0 千円. (公開)
 - 「基盤研究(C)」 BCG failure 症例に出現する異型細胞の形態学的・分子生物学的研究, 渡邊 (代表), 1700 千円. (公開)
3. 学内研究経費の受け入れ なし
4. 奨学寄附金の受入れ なし
5. その他の外部研究資金の受入れ
- 「関東化学株式会社 ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究」 外園, 1000 千円. (公開)
 - 「福岡県すこやか健康事業団 がん研究助成金 骨髄異形成症候群における新規薬剤ポマリドミドの薬効プロファイル評価因子の探索」 兵田, 100 千円. (公開)
6. 受託研究員・研修員の受入れ なし
7. 研究成果の報告
- a. 学会誌・学術専門誌
- Takiko Tateishi, Yuki Matsuba, Kasumi Shimokawa, Maiko Kuwahara, Miki Kawano, Yuki Tanaka, Masahiro Manabe, Masanori Okuma, Katsuyoshi Ikeda, Hirotaka Matsui, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori : Preliminary study of a high-sensitivity method to determine sarcosine in urine high-performance liquid chromatography, *Int J Anal Bio-Sci*, 5, 3, 43 - 51, 2017 年 05 月. (査読あり) (公開)
 - Yuji Maehata, Yoshifumi Hori, Minako Hirahashi, Hidetaka Yamamoto, Motohiro Esaki : Diffuse gastric metastases from salivary duct carcinoma, *Gastrointestinal Endoscopy*, 86, 5, 916 - 917, 2017 年 11 月. (査読あり) (公開)
 - Yuji Maehata, Shotaro Nakamura, Motohiro Esaki, Fumie Ikeda, Moriyama Tomohiko, Risa Hida, Ema Washio, Junji Umeno, Minako Hirahashi, Takanari Kitazono, Takayuki Matsumoto : Characteristics of primary and metachronous gastric cancers discovered after helicobacter pylori eradication A multicenter propensity score-matched study, *Gut and Liver*, 11, 5, 628 - 634, 2017 年 09 月. (査読あり) (公開)
 - Daisuke Tsurumaru, mitsutoshi miyasaka, Toshio Muraki, Yoshiki Asayama, Akihiro Nishie, Eiji Oki, Minako Hirahashi, Tomoyuki Hida, Hiroshi Honda : Diffuse-type gastric cancer specific enhancement pattern on multiphasic contrast-enhanced computed tomography,

Japanese Journal of Radiology, 35, 6, 289 - 295, 2017年06月. (査読あり) (公開)

- Mine K, Hirakawa K, Kondo S, Minami M, Okada A, Tsutsu N, Yokogawa Y, Hibio Y, Kojima F, Fujimoto S, Kurisaki H, Anzai K, Yoshikai Y, Nagafuchi S; West Japan Pathogenesis of Diabetes Study Group : Subtyping of Type 1 Diabetes as Classified by Anti-GAD Antibody, IgE Levels, and Tyrosine kinase 2 (TYK2) Promoter Variant in the Japanese, *EBioMedicine*, 46 - 51, 2017年09月. (査読あり) (公開)
- Nishimura K, Watanabe S, Kato K, Sugishima S. : Serum starvation induces abnormal spindle location, RhoA delocalization, and extension of intercellular bridge with the midbody. , *Biosci Biotechnol Biochem.*, 2018年03月. (査読あり) (公開)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Eisaku Hokazono, Susumu Osawa, Eri Ohta, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Masanori Seimiya, Yuzo Kayamori : Preliminary study on a high-sensitivity hydrogen peroxide detection method using the metal chelating reagent, Chromazurol B (CAB), American Association for Clinical Chemistry, 2017年08月02日, United States of America. (公開)
- Shou Terada, Miyuki Sakemoto, Yukiko Kawanobe, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Taeko Hotta, Dongchon Kang, Yuzo Kayamori, Eisaku Hokazono : Establishment and clinical utility of a rapid and simple assay for serum trehalase activity, World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine, 2017年11月16日, Japan. (公開)
- Kouki Hosaka, Noriko Kawamitsu, Masaru Akimoto, Miyuki Sakemoto, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Taeko Hotta, Dongchon Kang, Yuzo Kayamori, Eisaku Hokazono : A rapid and simple method to measure Tamm-Horsfall protein in the urine and to investigate its clinical significance, World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine, 2017年11月16日, Japan. (公開)
- Fumi Yoshitomi, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori, Hayato Okurano, Sonoko Yoshihiro : New colorimetric method for estimation of the redox state of human serum albumin. ,

World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine, 2017年11月16日, Japan. (公開)

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 外園 栄作：私の研究 - 臨床化学分析領域から -, 臨床検査学教育 (日本臨床検査学教育学会), , 2018年03月. (公開)

e. 国内学会での講演, 発表

- 勝田 仁：皮膚悪性リンパ腫を発症した2型糖尿病の症例, 第55回日本糖尿病学会九州地方会, 2017年10月01日, 宮崎. (非公開)
- 外園 栄作：臨床検査領域の研究 - 測定法開発研究のこれまでとこれから -, 日本臨床検査学教育学会, 2017年08月25日, 埼玉県立大学. (公開)
- 外園 栄作, 大澤 進, 福谷 優理, 川元 ゆかり, 河野 弥季, 立石 多貴子, 酒本 美由紀, 堀田 多恵子, 康 東天, 栢森 裕三：Chromazurol B (CAB) を用いた尿中総蛋白測定法の汎用自動分析装置への応用, 日本臨床検査自動化学会, 2017年09月22日, パシフィコ横浜. (公開)
- 東中尾 愛, 樫木 彬仁, 立石 多貴子, 河野 弥季, 外園 栄作, 栢森 裕三：酵素サイクリング法を用いたクレアチニンの高感度測定法 (その3), 日本臨床検査自動化学会, 2017年09月23日, パシフィコ横浜. (公開)
- 河野 弥季, 大澤 進, 清宮 正徳, 外園 栄作, 栢森 裕三, 木内 幸子, 福原 崇臣：エタノールアミンリン酸の高感度測定法の開発 (第2報), 第57回日本臨床化学学会年次学術集会, 2017年10月07日, 北海道大学. (公開)
- 寺田 祥, 酒本 美由紀, 川述 由紀子, 河野 弥季, 立石 多貴子, 堀田 多恵子, 康 東天, 栢森 裕三, 外園 栄作：尿中トレハラーゼ活性測定法の確立とその臨床的有用性に関する研究, 第57回日本臨床化学学会年次学術集会, 2017年10月08日, 北海道大学. (公開)
- 保坂 洸喜, 川満 紀子, 秋本 卓, 酒本 美由紀, 河野 弥季, 立石 多貴子, 堀田 多恵子, 康 東天, 栢森 裕三, 外園 栄作：尿中Tamm-Horsfall Protein の迅速・簡便な前処理法およびその測定法に関する基礎的検討, 第57回日本臨床化学学会年次学術集会, 2017年10月08日, 北海道大学. (公開)
- 幸下 和矢, 丸田 夏希, 河野 弥季, 立石 多貴子, 外園 栄作, 栢森 裕三：金属キレート試薬 Nitroso-PSAP を用いた NADH の可視化・高感度測定

法の開発における基礎的検討 その2, 第57回日本臨床化学学会年次学術集会, 2017年10月08日, 北海道大学. (公開)

- 檜物孝樹、栗崎宏憲、藤本秀士: Candida albicans に対する舌癌および口腔扁平上皮癌由来細胞株の免疫学的反応, 第40回日本分子生物学会年会, 2017年12月01日, 神戸ポートアイランド. (公開)
- 平井絵梨花, 渡邊 壽美子, 加来恒寿, 岩坂剛, 杉島節夫: BCG 曝露と pRB の関連性, 第56回日本臨床細胞学会秋期大会, 2017年11月19日, 福岡国際会議場. (公開)
- 前田裕亮, 渡邊壽美子, 藤井直人, 加来恒寿, 岩坂剛, 杉島節夫: BCG 曝露における T24 細胞の p21 発現への p27 の影響, 第56回日本臨床細胞学会秋期大会, 2017年11月19日, 福岡国際会議場. (公開)
- 鶴留えりか, 渡邊 壽美子, 加来恒寿, 岩坂剛, 杉島節夫: 血清飢餓状態における培養日数と二核細胞の生存能力に関する検討, 第56回日本臨床細胞学会秋期大会, 2017年11月19日, 福岡国際会議場. (公開)
- 近藤守, 渡邊壽美子, 西村和徳, 加来恒寿, 岩坂剛, 杉島節夫: 培養日数と二核細胞の変化に関する検討, 第56回日本臨床細胞学会秋期大会, 2017年11月19日, 福岡国際会議場. (公開)
- 兵田 朋子, 國崎 祐哉, 細川 健太郎, 新井 文用: Development of a novel anti-leukemic therapy targeting the circadian clock genes, 第15回幹細胞シンポジウム, 2017年05月27日, 東京大学 伊藤国際学術研究センター. (公開)
- Tomoko Hyoda, Yuya Kunisaki, Kentaro Hosokawa, Tsuyoshi Hirota, Kazuhito Gotoh, Fumio Arai: Development of a novel anti-leukemic therapy targeting the circadian clock genes, 第79回日本血液学会, 2017年10月01日, 東京国際フォーラム. (公開)

f. 学会以外での講演, 発表 なし

8. 著作

a. 単行本 なし

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- 外園 栄作: 臨床化学検査に用いる測定試薬の成り立ちと特徴および適正な使用方法 各論1. 臨床化学検査測定試薬に共通に使用される成分

2) 検出試薬としての主な発色剤とその特徴, 日本臨床検査自動化学会会誌, 2017年08月, . (公開)

- 藤原美奈子: 【図説 「胃と腸」所見用語集2017】病理 深掘れ潰瘍、下掘れ潰瘍 胃と腸 52巻5号 p.678
- 藤原美奈子: 【図説 「胃と腸」所見用語集2017】解剖・組織 肛門・肛門管の解剖用語 胃と腸 52巻5号 p.541-542

9. 受賞 なし

10. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 外園, ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究, 関東化学株式会社, 2016年07月~2018年06月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 勝田, 学生支援委員会・委員. (非公開)
- 勝田, 学生相談室相談員. (非公開)
- 勝田, 学生支援センター企画運営委員会・委員. (非公開)
- 勝田, 大学院基幹教育実施会議・委員. (非公開)
- 勝田, 学生支援センター協力教員. (非公開)

- 外園, 環境安全管理委員. (公開)
- 外園, 環境安全センター委員会委員. (公開)

2. 部局委員

- 勝田, 検査技術科学分野・副分野長. (非公開)
- 勝田, 病院地区学生感染対策委員会・委員. (非公開)
- 勝田, 病院地区教育情報委員会・委員. (非公開)
- 勝田, 病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会・委員. (非公開)
- 外園, 臨床研究倫理審査委員. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 勝田, 保健学部門大学院委員会・委員長. (非公開)
- 勝田, 保健学部門学生委員会・副委員長. (非公開)
- 外園, 施設・環境委員. (公開)
- 渡邊, 学生委員会委員. (公開)
- 杉島, 教務委員会委員
- 栗崎, 教務委員会委員
- 兵田, 将来計画委員会、点検・評価委員会 委員
- 兵田, 年報委員会 委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 外園, 博多学園高等学校(看護科および看護学専攻科), 非常勤講師. (公開)
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師. (公開)
- 栗崎, 純真学園大学保健医療学部検査科学科, 非常勤講師.
- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師.
- 渡邊, 純真学園大学, 非常勤講師. (公開)

2. 学協会

- 杉島, 日本臨床細胞学会九州連合会, 理事, 国内.
- 杉島, 福岡県臨床細胞学会, 副会長, 国内.
- 杉島, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員, 国内.
- 外園, 日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区副主任試験実行委員として緊急臨床検査士試験運営に従事。日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 外園, 生物試料分析科学会, 評議員, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会誌, 査読委員, 国内.

- 外園, 日本臨床検査自動化学会, 運営委員 (科学技術委員会委員) , 国内.
- 外園, 日本臨床衛生検査技師会 九州支部, その他 (遺伝子部門長) , 国内.
- 外園, 日本臨床検査学教育協議会, 評議員, 国内.
- 外園, 日本臨床検査学教育協議会誌, その他 (編集委員会委員) , 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 幹事 (渉外・広報委員会) , 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員 (および査読委員) , 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 渡邊, 福岡県臨床細胞学会, 理事, 国内.
- 兵田, 日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区試験委員として緊急臨床検査士試験に参加, 日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 兵田, 日本臨床衛生検査技師会, その他 (福岡支部遺伝子部門副班長, 血液部門委員) , 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 勝田, 「第1回九州大学病院 糖尿病市民公開講座」, 九州大学病院. 百年講堂, 公開講座.
- 兵田, 「血液のひみつ」, 第15回九州大学医学部保健学科公開講座. 保健学科本館, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

4. 教員組織および委員会一覧

◆教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

平成29年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教(准助教)	その他
看護学					
統合基礎看護学	樗木 晶子 加来 恒壽 <small>平成30年3月31日定年退職</small> 藤田 君支 中尾 久子 橋口 暢子 <small>平成29年4月1日昇任</small>	濱田 裕子	丸山 マサ美 能登 裕子 松浦 俊治 木下 由美子 青本 さとみ 松尾 和枝 <small>平成29年4月1日採用</small>	道面 千恵子 山口 優 藤田 紋佳 木原 深雪 潮 みゆき 前野 里子 酒井 久美子 北尾 真梨 <small>平成30年3月31日退職</small>	
広域生涯看護学	鳩野 洋子 谷口 初美	川田 紀美子 寺岡 佐和 前野 有佳里	野口 ゆかり	木村 一絵 末次 美子 田尻 登志子 <small>平成30年3月31日退職</small> 佐藤 洋子	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 有村 秀孝	高橋 昭彦 納富 昭弘			
医用放射線科学	佐々木 雅之 杜下 淳次 藪内 英剛	佐々木 智成 藤淵 俊王		赤坂 勉 <small>平成30年3月31日定年退職</small> 田中 延和 <small>平成29年4月1日採用</small> 河窪 正照 <small>平成29年4月1日採用</small>	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 栢森 裕三	水上 令子	田代 洋行 小島 夫美子	安田 洋子	
病態情報学	杉島 節夫 <small>平成30年3月31日定年退職</small> 勝田 仁		外園 栄作 藤原 美奈子 栗崎 宏憲	渡邊 壽美子 兵田 朋子	

No.	1		2			16		6			15	
委員会	総務委員会		将来計画、点検・評価委員会			年報委員会		地域・国際連携推進委員会			FD実行委員会	
委員長	部門長		部門長			部門長		前年度副委員長	【看】谷口	7.に同じ	【看】谷口	
副委員長	委員長指名	【看】鳩野	委員長指名	【看】鳩野	委員長指名	【検】藤本	総務委員会検討、部門会議選出	【看】橋口	7.に同じ	【看】橋口		
分野から選出する委員	看護学	分野長 鳩野	教授 (1)	28.4～ 30.3	橋口	助教 以上 (2)	2.に同じ	教授または准教授 (1)	29.4～ 31.3	谷口・橋口・川田	助教 以上 (6)	7.に同じ
			助教 以上 (1)	29.4～ 31.3	寺岡		2.に同じ	助教または講師 (5)	29.4～ 31.3	松浦 木村		
	医用量子線科学	分野長 藪内	教授 (1)	28.4～ 30.3	杜下	助教 以上 (2)	2.に同じ	教授または准教授 (1)	28.4～ 30.3	有村	助教 以上 (3)	7.に同じ
			助教 以上 (1)	29.4～ 31.3	納富		2.に同じ	助教または講師 (2)	29.4～ 31.3	河窪 田中		
	検査技術科学	分野長 藤本	教授 (1)	29.4～ 31.3	勝田	助教 以上 (2)	2.に同じ	教授または准教授 (1)	29.4～ 31.3	水上	助教 以上 (3)	7.に同じ
			助教 以上 (1)	28.4～ 30.3	兵田		2.に同じ	助教または講師 (2)	28.4～ 30.3	安田 藤原(平橋)		
職指定の委員	部門長 副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長) (部内) 研究推進委員会委員長 (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長)				副部門長 (各分野長)				副部門長 (各分野長) (部内) 教務委員会副委員長 (部内) 大学院委員会副委員長	

※「16. 年報委員会」の委員は、「2. 将来計画、点検・評価委員会の委員の内から構成する。

※「6. 地域・国際連携推進委員会」と「15. FD委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No.	3			4		5			7		8			9				
委員会	人事委員会			教員活動評価委員会		再任審査委員会			財務委員会		施設・環境委員会			学生委員会				
委員長	部門長			部門長		部門長			部門長		部門長指名	【看】 樗木	前年度副委員長	【看】 藤田				
副委員長	委員長指名	【看】 鳩野	委員長指名	【検】 藤本	委員長指名	【検】 藤本	委員長指名	【検】 藤本	施設・環境委員長	委員長指名	【検】 勝田 →	総務委員会で検 討、部門会議で 選出	【検】 勝田					
分野から 選出する委員	看護学	教授 (1)	29.4～ 31.3	樗木	教授 (1)	4. に同じ	教授 (1)	4. に同じ		/	教授 (1)	29.4～ 31.3	樗木	教授 (1)	29.4～ 31.3	藤田		
							准教授 講師 (1)	28.4～ 30.3	青本		助教 以上 (1)	28.4～ 30.3	道面	助教 以上 (1)	29.4～ 31.3	木下		
	医用量子線科学	教授 (1)	29.4～ 31.3	杜下	教授 (1)	4. に同じ	教授 (1)	4. に同じ			/	教授 (1)	28.4～ 30.3	有村	教授 (1)	29.4～ 31.3	藪内	
							准教授 講師 (1)	29.4～ 31.3	高橋			助教 以上 (1)	29.4～ 31.3	納富	助教 以上 (1)	28.4～ 30.3	佐々木 (智)	
	検査技術科学	教授 (1)	28.4～ 30.3	勝田	教授 (1)	4. に同じ	教授 (1)	4. に同じ				/	教授 (1)	28.4～ 30.3	勝田	教授 (1)	27.4～ 29.3 29.4～ 31.3	勝田
							准教授 講師 (1)	28.4～ 30.3	水上				助教 以上 (1)	29.4～ 30.3	外園 (1年 任期)	助教 以上 (1)	28.4～ 30.3	渡邊
職指定の委員	副部門長 (各分野長)			副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長)			副部門長 (各分野長)	(全学) 環境保全委員会委員 【外園】 (H26.4.1-H28.3.31)								
									(部内) 地域・国際連携推進委員会委員長 (部内) 施設・環境委員会委員長 (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長 (部内) 広報委員会委員長									

※「3. 人事委員会」「4. 教員業績評価委員会」「5. 再任審査委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No.	10			11			12			13			14						
委員会	教務委員会			大学院委員会			入学試験実施委員会			広報委員会			放射線安全委員会						
委員長	前年度副委員長 【放】佐々木			前年度副委員長 【検】勝田			前年度副委員長 【看】中尾			前年度副委員長 【検】栢森			医学研究院長 住本						
副委員長	総務委員会で検討、部門会議で選出 【放】有村			総務委員会で検討、部門会議で選出 【放】杜下			委員長指名→総務委員会で検討、部門会議で選出 【放】佐々木			委員会で選出 【看】濱田			放射線取扱主任者 納富 (26.4～)						
分野から選出する委員	看護学	教授 (1)	29.4～31.3	橋口	教授	29.4～31.3	中尾	教授 (1)	29.4～31.3	中尾	教授または准教授 (1)	29.4～31.3	濱田	/					
		講師以上 (1)	28.4～30.3	前野 (有)		28.4～30.3	藤田 (君)		助教または講師 (2)	29.4～31.3	山口	28.4～30.3	木村						
	医用量子線科学	教授 (1)	29.4～31.3	有村	教授 (2)	29.4～31.3	杜下	教授 (1)	28.4～30.3	佐々木	教授または准教授 (1)	29.4～31.3	佐々木 (智)				助教以上 (4)	29.4～31.3	河窪赤坂
		講師以上 (1)	29.4～31.3	藤淵		28.4～30.3	藪内		助教または講師 (1)	29.4～31.3	高橋	28.4～30.3	佐々木杜下						
	検査技術科学	教授 (1)	29.4～30.3	杉島 (1年任期)	教授 (2)	29.4～31.3	栢森	教授 (1)	28.4～30.3	杉島 (1年任期)	教授または准教授 (1)	28.4～30.3	栢森				/		
		講師以上 (1)	28.4～30.3	栗崎		28.4～30.3	勝田		助教または講師 (1)	28.4～30.3	小島								
職指定の委員	(全学) 教務関係委員						部門長 副部門長 (各分野長)						部門長 放射線取扱主任者【納富 (26.4～)】 放射線取扱副主任者【赤坂】 事務部長						

※ (部内) 教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。 ※ 広報委員会委員の選出方法について (申合せ)

※ (全学) 教育企画委員会委員は、(部内) 教務委員会委員長が就任する。

【平成29年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現 (H28) 委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
1	アイソトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会		【放射】 佐々木 教授 (留任)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	講師以上1名	医学研究院から5名(内、保健学から1名)
2	アイソトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会		【放射】 佐々木 教授 (留任)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	講師以上1名	
3	アイソトープ総合センター 病院地区実験室及び病院地区学生 実習室放射線安全委員会		【放射】 納富 准 教授 (留任)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	講師以上1名	
4	アイソトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生 実習室放射線取扱副主任者		【放射】 納富 准 教授	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31		
5	附属図書館医学図書館運営委員会	部門内教務委員会委員長、副委員長	【放射】 佐々木 教授 【放射】 藪内 教授	2 年	H27. 4. 1 H28. 4. 1	H29. 3. 31 H30. 3. 31	教授2名	〔部門内〕図書委員会は教務委員会と統合→教務委員会委員長・副委員長が兼ねる
6	医療系統合教育研究センター委員会	部門内教務委員会副委員長→変更 部門内教務委員長(実質的な任期は1年)	【検査】 栢森 教授 (28. 4. 1～) 【放射】 佐々木 教授 《副センター長》 【看護】 橋口准教授	2 年	H27. 4. 1 H29. 4. 1 H28. 4. 1	H29. 3. 31 H31. 3. 31 H30. 3. 31	保健学部部門 教員から1名 保健学部部門 教員から1名 保健学部部門 の教員から1名 (医療系統合 教育研究セ ンター兼任 教員)	・副センター長 ※センター長は各局部選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★センター長 H21-H22 保 H23-H24 薬 H25-H26 医 H27-H28 歯 H29-H30 保 ・〔部門内〕 教務委員長 →実質的な任期は1年
6-1	医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会		【放射】 高橋 准 教授 (留任)	-	-	-		H26. 6～
7	医療系統合教育研究センター兼任教員		【看護】 橋口 教授		H28. 4. 1	H30. 3. 31	上記6に同じ	
8	病院地区協議会	【職指定】 部門長 【職指定】 医療系統合教育研究センター長	大喜 教授 (部門長) (歯)	-	-	-	部門長 医療系統合 教育研究セ ンター長	医学・歯学・薬学研究院長、生体防御医学研究所長、病院長、保健学部部長、医学部等事務部長、病院事務部長、医療系統合教育研究センター長及び(オブザーバーとして)副病院長(歯科部門)

番号	委員会名	役職指定等	現 (H28) 委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
9	病院地区学生感染対策委員会	【職指定】 学生委員会副委員長	【看護】 鳩野教授	(2年)	H28. 4. 1	H29. 3. 31	保健学部門の学府の学生の教育又は感染対策に責任を持つ組織に所属する教員のうちから選出された者1名	学生委員会副委員長が兼ねる →実質的な任期は1年
10	病院地区教育情報委員会	【職指定】 保健学部門副部門長 (教育担当)	【放射】 佐々木教授		H28. 4. 1	H29. 3. 31	・保健学部門の副部門長のうち主として教育を担当する者1名 ・学部教育を担当する委員会の委員長 ・学府教育を担当する委員会の委員長 →実質的な任期は1年	
		【職指定】 部内教務委員会委員長			H28. 4. 1	H29. 3. 31		
		【職指定】 部内大学院委員会委員長			H28. 4. 1	H29. 3. 31		
11	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】 部門長	大喜 教授 (部門長)	-	-	-	部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認めた者
12	総合研究棟管理運営委員会	【職指定】 部門長	【放射】 大喜教授	2年	-	-	部門長	※4号委員を兼ねる
			【検査】 栢森教授		H28. 8. 1	H30. 7. 31		※5号委員 部局管理運用部分の許可を受けている者
13	馬出地区職員等用駐車区域委員会		【放射】 有村 教授 【看】 前野 准教授	2年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	教授1名、准教授以下1名	
14	病院サイクロトン運用・薬剤審査委員会		【放射】 佐々木教授	2年	H27. 10. 1	H29. 9. 30	病院地区所属保健学部門の教員1名	
15	病院放射性医薬品委員会		【放射】 佐々木教授	2年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	教員1名	
16	病院先進医療適応評価委員会		【看護】 金岡助教	2年	H27. 4. 1	H29. 3. 31	保健学部門助教以上、女性教員	
17	アジア遠隔医療開発センター運営委員会		【看】 川田 准教授	2年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	病院地区 (医学系、歯学系、薬学系、保健学系を含む) の教員のうちから選ばれた者	H28. 6. 1委員会から指名で委嘱状あり。部局で選ぶのではない？

番号	委員会名	役職指定等	現 (H28) 委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
18	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会		【検査】外園 講師	2年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	保健学部門講師以上2名 (1名は教授とする)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
			【看護】藤田 教授		H27. 4. 1	H29. 3. 31		
19	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会		【検査】勝田 教授	2年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
20	病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会		【検査】勝田 教授 (H28. 4. 1～)	2年	H27. 4. 1	H29. 3. 31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	
21	医学研究院再任審査委員会		【看護】加来 教授	1年	H28. 4. 1	H29. 3. 31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	年1～2回；10分/回程度
22	医学研究院情報公開委員会	【職指定】 教育研究評議員	大喜 教授 (部門長)	-	-	-	教育研究評議員	年5回程度
			(必要に応じて選出)	-	-	-		
23	医学研究院教員業績評価専門部会	部門長 各分野長	部門長 各分野長	-	-	-	部門長 各分野長	申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
24	基礎研究B棟管理運営委員会	【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長	①部門長 ②【看護】加来教授 ③【看護】鳩野教授	-	-	-	※部門長、当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる →実質的な任期は2年	基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について
25	病院運営会議 オブザーバー委員		【看護】樗木 教授	2年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	保健学部門臨床系教授1名	毎月1回開催
26	保険診療適正化推進委員会		【看護】加来 教授	-	-	-	福岡県社会保険診療報酬支払基金審査会委員に委嘱	任期は審査会委員の任期とする。
27	安全・衛生委員会		【検査】水上准教授	2年	H28. 4. 1	H30. 3. 31		申し出がないかぎり再任 毎月1回開催
28	海外交流センター運営委員会委員		【看護】谷口教授	2年	選出日 (H28. 9. 7)	H29. 3. 31		再任可
29	九州大学病院特定認定再生医療等委員会	委員会より指名	【看護】樗木教授 (副委員長)	2年			委員会から指名（保から選出手続き不要）	再任可

【平成29年度全学委員会委員】

番号	委員会	職指定等	現 (H28) 委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会 (オブザーバー)	【職指定】 医学部門長 または保健学部門長で、医 学研究院長でない方	大喜 教授 (学科長)	-	-	-	九州大学教育研究評議 会規則第6条第1項 (学 部長の推薦に基づき総 長が必要と認める者)	医学研究院における 九州大学教育研究評 議会委員に関する申 合せ (H22. 11. 10教授 会決定)
2	新キャンパス計画専門委 員会		(医)	2 年	H28. 11. 9	H30. 11. 8	医歯薬生病のうちから 選ばれた1名	医・歯・薬・生・病 の輪番
3	キャンパス計画及び施設 管理委員会	【職指定】 病院地区協議会議長	(生)					<地区協議会議長 > 医・歯・薬・病・ 生・保の輪番
4	研究用微生物安全管理委 員会		【検査】 藤本 教 授	2 年	H27. 4. 1	H29. 3. 31	研究用微生物を取扱う 施設を置く部局の教 授、准教授及び講師各 1名	※医学とは別枠 ※願わくば、藤本教 授、小島講師と交互 に担当をお願いした いとのこと。 (H25. 12. 25)
5	放射線障害防止委員会		【放射】 納富 准 教授	-	H26. 4. 1~	-		放射線取扱主任者が オブザーバーとして 参加
6	環境保全管理委員会		【検査】 外園 講 師 (留任)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	環境保全管理委員会が 必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題 に詳しい教員)	環境安全センター委 員会委員を兼ねる ★【部門内】施設・ 環境委員会構成員と なる
7	環境安全センター委員会 (旧：特殊廃液処理施設 運営委員会 (H22年度改 組))		【検査】 外園 講 師 (留任)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	環境安全センター委員 会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会 委員を兼ねる (H18年 度から)
8	入学試験審議会	【職指定】 学科長	大喜 教授 (学科 長)	-	-	-		保健学科長がオブ ザーバーとして参加
9	入学試験実施委員会	【職指定】 部内入試実施委員会委員 長	【看護】 榎木 教授	1 年	H28. 4. 1	H29. 3. 31	九州大学入学試験実施 委員会等規程第3条第 1項第11号 (総長が必要 と認めた者若干人) (任期1年)	【部門内】 入学試験 実施委員会委員長 ※同一の教員が2年連 続就任することが望 ましいが、必須では 無い。
10	入学者選抜研究委員会		【看護】 寺岡准教 授	2 年	H28. 5. 1	H30. 4. 30	入学者選抜研究委員会 規程第3条第1項第10 号 (総長が必要と認めた 者若干人)	統計のできる准教授 クラス
11	学生支援委員会 (学生委員会から改編)	【職指定】 部内学生委員会委員長 【職指定】 部内学生委員会副委員長	(【検査】 杉島 教授) (【看護】 鳩野 教授)	(2 年)	H28. 4. 1	H29. 3. 31	学生支援委員会が必要 と認めた物若干人	
12	教育企画委員会 (旧：教務委員会)	【職指定】 部内教務委員会委員長	【放射】 佐々木教授	(2 年)	H28. 4. 1	H29. 3. 31	医学系学府保健学専攻 又は医学部保健学科か ら選ばれた教授1名	※医学とは別枠 【部門内】 教務委員 会委員長 →実質的な任期は1年
13	基幹教育委員会 (H25. 11 新設)	【職指定】 部内教務委員会委員長	【放射】 佐々木教授	(2 年)	H28. 4. 1	H29. 3. 31	医学系学府保健学専攻 の教授のうちから選ば れた者 1人	教育企画委員会委員 が兼ねる 【部門内】 教務委員 会委員長 →実質的な任期は1年
14	21世紀プログラム専門委 員会 (旧：21世紀プログラム 実施委員会)	【H24 看護学から選出】 【H26 検査技術科学から 選出】	【放射】 杜下教授	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	各学部から選ばれた教 授1名 ※医学として	看護・検査・放射分 野の輪番
15	基幹教育実施会議 (旧：全学教育運営会 議)	【職指定】 部内教務委員会委員長	【放射】 佐々木教授	(な し)	H28. 4. 1	H29. 3. 31	その他運営会議が必要 と認めた者	【部門内】 教務委員 会委員長 →実質的な任期は1年
16	大学院基幹教育実施会議 (H26. 1 新設)	【職指定】 部内大学院委員会委員長	【看護】 藤田 教 授	(2 年)	H28. 4. 1	H29. 3. 31	その他運営会議が必要 と認めた者	【部門内】 大学院委 員会委員長 →実質的な任期は1年

番号	委員会	職指定等	現 (H28) 委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
17	全学情報環境利用委員会 (旧：情報基盤センター 学内共同利用運営委員会)		【放射】 高橋 准 教授 (留任)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	各研究院の教授及び准 教授のうちから選ばれ た者各1人 ※医学として	*26.3まで有村准教 授
18	ハラスメント等対策委員 会		(医) (薬) (病)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	医歯薬生病の教授、准 教授及び講師から2名 (少なくとも1名は女 性)	医・歯・薬・病・生 の輪番
19	ハラスメント等相談員		(医) (病)	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	医歯薬生病の教授、准 教授及び講師から若干 名 (実際には2名選 出) (少なくとも1名 は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生 の輪番
20	加速器・ビーム応用科学 センター複担教員		【放射】 納富 准 教授	なし	H26. 4. 1～	-		
21	学生相談室相談員	【職指定】 部内学生委員会委員長 【職指定】 部内学生委員会副委員長	【検査】 杉島 教 授 【看護】 鳩野 教 授	(2 年)	H28. 4. 1 H28. 4. 1	H29. 3. 31 H29. 3. 31		[部門内] 学生委員 会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
22	基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目 班 生物専門チーム		【検査】 杉島 教 授	1 年	H29. 7. 1	H30. 6. 30	各学部の教員のうちか ら実施会議が必要と認 めた者	H26新設
23	学生支援センター企画運 営委員会	【職指定】 部内学生委員会副委員長	【検査】 藤本 教 授	2 年	H27. 7. 1	H29. 6. 30	学生支援センター規 則?第7条第4項(セン ターの協力教員)	H25.7新設
24	学生支援センター協力教 員	【職指定】 部内学生委員会副委員長	【検査】 藤本 教 授	2 年	H27. 7. 1	H29. 6. 30		H25.7新設 学生支援センター企 画運営委員会委員を 兼ねる。
25-1	アイントープ統合安全管 理センター委員会		【放射】 納富 准 教授	2 年	H27. 4. 1	H29. 3. 31	別表2(6)指定された 研究院の教授及び准教 授から選ばれた者1人 ※医学として	RIセンター複担教員 (放射線科学部)
25-2	アイントープ統合安全管 理センター委員会		(医学 續教授)	2 年	H27. 4. 1	H29. 3. 31	別表2(6)指定された 研究院の教授及び准教 授から選ばれた者1人 ※医学として	RIセンター複担教員 (放射線教育部)
26	研究活動基礎支援専門委 員会		【看護】 鳩野 教 授	2 年	H28. 4. 1	H30. 3. 31	研究活動基礎支援専門 委員会要項第3条(5) その他専門委員会が必 要と認めた者	
27	九州大学特定臨床研究監 査委員会	委員会から指名	【看護】 樗木 教 授 (副委員長)	2 年			委員会から指名(保か ら選出手続き不要)	

平成29年度
年 報

作成日 : 平成30年9月

発行者 : 保健学部門 平成30年度 年報委員会
藤本秀士
樗木晶子・諸隈誠一・松尾和枝・有村秀孝
納富昭弘・勝田仁・安田洋子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1